

# 名古屋市観光客・宿泊客動向調査

(平成26年度)

平成27年 11月

名古屋市市民経済局

# 目 次

1. 観光統計について .....	1
(1) 調査の目的と全国観光統計基準の採用 .....	1
(2) 入込客数 .....	1
(3) 観光消費額 .....	4
2. 調査の集計結果 .....	6
2-1 観光客の現状 .....	6
(1) 調査の概要 .....	6
(2) 調査結果 .....	7
2-2 宿泊施設調査 .....	28
(1) 調査の概要 .....	28
(2) 宿泊施設の現状 .....	29
(3) 宿泊客数 .....	31
2-3 全国から見た名古屋の観光に関する評価 .....	41
(1) 調査の概要 .....	41
(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等 .....	42
(3) 名古屋に対する評価 .....	53
(4) 観光振興について .....	65
3. 資料編 .....	70
(1) 主要観光施設への入込動向 .....	70
(2) 名古屋のまちの印象 .....	74
(3) 名古屋の観光について .....	79
(4) 「名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成 25 年度の訂正）」 .....	87

巻末 調査票

注1：本文中で用いたテレビ塔、ブルーボネット、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、ミッドランドスクエアスカイプロムナードである。

注2：表、グラフに記してある居住地別などの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

※本編中の平成 25 年度における推計値のうち、「宿泊客実人数」、「延べ宿泊客数」、「日帰り客実人数」、「観光消費額」、「年間総実人数」、「年間総延べ宿泊者数」、「年間定員稼働率」について修正した。関連ページ及び図表は以下のとおり。

p2 表 1-1-4、p3 表 1-1-6、p4 表 1-2-1、p5 表 1-2-2、p32 表 2-2-5、図 2-2-2

なお、平成 25 年度の修正箇所については、p86 以降に参考資料として「名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成 25 年度 訂正版）」を掲載した。

◆調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

# 名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成26年度）

## 1. 観光統計について

### （1）調査の目的と全国観光統計基準の採用

#### ①調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

#### ②全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成17年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成26年度については、全国観光統計基準に適合する84地点の観光入込客数を把握した。

### （2）入込客数

#### ①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成26年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約6,702万人であり、平成25年度と比較して約185万人増加（対前年度比率102.8%）した。

増加の要因としては、平成25年度は天候が悪かった「名古屋まつり」の入込客が復調したことや「久屋大通庭園フラリエ（旧 ランの館）」が無料開放施設としてリニューアルオープンしたことなどがある。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(26) 20,983,337	(26) 21,478,478	(26) 22,625,801	(26) 22,361,685
	産業観光	(6) 2,509,590	(6) 2,199,456	(6) 2,155,078	(6) 2,175,112
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(16) 11,573,957	(16) 11,470,269	(16) 11,502,060	(16) 11,412,265
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(15) 7,003,732	(16) 7,873,300	(17) 6,610,033	(16) 8,502,057
	イベント	(21) 12,800,144	(22) 11,492,527	(21) 22,268,244	(20) 22,564,723
計		(84) 54,870,760	(86) 54,514,030	(86) 65,161,216	(84) 67,015,842

注：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

## ②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 26 年度の観光入込客実人数は 3,965 万人であり、平成 25 年度と比較して 385 万人増加（対前年度比率 110.8%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
観光入込客延べ人数（人）	54,870,760	54,514,030	65,161,216	67,015,842
平均訪問観光地点数	1.65	1.56	1.82	1.69
観光入込客実人数（万人）	3,326 万人	3,494 万人	3,580 万人	3,965 万人

## ③居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	53.2%	46.8%
観光入込客実人数	3,965 万人	2,109 万人	1,856 万人

## ④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
延べ宿泊客数（人）	6,674,019	6,950,791	7,509,115	7,523,002
宿泊客実人数（人）	5,192,149	5,796,736	5,979,400	5,855,719
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.29	1.20	1.26	1.28

### ⑤居住地別宿泊客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、宿泊施設に宿泊する入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

なお、居住地別宿泊客実人数については、平成 25 年度までは宿泊客の現状調査の回答により推計していたが、平成 26 年度から宿泊客の現状調査を実施しないものとしたため、観光客の現状調査の回答により推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	2.4%	97.6%
宿泊客実人数	586 万人	14 万人	572 万人

### ⑥居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 26 年度の名古屋市内客は 2,109 万人であり、平成 25 年度と比較して 659 万人増加した。また、名古屋市外客は 1,856 万人であり、前年度と比較して 274 万人減少した。

また、平成 26 年度の宿泊客実人数は 586 万人であり、前年度と比較して 12 万人減少した。一方、平成 26 年度の日帰り客実人数は 3,379 万人であり、前年度と比較して 397 万人増加した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
観光入込客実人数	計	3,326 万人	3,494 万人	3,580 万人	3,965 万人
	名古屋市内客	1,201 万人	1,150 万人	1,450 万人	2,109 万人
	名古屋市外客	2,125 万人	2,344 万人	2,130 万人	1,856 万人
宿泊客実人数	計	519 万人	580 万人	598 万人	586 万人
	名古屋市内客	25 万人	48 万人	41 万人	14 万人
	名古屋市外客	494 万人	532 万人	557 万人	572 万人
日帰り客実人数	計	2,807 万人	2,914 万人	2,982 万人	3,379 万人
	名古屋市内客	1,176 万人	1,102 万人	1,409 万人	2,095 万人
	名古屋市外客	1,631 万人	1,812 万人	1,573 万人	1,284 万人

### (3) 観光消費額

#### ①観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、観光総消費額を推計した。平成 26 年度の名古屋市内の観光総消費額は 3,204 億円であり、平成 25 年度と比較して 58 億円増加している。

宿泊客の総消費額は 1,549 億円であり、前年度と比較して 43 億円減少している。

日帰り客の総消費額について居住地別にみると、前年度と比較して、名古屋市内は 242 億円増加、名古屋市外は 141 億円減少している。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 25 年度	平成 26 年度
宿泊客実人数		598 万人	586 万人
日帰り客実人数	名古屋市内客	1,409 万人	2,095 万人
	名古屋市外客	1,573 万人	1,284 万人
宿泊客一人あたり消費額		26,620 円	26,422 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内客	3,534 円	3,527 円
	名古屋市外客	6,719 円	7,134 円
宿泊客総消費額		1,592 億円	1,549 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内客	497 億円	739 億円
	名古屋市外客	1,057 億円	916 億円
名古屋市内観光総消費額		3,146 億円	3,204 億円

## ②観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

平成 25 年度に比べ、食事費は 65 億円、入場料は 65 億円、その他消費額が 103 億円、それぞれ増加し、交通費は 35 億円、土産費は 49 億円、宿泊費は 91 億円、それぞれ減少している。

総消費額は平成 25 年度と比較して、58 億円増加している。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 25 年度	平成 26 年度
食事費消費額	864 億円	929 億円
交通費消費額	488 億円	453 億円
土産費消費額	586 億円	537 億円
宿泊費消費額	603 億円	512 億円
入場料消費額	346 億円	411 億円
その他消費額	259 億円	362 億円
総消費額	3,146 億円	3,204 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外居住
食事費	6,431 円	1,239 円	2,275 円
交通費	2,314 円	660 円	1,395 円
土産費	4,483 円	505 円	1,306 円
宿泊費	8,743 円		
入場料	1,924 円	734 円	1,119 円
その他	2,527 円	389 円	1,039 円
合計	26,422 円	3,527 円	7,134 円

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外居住	
食事費総消費額	377 億円	260 億円	292 億円	929 億円
交通費総消費額	136 億円	138 億円	179 億円	453 億円
土産費総消費額	263 億円	106 億円	168 億円	537 億円
宿泊費総消費額	512 億円			512 億円
入場料総消費額	113 億円	154 億円	144 億円	411 億円
その他総消費額	148 億円	81 億円	133 億円	362 億円
観光総消費額	1,549 億円	739 億円	916 億円	3,204 億円



## 2. 調査の集計結果

### 2-1 観光客の現状

#### (1) 調査の概要

##### ①調査の目的

市内主要観光地点における観光客の入込・遊覧状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

##### ②調査日時等

●観光施設（名古屋城、東山動植物園、熱田神宮、名古屋市科学館、名古屋港水族館、ノリタケの森）調査

・秋期調査：平成26年 11月 5日（水）9：30～16：30 天候：曇一時雨  
11月 8日（土）9：30～16：30 天候：曇  
11月 9日（日）9：30～16：30 天候：雨一時曇

・春期調査：平成27年 3月 4日（水）9：30～16：30 天候：雨  
3月 7日（土）9：30～16：30 天候：雨時々曇  
3月 8日（日）9：30～16：30 天候：晴

※名古屋市科学館は 3月 15日（日）9：30～16：30 天候：曇一時晴

##### ③調査方法

それぞれの調査地点を訪れた観光入込客のうち、10歳以上と思われる観光入込客に対して、等間隔無作為抽出法により調査対象を抽出し、対面聞き取りにより年齢を確認した上で調査を行った。

##### ④調査場所及び調査サンプル数

観光地点を全国観光統計基準に基づく分類（注）や施設・催し物の特性、所在地を勘案して、以下の地点で調査を実施した。

観光地点名称	秋期調査（11月）			春期調査（3月）			合計
	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
名古屋城	102	110	103	100	109	114	638
東山動植物園	104	108	102	103	110	112	639
熱田神宮	103	107	100	100	101	100	611
名古屋市科学館	109	111	116	101	111	112	660
名古屋港水族館	100	100	105	101	103	104	613
ノリタケの森	100	102	104	100	102	105	613
全体	618	638	630	605	636	647	3,774

（注）大分類「学ぶ（見る・体験する）」・中分類「文化・歴史」として「名古屋城」、「東山動植物園」、「熱田神宮」、「名古屋市科学館」、「名古屋港水族館」、同・中分類「産業観光」として「ノリタケの森」に協力していただいた。

## (2) 調査結果

### ①居住地構成、性・年齢構成

#### a. 居住地構成

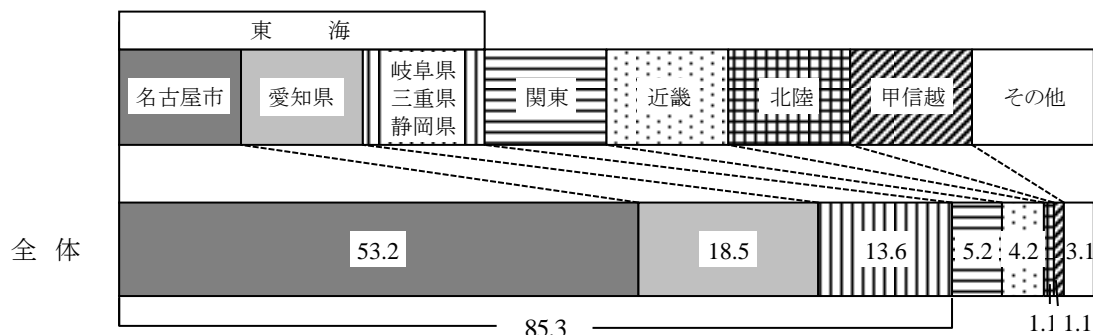
観光入込客の居住地は、全体では「名古屋市」が 53.2%と最も多く、「愛知県（名古屋市を除く）」、「岐阜県・三重県・静岡県」を合計した「東海」が 85.3%を占め、「関東」、「近畿」など「東海以外」の地域からの入込客は全体で 14.7%である。

観光地点別にみると、「熱田神宮」や「東山動植物園」の入込客では「名古屋市」居住者の構成比が高く、上記のほか「名古屋市科学館」、「名古屋港水族館」の入込客では9割程が「東海」居住となっている。一方、「名古屋城」では「関東」をはじめ「東海以外」の地域が 31.1%と比較的広域的に集客している。

表 2-1-1 入込客の居住地構成（観光地点別）

（単位：％）

観光地点	東海				関東	近畿	北陸	甲信越	その他	合計
	名古屋市	愛知県 (名古屋市を除く)	岐阜県・三重県・静岡県							
名古屋城	68.9	48.3	13.2	7.4	16.1	4.5	0.3	2.2	8.0	100.0
東山動植物園	93.7	57.2	24.9	11.6	1.6	1.9	0.3	0.8	1.7	100.0
熱田神宮	89.6	60.8	17.0	11.8	3.4	3.9	0.8	0.0	2.3	100.0
名古屋市科学館	88.4	50.7	14.7	23.0	2.7	4.2	1.7	1.2	1.8	100.0
名古屋港水族館	90.8	49.5	26.1	15.2	2.4	2.9	1.3	0.8	1.8	100.0
ノリタケの森	81.1	53.4	15.4	12.3	4.6	7.8	2.1	1.5	2.9	100.0
全 体	85.3	53.2	18.5	13.6	5.2	4.2	1.1	1.1	3.1	100.0



注：愛知県は名古屋市を除く

東 海－名古屋市・愛知県・岐阜県・三重県・静岡県

関 東－東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県

近 畿－滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

北 陸－福井県・石川県・富山県

甲信越－新潟県・長野県・山梨県

図 2-1-1 入込客の居住地構成

**b. 性・年齢構成**

男性が49.0%、女性が51.0%と、ほぼ半々となっている。

男女ともに「20～29歳」が最も多く、全体の観光地点別にみると、「20～29歳」の割合は、「名古屋市科学館」、「名古屋港水族館」で特に高くなっている。一方、「名古屋城」では「60～69歳」が最も多く、60歳以上が4割を占めている。

性別の割合は、「熱田神宮」、「名古屋市科学館」で男性の割合が高く、「名古屋城」、「東山動植物園」で女性の割合が高くなっている。

表 2-1-2 入込客の地点別性・年齢構成

(単位：%)

性別	観光地点	年 齢							合計
		10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
全体	名古屋城	1.6	19.1	11.1	10.7	16.5	25.2	15.8	100.0
	東山動植物園	12.4	20.9	19.9	11.4	5.9	14.6	14.9	100.0
	熱田神宮	5.9	17.5	14.1	15.9	14.1	17.3	15.2	100.0
	名古屋市科学館	8.9	30.0	11.8	15.0	26.7	5.3	2.3	100.0
	名古屋港水族館	11.7	28.3	27.1	14.0	6.4	7.8	4.7	100.0
	ノリタケの森	6.5	21.9	15.5	13.5	15.3	18.3	9.0	100.0
	合 計	7.8	23.0	16.5	13.4	14.3	14.7	10.3	100.0
男性	名古屋城	0.7	13.9	9.5	9.5	18.3	33.1	15.0	42.8
	東山動植物園	11.8	21.1	19.7	12.2	5.4	15.8	14.0	43.7
	熱田神宮	8.0	17.5	14.0	15.7	13.2	15.9	15.7	59.7
	名古屋市科学館	8.0	27.1	12.0	12.3	31.2	6.3	3.1	53.2
	名古屋港水族館	12.4	28.0	27.7	13.4	5.2	6.8	6.5	50.1
	ノリタケの森	10.2	19.7	15.6	11.3	13.8	18.5	10.9	44.9
	合 計	8.5	21.5	16.3	12.5	15.0	15.5	10.7	49.0
女性	名古屋城	2.2	23.0	12.3	11.5	15.1	19.5	16.4	57.2
	東山動植物園	12.8	20.8	20.0	10.8	6.4	13.6	15.6	56.3
	熱田神宮	2.8	17.5	14.2	16.3	15.4	19.2	14.6	40.3
	名古屋市科学館	10.0	33.3	11.7	18.1	21.4	4.2	1.3	46.8
	名古屋港水族館	11.1	28.5	26.5	14.7	7.5	8.8	2.9	49.9
	ノリタケの森	3.6	23.6	15.4	15.4	16.6	18.0	7.4	55.1
	合 計	7.2	24.5	16.7	14.2	13.6	13.9	9.9	51.0

注：男性・女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

## ②旅行の内容

### a. 今回の主な目的

旅行の主な目的は、「観光施設の見学」が多く、これをはじめとする「観光・娯楽」目的者の割合は合わせて89.5%を占めている。

時系列にみても、「観光・娯楽」の割合は8割台で推移している。

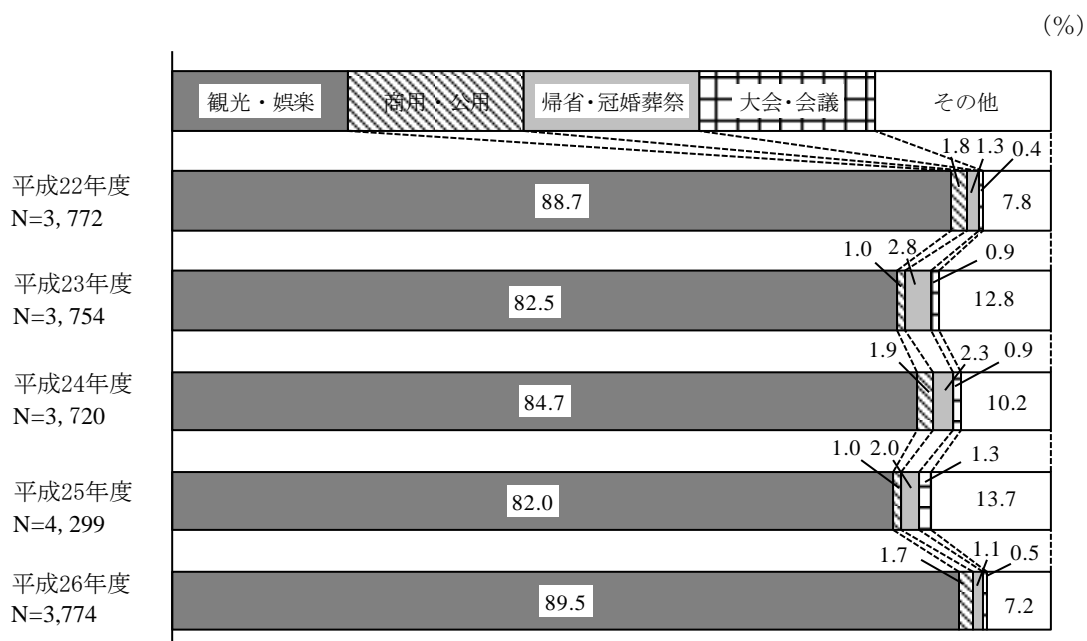


図 2-1-2 入込客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-1-3 入込客の主な旅行目的（観光地点別）

(単位：%)

旅行目的 観光地点	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
名古屋城	57.3	4.2	7.1	13.8	6.1	2.5	1.4	0.9	0.9	5.8	100.0
東山動植物園	74.3	1.6	0.8	7.2	1.6	5.6	0.8	0.5	0.6	7.0	100.0
熱田神宮	52.8	10.6	0.3	4.9	10.0	2.0	5.9	1.6	0.3	11.6	100.0
名古屋市科学館	51.5	9.5	6.2	21.7	4.5	2.0	0.9	2.6	0.6	0.5	100.0
名古屋港水族館	77.9	3.8	2.0	8.5	1.5	1.6	0.7	0.2	0.0	3.8	100.0
ノリタケの森	51.1	10.3	6.7	4.4	9.5	1.3	0.7	0.5	0.5	15.0	100.0
全体	60.7	6.7	3.9	10.2	5.5	2.5	1.7	1.1	0.5	7.2	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」目的で来訪した方（全体の 89.5%）が名古屋を選んだきっかけは、「前に来たことがあり良かったから」の割合が高い。

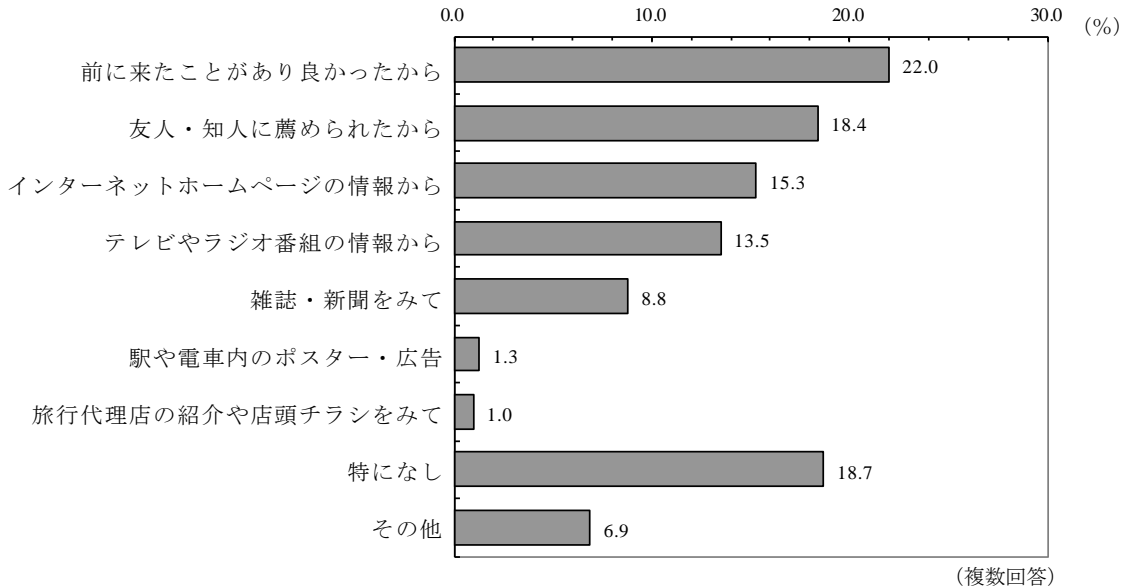


図 2-1-3 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳

表 2-1-4 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳（観光地点別）

(単位：%)

観光地点	きっかけ 前に来たことがあり良かったから	友人・知人に薦められたから	インターネットホームページの情報から	テレビやラジオ番組の情報から	雑誌・新聞をみて	駅や電車内のポスター・広告	旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて	特になし	その他	合計
名古屋城	18.3	27.4	7.2	21.4	15.2	1.6	1.7	10.9	10.5	114.2
東山動植物園	32.1	14.8	4.1	13.4	5.8	2.6	0.3	25.8	5.0	103.9
熱田神宮	30.7	15.0	5.1	13.6	4.7	0.0	0.0	28.9	5.1	103.1
名古屋市科学館	9.4	8.1	51.6	7.6	9.7	1.9	1.3	14.0	1.1	104.7
名古屋港水族館	25.0	18.8	9.2	11.5	9.7	0.7	0.9	17.1	12.6	105.5
ノリタケの森	18.2	27.6	9.0	13.9	7.0	1.0	1.8	17.6	7.2	103.3
全 体	22.0	18.4	15.3	13.5	8.8	1.3	1.0	18.7	6.9	105.9

(複数回答)

c. 観光施設への遊覧状況

観光地点相互の立ち寄り状況をみると、一人あたりの平均訪問施設数は1.69施設である。  
 全般に調査場所の近隣にある観光施設にも立ち寄っているケースがみられる。

表 2-1-5 他の観光施設への遊覧状況（観光地点別）

（単位：％）

訪問施設 観光地点	名古屋城	念館 トヨタ産業技術記 ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	術館 名古屋ボストン美	
名古屋城		2.7	7.4	5.6	7.4	18.0	2.5	3.3	1.1	4.7	0.5	0.6	1.9
東山動植物園	7.0	0.5	1.6	1.3	1.7	3.3	0.3		16.1	1.9	0.3	0.3	0.5
熱田神宮	15.7	0.3	2.0	1.3	0.8		2.3	4.6	2.5	2.3	0.0	0.2	0.3
名古屋市科学館	16.7	1.5	2.0	2.6	1.1	8.6	0.8	3.5	3.0	10.9	11.2	4.1	2.1
名古屋港水族館	3.4	0.0	0.0	0.0	0.2	3.1	0.5	2.9	0.5	1.5	0.2	0.3	0.0
ノリタケの森	14.0	7.7		3.6	2.3	6.7	1.1	1.5	0.5	1.8	0.3	0.5	1.3

訪問施設 観光地点	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	久屋大通庭園フラリエ (旧ランの館)	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエア などの高層建築物	リニア・鉄道館	その他	平均訪問施設数
名古屋城	1.7	0.3	0.5	1.3	4.9	1.6	0.2	0.0	3.8	1.4	9.9	1.81
東山動植物園	1.3	0.2	0.2	0.5	5.8	0.8	0.2	0.0	3.6	0.6	3.3	1.51
熱田神宮	2.1	0.3	0.7	0.2	2.3	0.8	0.0	0.0	3.8	0.7	11.9	1.55
名古屋市科学館		3.9	19.7	0.8	8.5	2.1	0.5	0.0	1.7	5.2	2.0	2.12
名古屋港水族館	0.2	0.0	0.3	0.7		17.1	7.7	0.2	1.6	3.1	6.0	1.49
ノリタケの森	2.4	0.5	0.5	0.3	1.1	0.5	0.0	0.3	5.7	0.7	10.6	1.64

（複数回答）

※一人あたりの平均訪問施設数

平均訪問施設数は、各観光地点での調査サンプル数（a）とその観光地点・施設以外へ訪れた数及び訪れる予定数（b）の合計を調査サンプル数（a）で除した数値。

$$\text{平均訪問施設数} : 1.69 = \{3,774 (a) + 2,615 (b)\} \div 3,774 (a)$$

#### d. 旅行形態

全体では、「友人・知人」が41.4%で、「夫婦」や「幼児・小学生連れ」など「家族連れ」が合計で38.4%、「ひとり」が18.0%となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」、「名古屋市科学館」の入込客は「友人・知人」の割合が半数弱と高い。「東山動植物園」の入込客は「家族連れ」が半数を占める。

表 2-1-6 入込客の旅行形態（観光地点別）

(単位：%)

観光地点	旅行形態	ひとり	友人・知人	家族連れ			団体		その他	合計
				幼児・小学生連れ	夫婦	その他	一般	学生		
名古屋城		14.7	47.2	2.7	25.4	8.6	0.5	0.0	0.9	100.0
東山動植物園		12.2	37.1	23.3	14.1	12.5	0.0	0.0	0.8	100.0
熱田神宮		30.8	35.7	3.9	21.3	6.5	0.7	0.0	1.1	100.0
名古屋市科学館		23.9	47.5	4.5	15.6	5.9	2.3	0.0	0.3	100.0
名古屋港水族館		9.6	39.9	25.9	11.7	10.0	0.8	0.0	2.1	100.0
ノリタケの森		16.8	41.2	7.0	22.3	9.5	1.6	0.3	1.3	100.0
全 体		18.0	41.4	11.2	18.4	8.8	1.0	0.1	1.1	100.0

パッケージ旅行の割合は、全体では2.1%である。

地域別にみると、パッケージ旅行を利用する割合は、「関東」、「その他」からの入込客では1割台が利用している。また、宿泊客では「パッケージ旅行」を1割が利用している。

表 2-1-7 入込客のパッケージ旅行利用有無（地点・地域・宿泊別）

(単位：%)

観光地点・地域・宿泊		旅行形態	パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	合計
観 光 地 点	名古屋城		5.0	95.0	100.0
	東山動植物園		0.3	99.7	100.0
	熱田神宮		0.5	99.5	100.0
	名古屋市科学館		2.0	98.0	100.0
	名古屋港水族館		1.0	99.0	100.0
	ノリタケの森		3.9	96.1	100.0
	地 域	東 海		0.7	99.3
名古屋市			0.1	99.9	100.0
愛知県（名古屋市を除く）			1.6	98.4	100.0
岐阜県・三重県・静岡県			1.9	98.1	100.0
関 東			13.8	86.2	100.0
近 畿			5.7	94.3	100.0
北 陸			9.8	90.2	100.0
甲信越 その他			9.8 11.1	90.2 88.9	100.0 100.0
宿 泊	宿泊客		10.3	89.7	100.0
	日帰り客		0.8	99.2	100.0
全 体			2.1	97.9	100.0

### ③旅行費用

#### a. 市内交通費

名古屋市内の移動や駐車などで支出する交通費は、全体では「1,000～3,000円未満」が43.2%と最も多く、次いで、「1,000円未満」が29.2%、「交通費はかからない」が19.5%となっている。市内交通費の平均額は1,134円であり、昨年度(1,502円)から368円の減額となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外」では「1,000～3,000円未満」の割合が最も多く、「名古屋市外からの宿泊客」の平均額は2,338円となっている。一方、「名古屋市内」では「1,000円未満」(36.7%)の割合が多く、平均額は674円と低額である。

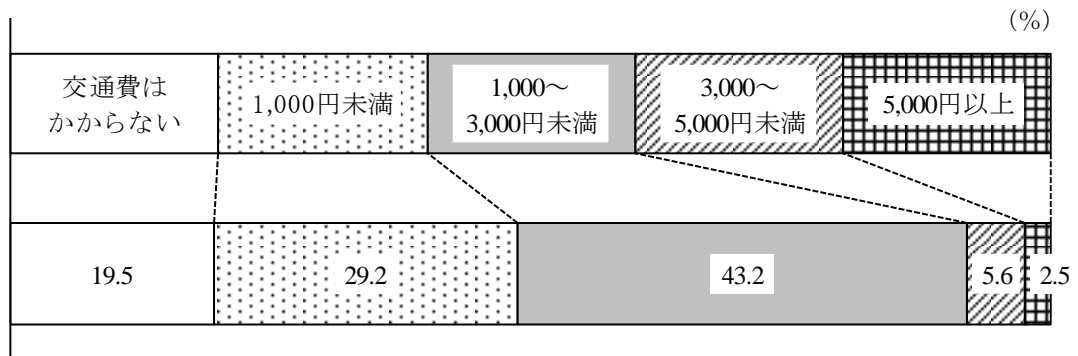


図 2-1-4 入込客の市内交通費

表 2-1-8 入込客の市内交通費 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

市内交通費		交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	合計	平均額 (円)
地点	名古屋城	13.2	29.3	48.7	7.4	1.4	100.0	1,117
	東山動植物園	26.4	26.0	41.0	5.5	1.1	100.0	901
	熱田神宮	32.7	23.4	39.2	2.9	1.8	100.0	900
	名古屋市科学館	8.9	43.0	36.2	8.3	3.6	100.0	1,275
	名古屋港水族館	11.6	30.3	50.4	4.6	3.1	100.0	1,364
	ノリタケの森	24.8	22.5	44.4	4.4	3.9	100.0	1,247
地域×宿泊	名古屋市内	28.5	36.7	33.3	1.1	0.4	100.0	674
	宿泊客	12.0	48.0	28.0	4.0	8.0	100.0	1,840
	日帰り客	28.7	36.5	33.4	1.1	0.3	100.0	660
	名古屋市外	9.2	20.7	54.5	10.7	4.9	100.0	1,657
	宿泊客	9.2	10.4	53.1	18.3	9.0	100.0	2,338
日帰り客	9.3	24.7	55.0	7.7	3.3	100.0	1,395	
全体		19.5	29.2	43.2	5.6	2.5	100.0	1,134



## b. 市内での土産代

「名古屋市内で土産を購入する予定なし」という回答が全体では60.8%と6割を占め、支出額としては、「2,000円未満」(16.3%)が最も多い。土産代の平均額は1,320円であり、昨年度(2,127円)と比較すると807円の減額となっている。

観光地点別にみると、「土産を購入する」割合は、「名古屋城」、「名古屋港水族館」、「ノリタケの森」の入込客で半数弱となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「土産を購入する」割合が8割以上を占め、平均額は4,621円である。

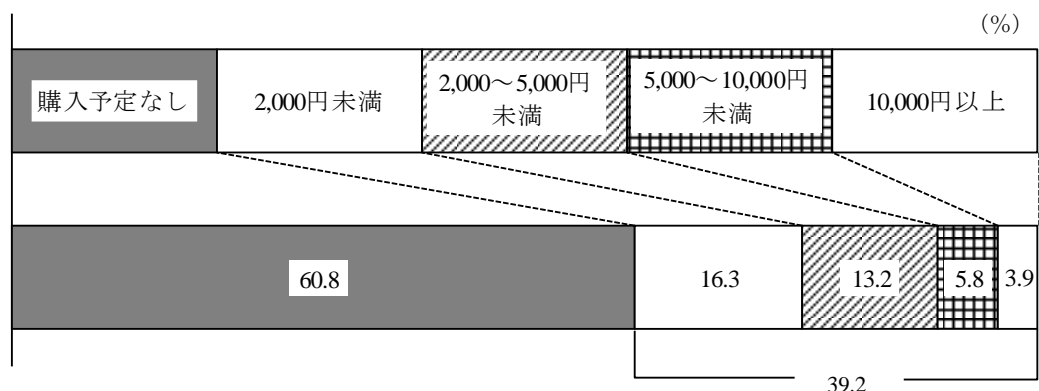


図 2-1-5 入込客の市内での土産代

表 2-1-9 入込客の市内での土産代 (地点・地域×宿泊別)

(単位：%)

地点・地域×宿泊		土産代					合計	平均額 (円)
		購入予定なし	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上		
観光地点	名古屋城	52.3	14.1	14.7	11.4	7.5	100.0	2,115
	東山動植物園	66.5	19.9	9.5	2.2	1.9	100.0	751
	熱田神宮	68.9	9.2	13.4	4.9	3.6	100.0	1,246
	名古屋市科学館	64.6	21.5	7.3	4.8	1.8	100.0	916
	名古屋港水族館	55.4	20.1	17.5	5.2	1.8	100.0	1,138
	ノリタケの森	56.4	12.7	17.5	6.2	7.2	100.0	1,772
地域×宿泊	名古屋市	74.8	15.5	7.5	1.1	1.1	100.0	521
	宿泊客	44.0	28.0	20.0	0.0	8.0	100.0	1,772
	日帰り客	75.2	15.3	7.4	1.1	1.0	100.0	505
	名古屋市外	44.6	17.3	19.7	11.2	7.2	100.0	2,228
	宿泊客	17.9	11.4	29.0	23.6	18.1	100.0	4,621
日帰り客	54.9	19.5	16.2	6.4	3.0	100.0	1,306	
全体		60.8	16.3	13.2	5.8	3.9	100.0	1,320

### c. 市内での食事代

市内での食事に係る支出をみると、全体では「500～2,000円未満」が最も多く4割近くを占める。次いで「2,000～5,000円未満」が27.7%、「500円未満」が19.7%である。食事代の平均額は2,299円であり、昨年度（2,489円）と比較すると190円の減額となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「5,000～10,000円未満」が最も多く、「10,000～30,000円未満」も3割ほどみられ、平均額は6,639円と高額である。一方、「名古屋市内」からの入込客では「2,000円未満」の割合が7割以上を占めている。

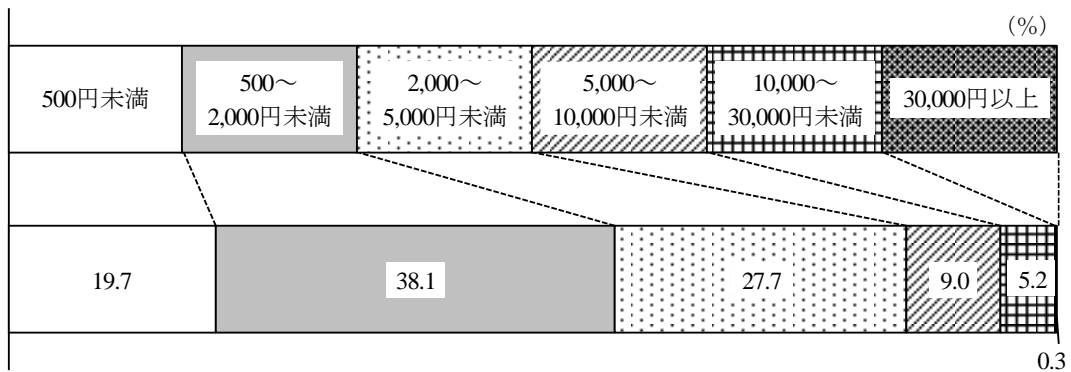


図 2-1-6 入込客の市内での食事代

表 2-1-10 入込客の市内での食事代（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

市内食事代		支出範囲 (円)						合計	平均額 (円)	
		500円未満	500～2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上			
地点	名古屋城	13.6	34.5	26.8	12.7	12.1	0.3	100.0	3,283	
	観 東山動植物園	23.2	47.3	22.7	4.9	1.9	0.0	100.0	1,471	
	光 熱田神宮	27.2	30.9	26.8	10.5	4.6	0.0	100.0	2,068	
	点 名古屋市科学館	20.5	40.9	21.8	11.7	4.8	0.3	100.0	2,379	
		名古屋港水族館	18.9	40.8	32.6	3.6	3.4	0.7	100.0	2,050
		ノリタケの森	15.2	33.6	36.1	10.4	4.2	0.5	100.0	2,528
地域×宿泊	名古屋市	28.4	46.0	22.4	2.3	0.9	0.0	100.0	1,253	
	宿泊客	12.0	44.0	32.0	4.0	8.0	0.0	100.0	2,336	
	日帰り客	28.6	45.9	22.3	2.3	0.8	0.1	100.0	1,239	
	名古屋市外	9.9	29.2	33.6	16.6	10.1	0.6	100.0	3,489	
宿泊客	4.7	6.3	23.6	34.9	29.1	1.4	100.0	6,639		
日帰り客	11.9	38.1	37.5	9.6	2.7	0.2	100.0	2,275		
全 体		19.7	38.1	27.7	9.0	5.2	0.3	100.0	2,299	

d. 市内での宿泊代

「名古屋市内の宿泊施設に宿泊する」と回答した割合は10.1%であり、1泊あたりの宿泊代は、「5,000～15,000円未満」の割合が多い。

なお、名古屋市内の宿泊施設に宿泊する方の1泊あたりの宿泊代の平均額は8,743円であり、昨年度(9,344円)と比較すると601円の減額となっている。

「名古屋市外からの宿泊客」では、「5,000～15,000円未満」の割合が半数近くを占める。

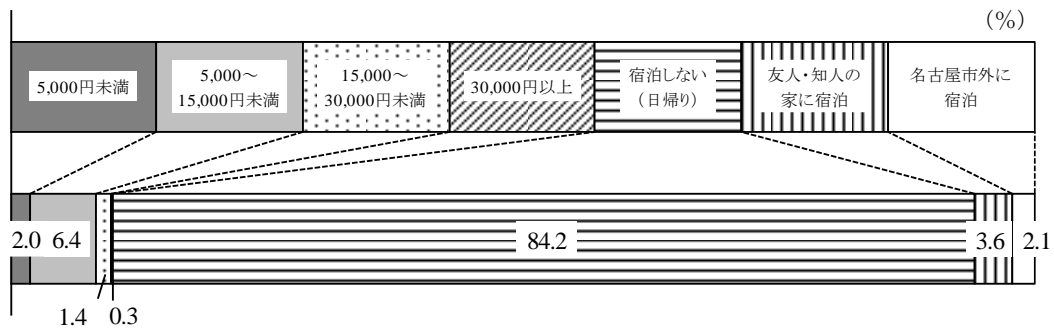


図 2-1-7 入込客の宿泊代

表 2-1-11 入込客の宿泊代 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

地点・地域×宿泊		市内宿泊代							合計	平均額 (円)
		5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	宿泊しない(日帰り)	友人・知人の家に宿泊	名古屋市外に宿泊		
観 光 地 点	名古屋城	5.3	13.2	2.4	0.8	69.9	5.3	3.1	100.0	8,784
	東山動植物園	0.9	3.3	0.3	0.2	92.7	2.0	0.6	100.0	7,783
	熱田神宮	1.0	4.6	1.0	0.2	89.1	2.5	1.6	100.0	9,505
	名古屋市科学館	1.4	3.8	3.2	0.2	83.8	5.5	2.1	100.0	11,561
	名古屋港水族館	1.1	3.9	0.3	0.2	90.7	2.3	1.5	100.0	7,532
	ノリタケの森	2.3	10.0	0.8	0.2	79.0	3.9	3.8	100.0	7,204
地 域 × 宿 泊	名古屋市	0.0	0.3	0.0	0.0	98.7	0.8	0.2	100.0	12,100
	宿泊客	4.0	24.0	4.0	4.0	0.0	64.0	0.0	100.0	12,100
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	99.8	0.0	0.2	100.0	—
	名古屋市外	4.2	13.4	2.8	0.5	68.0	6.8	4.3	100.0	8,662
	宿泊客	15.3	48.3	10.2	1.8	0.0	24.4	0.0	100.0	8,662
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	94.0	0.0	6.0	100.0	—
全 体		2.0	6.4	1.4	0.3	84.2	3.6	2.1	100.0	8,743

注: 平均額は「宿泊しない」「友人・知人の家に宿泊」「名古屋市外に宿泊」のデータを含まず算出

e. 市内での入場料

全体では「1,000～3,000円未満」の割合が37.2%と最も高い。入場料の平均額は1,026円であり、昨年度(1,271円)と比較すると245円の減額となっている。

観光地点別にみると、入場料が必要な「名古屋城」、「東山動植物園」では「1,000円未満」、「名古屋市科学館」、「名古屋港水族館」では「1,000～3,000円未満」の割合が、それぞれ最も高い。

地域別にみると、「名古屋市外」からの入込客の方が、入場料を支払っている割合が高い。

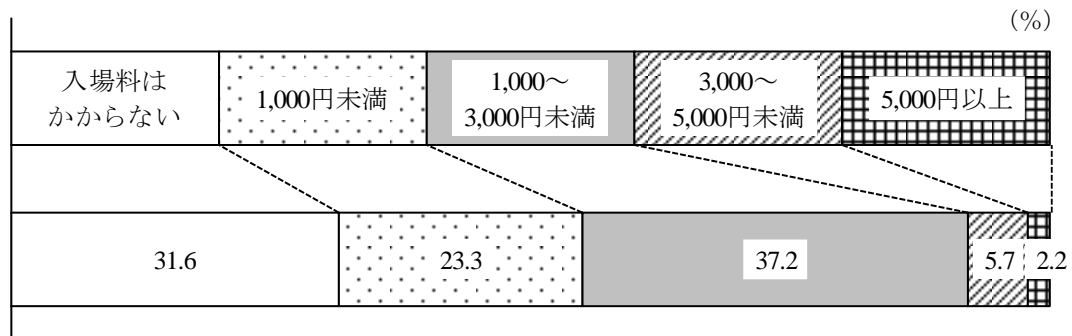


図 2-1-8 入込客の市内での入場料

表 2-1-12 入込客の市内での入場料 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

入場料		入場料はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	合計	平均額(円)
観光地点	名古屋城	9.4	54.1	31.2	4.4	0.9	100.0	862
	東山動植物園	22.5	46.2	28.6	2.5	0.2	100.0	622
	熱田神宮	77.6	7.7	9.8	3.9	1.0	100.0	364
	名古屋市科学館	1.7	15.7	65.4	11.4	5.8	100.0	1,952
	名古屋港水族館	14.4	4.7	66.6	10.4	3.9	100.0	1,896
	ノリタケの森	67.9	9.8	19.9	1.1	1.3	100.0	414
地域×宿泊	名古屋市	39.4	24.0	33.9	2.1	0.6	100.0	737
	宿泊客	36.0	28.0	24.0	8.0	4.0	100.0	976
	日帰り客	39.4	23.9	34.0	2.1	0.6	100.0	734
	名古屋市外	22.7	22.6	41.0	9.7	4.0	100.0	1,356
	宿泊客	12.8	18.5	41.4	17.1	10.2	100.0	1,972
日帰り客	26.5	24.1	41.0	6.8	1.6	100.0	1,119	
全体		31.6	23.3	37.2	5.7	2.2	100.0	1,026

f. その他の費用

これまでの項目以外の費用としては、「2,000円未満」が9割弱を占めている。その他の費用の平均額は901円であり、昨年度（1,295円）と比較すると394円の減額となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市」居住者より「名古屋市外」からの入込客の方が3倍以上、「日帰り客」より「宿泊客」の方が倍額以上、その他の費用がかかっている。

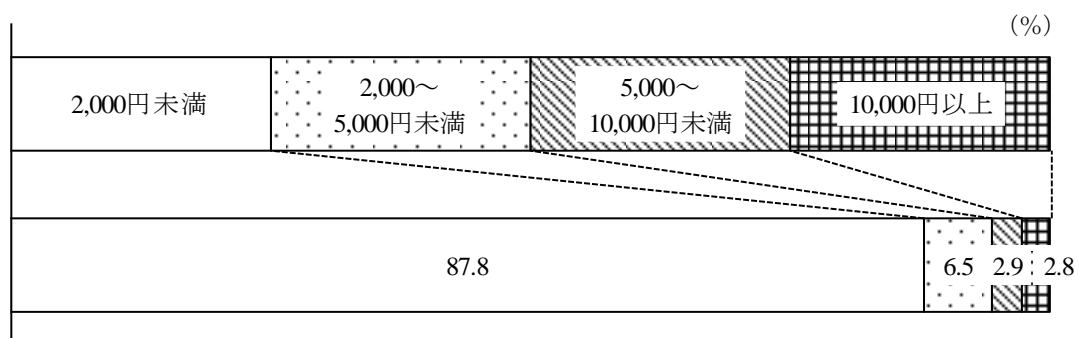


図 2-1-9 入込客のその他の費用

表 2-1-13 入込客のその他の費用（地点・地域×宿泊別）

（単位：％）

地点・地域×宿泊		その他の費用				合計	平均額 (円)
		2,000円 未満	2,000～ 5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000円 以上		
観 光 地 点	名古屋城	80.7	8.5	5.6	5.2	100.0	1,386
	東山動植物園	90.9	5.3	1.9	1.9	100.0	545
	熱田神宮	90.8	5.4	1.3	2.5	100.0	777
	名古屋市科学館	83.5	9.4	4.7	2.4	100.0	1,126
	名古屋港水族館	89.9	5.4	2.4	2.3	100.0	793
	ノリタケの森	90.8	5.1	1.3	2.8	100.0	756
地 域 × 宿 泊	名古屋市	93.9	4.3	1.1	0.7	100.0	400
	宿泊客	76.0	12.0	8.0	4.0	100.0	1,260
	日帰り客	94.1	4.2	1.0	0.7	100.0	389
	名古屋市外	80.7	9.1	5.0	5.2	100.0	1,471
宿泊客	68.2	12.0	9.6	10.2	100.0	2,592	
日帰り客	85.5	8.0	3.2	3.3	100.0	1,039	
全 体		87.8	6.5	2.9	2.8	100.0	901

#### ④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

名古屋市外に居住する方（全体の46.8%）の来名回数としては、「10回以上」が51.7%と最も多く、「今回はじめて」訪れた割合は13.2%である。

表 2-1-14 名古屋市外からの入込客の来名回数（地点・地域別）

（単位：％）

観光地点・地域		回数					合計
		はじめて	2回目	3回目	4～9回目	10回以上	
観光地点	名古屋城	29.7	12.1	8.5	11.5	38.2	100.0
	東山動植物園	7.3	5.5	7.0	10.3	69.9	100.0
	熱田神宮	12.5	9.6	10.8	20.4	46.7	100.0
	名古屋市科学館	9.2	13.8	19.0	13.8	44.2	100.0
	名古屋港水族館	9.0	5.8	11.0	16.8	57.4	100.0
	ノリタケの森	9.4	8.0	7.0	19.2	56.4	100.0
地域	東海	3.5	4.6	9.2	14.6	68.1	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	2.7	2.9	5.9	12.8	75.7	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	4.5	7.0	13.6	17.2	57.7	100.0
	東海以外	34.5	19.5	14.1	16.2	15.7	100.0
全 体		13.2	9.3	10.7	15.1	51.7	100.0

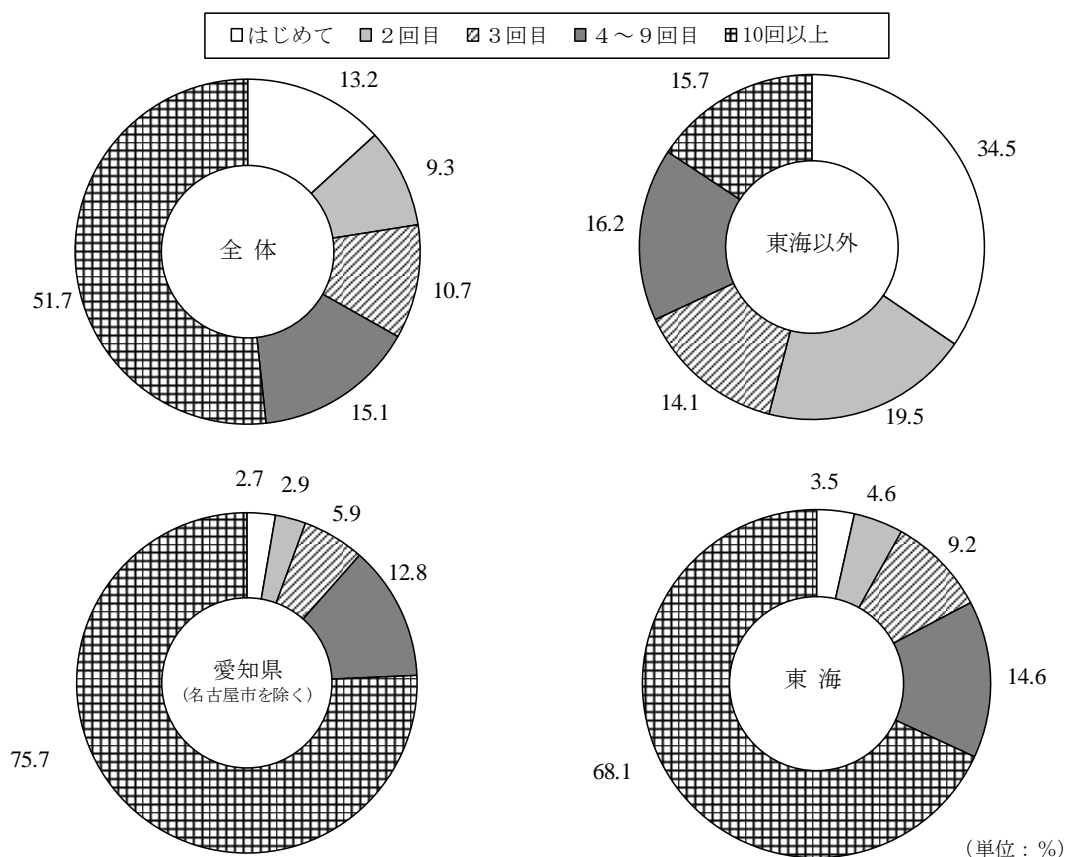


図 2-1-10 入込客の来名回数（地域別）

### ⑤交通機関

名古屋市外に居住する方の名古屋市内への主な交通手段は、全体では「JR」が36.5%、「自家用車」が30.1%、「名鉄電車」が22.5%となっている。

居住地別にみると、東海では「自家用車」の割合が最も高い。「東海以外」からの入込客では「JR」が63.4%と6割以上を占める。

旅行形態別にみると、「ひとり」、「友人・知人」などでは「JR」、「幼児・小学生連れ」や「夫婦」では「自家用車」、「団体旅行」では「観光バス」の割合が最も多い。

表 2-1-15 名古屋市外からの入込客の交通機関（地点・地域・旅行形態別）

（単位：％）

交通機関		J	名	近	自	航	路	観	そ	合	
		R	鉄	鉄	家	空	線	光	の	計	
地点・地域・旅行形態			電	電	用	機	バ	バ	他		
			車	車	車		ス	ス			
観 光 地 点	名古屋城	56.1	16.4	6.4	14.2	7.3	2.1	1.2	3.6	107.3	
	東山動植物園	27.8	24.2	5.1	41.8	1.8	2.6	0.0	1.8	105.1	
	熱田神宮	30.0	30.8	7.1	27.5	2.1	2.5	0.4	3.3	103.7	
	名古屋市科学館	29.8	24.2	9.2	30.4	0.6	0.9	4.9	1.2	101.2	
	名古屋港水族館	33.3	23.0	3.2	38.2	1.3	2.3	1.0	0.6	102.9	
	ノリタケの森	38.9	18.2	7.4	30.2	2.8	2.8	7.0	5.6	112.9	
地 域	東海	24.2	31.0	7.1	36.5	0.0	1.7	1.2	2.3	104.0	
	愛知県（名古屋市を除く）	23.6	40.2	2.2	31.8	0.0	2.3	1.0	3.2	104.3	
	岐阜県	30.3	33.1	0.8	35.9	0.0	1.2	1.2	1.6	104.1	
	三重県	8.2	4.4	36.8	51.1	0.0	0.5	0.5	0.0	101.5	
	静岡県	47.5	5.0	2.5	46.3	0.0	1.3	5.0	2.5	110.1	
	東海以外	63.4	3.8	4.9	16.1	8.7	3.1	5.2	3.4	108.6	
旅 行 形 態	ひとり	38.5	26.8	5.2	22.1	2.3	2.3	0.5	5.6	103.3	
	友人・知人	42.6	24.4	8.1	19.9	3.6	2.6	2.2	3.1	106.5	
	家 族	幼児・小学生連れ	16.7	21.9	1.9	57.7	0.9	1.4	1.9	0.5	102.9
		夫婦	30.8	19.5	8.4	41.9	1.0	1.9	0.3	1.6	105.4
		その他	39.4	19.7	4.0	34.3	5.1	2.0	1.0	2.0	107.5
	団体旅行	27.3	9.1	3.0	6.1	0.0	0.0	57.6	3.0	106.1	
	その他	66.7	4.8	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.1	
全 体		36.5	22.5	6.4	30.1	2.7	2.2	2.5	2.7	105.6	

（複数回答）

## ⑥名古屋市以外の訪問地

名古屋市外に居住する入込客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」方の割合は全体では16.0%である。その訪問先としては、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」が最も多く、以下、「明治村・犬山」、「伊勢・志摩」、「知多・常滑・セントレア」、「長久手・モリコロパーク」となっている。

観光地点別にみると、「名古屋市以外にも訪問する」という割合は、「名古屋城」の入込客では26.4%と高く、「ノリタケの森」、「名古屋市科学館」、「熱田神宮」の入込客でも15～19%みられる。

宿泊客では、「名古屋市以外にも訪問する」という割合が26.6%となり、訪問先としては「明治村・犬山」が最も多い。

表 2-1-16 名古屋市外からの入込客の訪問地（地点・宿泊別）

（単位：％）

訪問地		名古屋市内のみ	長島温泉・湯の山・鈴鹿	明治村・犬山	伊勢・志摩	知多・常滑・セントレア	長久手・モリコロパーク	岐阜・関ヶ原	下呂・高山	豊田・岡崎・足助	多治見・恵那・中津川	蒲郡・西浦・三谷	瀬戸・小原	豊橋・伊良湖	豊川・鳳来寺	その他	訪問地合計
観光地点・宿泊	名古屋城	73.6	6.4	6.1	4.5	3.3	4.8	3.3	2.7	3.0	1.8	1.2	1.2	0.9	0.3	3.6	43.1
	東山動植物園	90.1	0.7	2.2	1.8	2.9	1.8	1.8	1.5	0.4	0.7	0.4	0.4	1.5	0.4	0.4	16.9
	熱田神宮	84.9	4.2	4.2	2.1	1.3	2.5	0.8	1.7	0.8	1.3	0.0	0.8	0.0	0.8	0.4	20.9
	名古屋市科学館	82.8	4.0	5.8	1.5	2.8	1.2	1.2	2.5	0.6	1.8	0.9	0.9	0.3	0.9	0.3	24.7
	名古屋港水族館	93.5	2.9	0.6	0.6	1.3	0.6	1.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3	0.6	8.5
	ノリタケの森	80.7	8.4	3.2	4.2	1.8	0.7	1.4	1.1	2.5	0.4	1.4	0.0	0.7	0.0	1.4	27.2
	宿泊客	73.4	5.9	8.2	3.9	3.3	3.7	3.3	4.1	2.0	1.0	1.6	0.4	0.6	0.4	3.3	41.7
日帰り客	88.1	3.9	2.0	2.0	1.9	1.3	1.0	0.6	0.9	1.0	0.4	0.7	0.6	0.5	0.4	17.2	
全体		84.0	4.5	3.7	2.5	2.3	2.0	1.6	1.6	1.2	1.0	0.7	0.6	0.6	0.5	1.2	24.0

（複数回答）



## ⑦旅行日程

名古屋市外からの入込客の旅行日程としては、「日帰り」が68.0%であり、「2日以上」の割合は合わせて32.0%となっている。

観光地点別にみると、「2日以上」の割合は、「名古屋城」の入込客では56.4%と高く、「ノリタケの森」の入込客でも4割以上となっている。

居住地別にみると、「東海」居住者では9割以上が「日帰り」である。一方、「その他」や「関東」からの入込客では9割以上が「2日以上」となっている。

表 2-1-17 名古屋市外からの入込客の旅行日程（地点・地域別）

（単位：％）

観光地点・地域		日 程					合 計
		日帰り	2日	3日	4日	5日以上	
観 光 地 点	名古屋城	43.6	38.9	12.4	2.1	3.0	100.0
	東山動植物園	84.6	12.1	2.2	0.0	1.1	100.0
	熱田神宮	73.8	17.9	5.0	2.9	0.4	100.0
	名古屋市科学館	69.9	25.5	3.7	0.6	0.3	100.0
	名古屋港水族館	82.0	13.3	3.5	0.6	0.6	100.0
	ノリタケの森	58.8	32.6	5.9	0.3	2.4	100.0
地 域	東 海	90.7	7.6	1.4	0.1	0.2	100.0
	関 東	9.2	71.3	13.8	2.1	3.6	100.0
	近 畿	35.8	49.7	11.9	1.3	1.3	100.0
	北 陸	22.0	68.3	4.9	2.4	2.4	100.0
	甲信越	34.1	53.7	9.8	0.0	2.4	100.0
	その他	3.4	52.2	25.6	9.4	9.4	100.0
全 体		68.0	23.9	5.6	1.1	1.4	100.0

## ⑧市内での宿泊数

名古屋市外からの入込客の中で「日帰り」を除いた方（全体の14.9%）のうち、名古屋市内に宿泊する割合は86.0%である。その泊数としては、「1泊」する割合が67.8%と最も高い。

宿泊する全ての階層で「1泊」の割合が最も高い。

観光地点別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は「ノリタケの森」では2割ほどみられる。

居住地別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は「東海」で2割、「近畿」からの入込客で2割弱と比較的多い。また、「2泊以上」する割合は「その他」からの入込客では4割弱と多い。

表 2-1-18 名古屋市外からの入込客の名古屋市内における宿泊数（地点・地域別）

（単位：％）

観光地点・地域		市内宿泊数					合 計
		宿泊しない	1泊	2泊	3泊	4泊以上	
観 光 地 点	名古屋城	11.8	66.7	17.2	1.6	2.7	100.0
	東山動植物園	7.1	76.2	14.3	0.0	2.4	100.0
	熱田神宮	14.3	60.3	17.5	7.9	0.0	100.0
	名古屋市科学館	13.3	75.5	10.2	1.0	0.0	100.0
	名古屋港水族館	16.1	66.0	12.5	3.6	1.8	100.0
	ノリタケの森	19.5	64.5	11.0	0.8	4.2	100.0
地 域	東 海	19.6	72.4	7.1	0.0	0.9	100.0
	関 東	11.3	74.5	13.0	0.6	0.6	100.0
	近 畿	16.7	64.6	15.7	2.0	1.0	100.0
	北 陸	12.5	75.0	6.3	3.1	3.1	100.0
	甲信越	11.1	70.4	14.8	0.0	3.7	100.0
	その他	11.5	52.2	23.0	7.1	6.2	100.0
全 体		14.0	67.8	14.0	2.1	2.1	100.0

## ⑨名古屋の観光の評価

### a. 名古屋の印象・旅行の満足度

名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が51.1%と最も多く、「大変満足」が28.6%で合わせた79.7%が満足と評価している。「普通」が20.1%であり、「やや不満」はごく僅かで、「不満」は皆無である。

観光地点別にみると、満足と評価している割合は、「名古屋市科学館」の入込客では9割以上、「名古屋城」と「名古屋港水族館」の入込客では8割以上と高い。

居住地別、性別、年齢別にみても、全ての階層で満足と評価している割合は7割を超えていて、市外からの入込客では名古屋の印象は良好である。

表 2-1-19 名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

印象・満足度		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	合計
観光地点	名古屋城	26.1	54.5	19.4	0.0	0.0	100.0
	東山動植物園	24.2	46.5	29.3	0.0	0.0	100.0
	熱田神宮	22.9	51.7	24.6	0.8	0.0	100.0
	名古屋市科学館	43.9	46.9	9.2	0.0	0.0	100.0
	名古屋港水族館	34.5	46.8	18.4	0.3	0.0	100.0
	ノリタケの森	16.4	60.6	22.7	0.3	0.0	100.0
地域	東海	26.9	51.9	21.1	0.1	0.0	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	23.1	52.9	23.9	0.1	0.0	100.0
	岐阜県	33.1	49.4	17.5	0.0	0.0	100.0
	三重県	31.9	51.6	16.5	0.0	0.0	100.0
	静岡県	30.0	51.2	18.8	0.0	0.0	100.0
	関東	31.3	51.8	15.9	1.0	0.0	100.0
	近畿	28.3	48.4	23.3	0.0	0.0	100.0
	北陸	43.9	39.0	17.1	0.0	0.0	100.0
	甲信越	39.0	48.8	12.2	0.0	0.0	100.0
その他	31.6	51.3	16.2	0.9	0.0	100.0	
性別	男性	31.4	48.8	19.4	0.4	0.0	100.0
	女性	26.1	53.0	20.8	0.1	0.0	100.0
年齢	10～19歳	35.7	45.2	19.1	0.0	0.0	100.0
	20～29歳	34.5	47.8	17.5	0.2	0.0	100.0
	30～39歳	27.2	52.4	20.4	0.0	0.0	100.0
	40～49歳	29.2	49.8	19.9	1.1	0.0	100.0
	50～59歳	26.1	53.7	20.2	0.0	0.0	100.0
	60～69歳	18.6	57.4	24.0	0.0	0.0	100.0
	70歳以上	22.0	52.4	25.6	0.0	0.0	100.0
全体		28.6	51.1	20.1	0.2	0.0	100.0

## b. 満足した名古屋の観光資源

名古屋市以外からの入込客が満足した名古屋の観光資源としては、全体では「レジャー施設（動植物園、水族館等）」が34.8%と最も高く、「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」が32.5%、「グルメ・なごやめし」が19.9%、「産業観光・ものづくりの施設（産業記念館、ノリタケの森等）」が14.5%、「都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）」が9.0%となっている。

観光地点別にみると、当然ながら、訪れた施設についての割合は高く、特に「名古屋港水族館」の入込客で評価は良好である。

訪れた観光地点に影響しない観光資源について、居住地別にみると、「その他」や「関東」、「近畿」、「三重県」、「岐阜県」、「甲信越」からの入込客では「グルメ・なごやめし」の割合が比較的高く、「甲信越」からの入込客では「ショッピングや街歩き」、「関東」からの入込客では「コンサートや観劇鑑賞」に関しても15～17%みられる。

表 2-1-20 名古屋市外からの入込客の満足した名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

地点・地域・性別・年齢	満足した観光資源											合計
	歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	コンサートや観劇鑑賞	観戦スポーツ	その他	特になし	合計	
観光地点	名古屋城	72.1	3.6	6.7	17.9	28.8	4.5	12.1	0.9	1.2	5.8	153.6
	東山動植物園	5.1	0.7	75.5	5.5	8.1	0.7	1.1	0.7	0.4	14.3	112.1
	熱田神宮	58.2	2.9	8.4	5.0	21.8	2.9	0.8	1.3	0.8	12.6	114.7
	名古屋市科学館	28.5	11.7	25.8	12.3	29.4	11.0	2.1	0.3	0.9	16.3	138.3
	名古屋港水族館	6.8	0.0	83.9	3.9	12.6	1.0	1.0	0.0	1.3	8.7	119.2
	ノリタケの森	24.1	68.5	7.3	7.0	16.4	2.1	4.2	0.0	2.1	11.5	143.2
地域	東海	25.5	12.5	41.1	7.4	15.5	4.4	1.3	0.4	0.7	12.8	121.6
	愛知県	24.1	11.5	45.0	5.2	9.9	2.4	1.0	0.4	0.4	13.5	113.4
	岐阜県	28.7	12.0	31.5	11.2	24.7	10.0	1.2	0.0	0.8	13.1	133.2
	三重県	23.2	13.8	41.4	11.0	26.0	3.9	1.1	1.1	0.6	9.9	132.0
	静岡県	33.8	20.0	36.3	6.3	11.3	5.0	5.0	0.0	2.5	12.5	132.7
	関東	55.9	11.8	15.4	14.4	28.7	3.6	15.4	1.5	0.5	9.7	156.9
	近畿	35.8	25.8	28.3	10.7	26.4	2.5	3.1	0.0	3.8	8.2	144.6
	北陸	26.8	31.7	26.8	4.9	17.1	0.0	4.9	0.0	4.9	9.8	126.9
	甲信越	53.7	24.4	24.4	17.1	24.4	4.9	9.8	2.4	0.0	2.4	163.5
	その他	56.4	13.7	17.1	12.8	41.0	2.6	8.5	0.0	2.6	7.7	162.4
性別	男性	34.1	12.3	36.7	7.9	20.5	4.5	1.7	0.9	0.7	10.3	129.6
	女性	31.2	16.3	33.1	9.9	19.4	3.4	5.6	0.2	1.5	12.3	132.9
年齢	10～19歳	17.4	7.0	58.3	11.3	7.8	0.9	1.7	0.9	0.0	14.8	120.1
	20～29歳	31.7	12.0	36.5	13.3	25.8	2.4	4.6	0.4	1.3	9.4	137.4
	30～39歳	25.5	13.4	46.5	6.4	19.3	4.5	3.6	0.8	1.1	8.4	129.5
	40～49歳	32.1	17.0	30.0	11.2	20.6	4.3	4.3	0.0	1.1	11.9	132.5
	50～59歳	41.2	18.0	21.3	6.3	21.3	6.6	3.3	0.7	0.7	14.0	133.4
	60～69歳	36.9	18.7	26.1	4.9	15.8	4.4	4.4	0.0	1.5	15.3	128.0
	70歳以上	51.2	12.2	23.2	3.7	9.8	2.4	1.2	1.2	2.4	11.0	118.3
全体	32.5	14.5	34.8	9.0	19.9	3.9	3.8	0.5	1.1	11.4	131.4	

（複数回答）

c. 不満を感じた名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が不満を感じた名古屋の観光資源については、「特になし」が 92.0%と大半を占めている。個別の観光資源としては、最も割合が高い「産業観光・ものづくりの施設」でも 1.8%と僅かである。

観光地点別にみると、「名古屋市科学館」の入込客では「産業観光・ものづくりの施設」、「歴史的な施設」について、それぞれ数%が不満を感じている。そのほかの観光地点では「特になし」の割合が大半を占める。

居住地別にみると、不満を感じた観光資源がある割合は「北陸」からの入込客で2割弱と相対的に高い。性別、年齢別には、大きな差異はみられない。

表 2-1-21 名古屋市外からの入込客の不満を感じた名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

(単位：%)

不満を感じた観光資源		施設	歴史的な	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	名古屋グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	や観劇鑑賞	コンサート	観戦	スポーツ	その他	特になし	合計
地点・地域・性別・年齢															
観光地点	名古屋城	0.0	0.3	0.0	1.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	1.8	95.8	100.3		
	東山動植物園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	0.4	0.4	98.8	100.0		
	熱田神宮	1.3	0.0	0.4	1.7	1.3	0.4	0.0	0.4	0.4	0.4	94.6	100.5		
	名古屋市科学館	7.1	8.0	2.1	3.4	1.5	0.9	0.3	0.3	0.0	0.0	76.7	100.3		
	名古屋港水族館	0.3	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	96.1	100.0		
	ノリタケの森	0.3	1.4	0.3	1.7	0.7	0.7	0.3	0.0	0.0	3.1	91.6	100.1		
地域	東海	1.6	2.1	0.7	1.5	0.8	0.6	0.2	0.1	0.4	0.4	92.3	100.3		
	愛知県	1.4	2.1	0.6	1.1	0.7	0.6	0.4	0.1	0.3	0.3	93.0	100.3		
	岐阜県	2.4	3.2	1.2	2.0	0.8	0.4	0.0	0.0	0.4	0.4	89.6	100.0		
	三重県	0.5	1.1	0.5	0.5	1.6	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	95.3	100.0		
	静岡県	2.5	0.0	0.0	5.0	0.0	2.5	0.0	0.0	1.3	1.3	88.7	100.0		
	関東	2.1	0.0	0.5	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.5	3.6	91.8	100.0		
	近畿	1.9	0.6	1.3	1.9	0.6	0.6	0.0	0.0	1.9	1.9	91.8	100.6		
	北陸	4.9	7.3	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	4.9	80.5	100.0		
	甲信越	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	2.4	95.2	100.0		
	その他	0.0	1.7	0.9	0.9	0.9	0.0	0.9	0.0	3.4	3.4	91.3	100.0		
性別	男性	1.8	1.8	0.4	1.1	1.1	0.6	0.4	0.2	1.1	1.1	91.7	100.2		
	女性	1.4	1.7	0.9	1.7	0.5	0.3	0.1	0.0	1.4	1.4	92.2	100.2		
年齢	10～19歳	2.6	3.5	0.9	0.9	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	90.3	100.0		
	20～29歳	3.3	1.7	1.5	1.5	1.7	0.4	0.2	0.0	0.4	0.4	89.5	100.2		
	30～39歳	0.3	1.7	0.3	0.6	0.3	0.3	0.0	0.0	1.1	1.1	95.4	100.0		
	40～49歳	1.1	2.2	0.0	1.1	1.4	0.4	0.0	0.0	1.4	1.4	92.4	100.0		
	50～59歳	1.1	1.5	1.1	3.3	0.0	0.4	0.4	0.4	2.6	2.6	89.2	100.0		
	60～69歳	0.5	1.0	0.0	1.5	0.0	1.0	0.5	0.5	2.0	2.0	94.1	101.1		
	70歳以上	2.4	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	1.2	94.0	100.0		
全体	1.6	1.8	0.7	1.4	0.8	0.5	0.2	0.1	1.2	1.2	92.0	100.3			

(複数回答)

#### d. 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」と回答した割合は69.9%であり、「レジャー施設」の割合が23.9%、「歴史的な施設」の割合が22.8%と多く、「産業観光・ものづくり施設」、「グルメ・なごやめし」、「ショッピングや街歩き」、「お祭り・イベント」の割合が1割程となっている。

観光地点別にみると、訪れた施設についての割合は比較的高く、再訪の意向がある入込客も多いと言える。また、全般に「歴史的な施設」は高く、「名古屋城」の入込客では「グルメ・なごやめし」の割合も2割程みられる。

居住地別にみると、「関東」、「近畿」、「北陸」からの入込客では「歴史的な施設」、「東海」、「甲信越」などからの入込客では「レジャー施設」が最も高い。

性別、年齢別にみると、男性や40歳代以上では「歴史的な施設」、女性や30歳代以下では「レジャー施設」が最も高い。

表 2-1-22 名古屋市外からの入込客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

訪れてみたい観光資源		歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	コンサートや観劇鑑賞	観戦スポーツ	その他	特になし	合計
地点・地域・性別・年齢												
観光地点	名古屋城	29.2	15.5	23.1	14.3	19.8	11.2	10.3	4.3	0.9	21.0	149.6
	東山動植物園	19.0	6.2	34.1	10.3	9.5	10.3	4.8	6.6	0.4	30.0	131.2
	熱田神宮	24.6	6.7	18.3	10.0	13.3	7.5	2.5	1.3	0.8	36.7	121.7
	名古屋市科学館	21.8	12.9	11.7	6.2	4.0	4.3	4.6	2.8	0.3	42.5	111.1
	名古屋港水族館	23.3	5.2	41.7	5.8	11.7	5.2	3.9	2.6	1.3	23.0	123.7
	ノリタケの森	18.0	21.8	14.1	7.7	8.5	12.7	7.0	6.3	1.4	28.5	126.0
地域	東海	21.0	9.6	25.2	7.8	9.4	7.5	5.6	3.7	0.5	33.0	123.3
	愛知県	21.5	9.0	28.7	6.2	8.6	7.3	5.0	3.4	0.6	31.4	121.7
	岐阜県	19.5	12.0	17.5	8.8	12.4	11.2	7.2	4.8	0.4	36.7	130.5
	三重県	21.1	7.2	23.3	11.1	8.9	5.0	4.4	2.8	0.6	36.7	121.1
	静岡県	20.3	12.7	22.8	11.4	8.9	2.5	7.6	5.1	0.0	26.6	117.9
	関東	31.4	18.6	22.2	12.4	19.1	14.9	9.3	5.2	2.6	20.1	155.8
	近畿	25.8	13.8	18.2	11.9	17.0	6.9	2.5	2.5	1.3	25.8	125.7
	北陸	29.3	24.4	9.8	9.8	9.8	4.9	4.9	0.0	2.4	24.4	119.7
	甲信越 その他	26.8 19.7	4.9 15.4	29.3 23.1	9.8 12.0	9.8 8.5	7.3 12.0	4.9 6.0	14.6 4.3	0.0 0.9	24.4 26.5	131.8 128.4
性別	男性	24.4	9.7	23.7	8.1	11.3	8.0	4.1	4.9	0.6	32.3	127.1
	女性	21.4	13.2	24.0	9.8	11.0	8.9	7.1	3.2	1.1	28.1	127.8
年齢	10～19歳	17.5	3.5	26.3	8.8	8.8	12.3	6.1	3.5	0.0	35.1	121.9
	20～29歳	21.7	11.8	27.2	11.4	9.4	12.7	6.6	4.4	0.7	26.3	132.2
	30～39歳	20.2	9.3	28.4	7.6	11.0	7.9	5.1	7.6	1.4	29.8	128.3
	40～49歳	25.3	12.3	22.7	9.0	13.7	5.8	4.3	2.2	1.1	31.4	127.8
	50～59歳	20.7	14.8	18.5	8.1	12.2	6.6	6.3	3.0	0.4	36.5	127.1
	60～69歳	28.4	12.3	17.6	9.3	11.3	5.9	5.9	2.0	1.0	26.5	120.2
	70歳以上	31.7	17.1	19.5	4.9	12.2	3.7	4.9	1.2	1.2	28.0	124.4
全体	22.8	11.6	23.9	9.0	11.1	8.5	5.7	4.0	0.9	30.1	127.6	

（複数回答）

## 2-2 宿泊施設調査

### (1) 調査の概要

#### ①調査の目的

市内宿泊施設の概要ならびに宿泊者数を把握することにより、今後の本市観光推進のための基礎資料とすることを目的に、平成26年度における市内宿泊施設の現況を調査した。

#### ②調査対象・方法

平成25年度調査により把握した市内宿泊施設から廃止した施設を除き、平成26年度新規開業した施設を加え、168施設を今回の調査対象とした。

なお、旅館業法にもとづく許可施設のうち、簡易宿所、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設や宿泊客を受け入れていない料理旅館などを除いたものを調査対象とした。

調査にあたっては、対象施設に対して調査票を郵送し、回収した上で電話による補足調査を行った。

#### ③調査項目（巻末調査票参照）

- 施設のタイプ（ホテル、旅館、簡易宿所、下宿）
- タイプ別（和・洋室）の室数及び定員数
- 平成26年度の宿泊客数（実人数、延べ人数、外国人宿泊客を含む）
- 国別、宿泊客数
- 修学旅行団体の受入内容

#### ④調査時期及び回答状況

- 調査時期：平成27年6月～8月
- 回答状況：調査対象数 168施設  
有効回答数 160施設  
(全問回答 57施設、準全問回答 48施設、部分回答 55施設)  
廃休業数 8施設  
新規開業数 2施設

## (2) 宿泊施設の現状

### ①回答状況及び集計方法

今回の調査対象とした168（平成26年度新規開業した2施設を含む）施設のうち、調査で廃休業などが判明した8施設を除く160施設を有効回答数とした。

有効回答数のうち、全問回答が得られたのは57施設（対有効回答数比35.6%）、準全問回答（宿泊者数の回答有り）が得られたのは48施設（対有効回答数比30.0%）、部分回答が得られたのは55施設（対有効回答数比34.4%）であった。

施設のタイプについては、以下の分類区分を基本とした。

- ・登録ホテル：国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル
- ・ホテル：洋室の収容人数もしくは室数のいずれかが全体の過半数を占める施設で、上記登録ホテルを除いた施設
- ・旅館：和室の収容人数並びに室数が全体の過半数を占める施設

また、ホテルについて、室数（規模）をもとに以下の区分を行った。

- ・ホテル：200室以上、100室以上200室未満、50室以上100室未満、50室未満の4区分

表 2-2-1 回答状況（タイプ、規模別）

施設規模	回答状況	有効回答数				廃休業等 (施設)	新規開業 (施設)	対象施設数 (施設)
		計 (施設)	全問回答 (施設)	準全問回答 (施設)	部分回答 (施設)			
登録ホテル		15	8	5	2	1	(0)	16
ホテル (登録 ホテル を除く)	200室以上	34	10	13	11	0	(2)	34
	100室以上200室未満	37	13	15	9	0	(0)	37
	50室以上100室未満	28	5	11	12	0	(0)	28
	50室未満	14	6	1	7	1	(0)	15
計		113	34	40	39	1	(2)	114
旅館		32	15	3	14	6	(0)	38
全体		160	57	48	55	8	(2)	168
回収率：(%)		95.2	-	-	-	4.8	-	100.0
回答状況：(%)		100.0	35.6	30.0	34.4	-	(1.3)	-

注：新規開業は内数値のため、( ) となっている。



## ②施設の室数及び収容人数

今回の調査結果から得られた施設分類別の宿泊施設数、室数、収容人数は下表の通りである。  
施設数では、登録ホテルが15施設、登録ホテルを除くホテルは113施設、旅館は32施設となっている。また、室数の合計は21,775室、収容人数の合計は30,693人で、昨年度調査時点より合計施設数では6施設の減少、部屋数では226室、収容人数では233人の増加となった。

表 2-2-2 市内宿泊施設の規模別にみた室数及び収容人数（タイプ、規模別）

施設規模	室・人員	回答数 (施設)	和 室		洋 室		合 計	
			室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル		15	17	55	4,689	7,421	4,706	7,476
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	34	14	55	8,725	10,924	8,739	10,979
	100室以上 200室未満	37	9	27	5,189	6,990	5,198	7,017
	50室以上 100室未満	28	27	92	2,098	2,896	2,125	2,988
	50室未満	14	44	121	386	506	430	627
	計	113	94	295	16,398	21,316	16,492	21,611
旅館		32	492	1,472	85	134	577	1,606
全 体		160	603	1,822	21,172	28,871	21,775	30,693

表 2-2-3 市内宿泊施設の収容能力の推移

施設区分	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数
登録ホテル	4,918	7,688	4,902	7,615	4,896	7,769	4,898	7,689	4,706	7,476
ホ テ ル	15,501	19,948	16,037	20,833	16,020	20,959	16,020	21,030	16,492	21,611
旅 館	683	1,956	711	1,997	710	2,001	631	1,741	577	1,606
全 体	21,102	29,592	21,650	30,445	21,626	30,729	21,549	30,460	21,775	30,693
施 設 数	167		170		169		166		160	

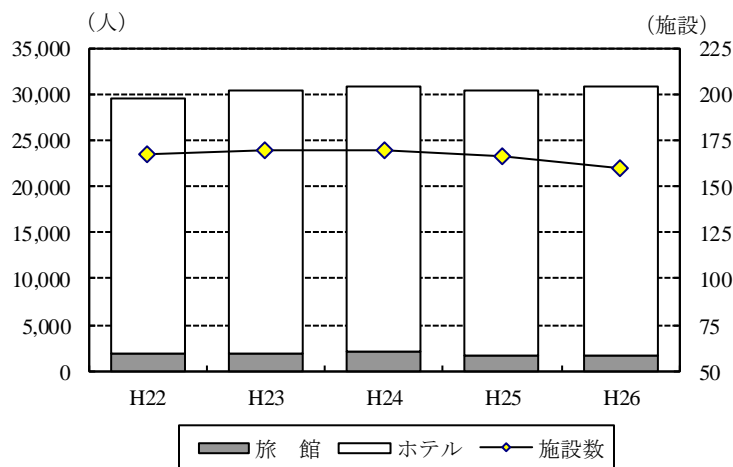


図 2-2-1 市内ホテル・旅館収容人数及び施設数推移

### (3) 宿泊客数

#### ①年間宿泊者数

##### a. 宿泊者数

平成 26 年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 752 万人泊であった。

タイプ別にみると、登録ホテルが約 181 万人泊、ホテル（登録ホテルを除く）が約 557 万人泊、旅館が約 15 万人泊である。

また、全施設の年間総実人数は約 586 万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約 1.3 日と推計される。

外国人宿泊者については、年間総延べ宿泊者数は約 85 万人泊、実人数は約 56 万人である。実人数を参照すると宿泊者の 9.5%が外国人で構成されており、一人あたりの宿泊日数は約 1.5 日と推計される。

また、外国人宿泊者の宿泊日数を施設別にみると、登録ホテルと旅館が宿泊者一人あたりの宿泊数は 1.7 泊、ホテル（登録ホテルを除く）が 1.4 泊となっている。

表 2-2-4 年間宿泊者数（推計値）

		全施設の年間 総延べ宿泊者数	うち全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者数	全施設の 年間総実人数	うち全施設の 年間外国人 総実人数
		(人泊)	(人泊)	(人)	(人)
登録ホテル		1,807,281	388,565	1,378,955	233,139
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	3,011,420	295,119	2,499,479	214,552
	100 室以上 200 室未満	1,744,404	127,341	1,292,603	84,554
	50 室以上 100 室未満	710,201	29,828	525,549	19,418
	50 室未満	103,191	5,882	78,116	3,570
計		5,569,216	458,170	4,395,747	322,094
旅館		146,505	2,344	81,017	1,362
全 体		7,523,002	849,079	5,855,719	556,595

## b. 宿泊者数の推移

宿泊者数の過去 5 年間の推移をみると、年間総実人数、年間総延べ宿泊者数ともに平成 22 年度から増加傾向にあったものの、昨年度とほぼ横ばいで、年間総実人数は約 18 万人、年間総延べ宿泊者数は約 7 万人それぞれ減少している。

年間定員稼働率についても、平成 22 年度以降増加傾向にあったものの、昨年度より 2.2 ポイント減少している。

外国人宿泊者数については、昨年度とほぼ横ばいで、昨年度より総実人数は約 2 万人、総延べ宿泊者数は約 8 千人それぞれ減少している。

表 2-2-5 年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移（推計値）

区 分	年 度				
	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
年間総実人数（人）	4,608,978	5,192,149	5,796,736	5,979,400	5,855,719
うち外国人	396,508	271,884	482,571	570,030	556,595
年間総延べ宿泊者数（人泊）	5,960,567	6,674,019	6,950,791	7,509,115	7,523,002
うち外国人	609,400	441,255	606,148	839,550	849,079
年間定員稼働率（％）	57.3	62.1	63.2	67.8	68.6

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。  
 年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数（表 2-2-6 参照）

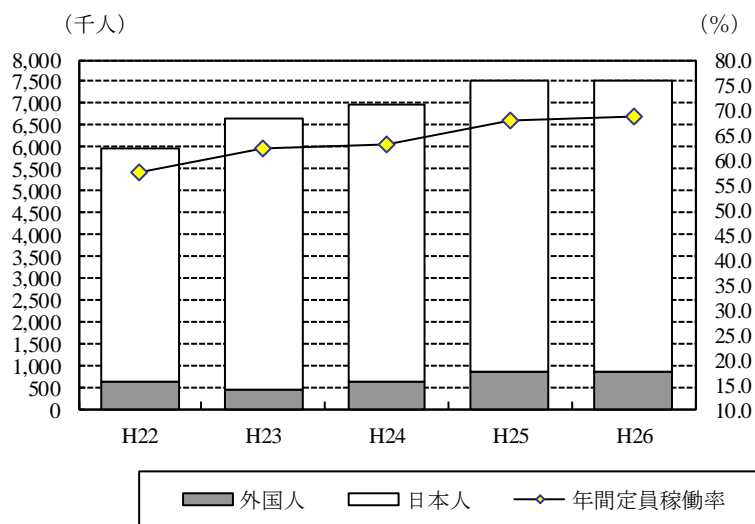


図 2-2-2 市内延べ宿泊者数の推移

## 推計方法

宿泊者数の推計にあたっては、各施設から得られた回答結果を最大限に活かし、推計に必要な回答が得られている施設（回答あり施設）の内容をもとに、稼働率や比率などの算定基準となる数値を推計し、全施設の推計値を算出した。

また、年間の収容可能人数（最大収容容量）は、各施設の一日あたりの収容可能人数に、その施設の平成 26 年度の営業日数（通年営業施設は 365 日）を乗じて算出した。

なお、計や全体は、施設分類別推計値や規模別推計値の積み上げ値とした。

### a. 全施設の年間総延べ宿泊者数（推計値）

#### ア：回答あり施設の年間延べ宿泊者数（実績値）及び年間定員稼働率

年間定員稼働率は、回答あり施設を対象として 68.6% の値を得た。区分別にみると、200 室以上のホテルが最も高く、旅館が最も低い値となった。

なお、ここでの稼働率は、年間収容可能人数に対する宿泊者数であり、客室稼働率とは異なる。

表 2-2-6 回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値及び年間定員稼働率

		回答数 (施設)	① 年間延べ 宿泊者数 (人泊)	② 回答あり施設 の 1 日収容可 能人数 (人)	③ 回答あり施設 の年間収容 可能人数 (人)	④ 年間定員 稼働率 (%)
登録ホテル		13	1,513,459	6,260	2,284,900	66.2
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	23	2,032,937	7,564	2,591,045	78.5
	100 室以上 200 室未満	28	1,302,455	5,239	1,912,235	68.1
	50 室以上 100 室未満	16	397,024	1,670	609,550	65.1
	50 室未満	7	50,843	309	112,785	45.1
計		74	3,783,259	14,782	5,225,615	72.4
旅館		18	83,086	911	332,515	25.0
全 体		105	5,379,804	21,953	7,843,030	68.6

注：③＝②×365 日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝①÷③

### イ：回答なし施設の年間延べ宿泊者数

回答なし施設の年間延べ宿泊者数については、回答なし施設の年間収容可能人数に、回答あり施設で求めた施設分類別・規模別の稼働率を乗じて推計値（2,143,198人泊）を算出した。

表 2-2-7 回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答なし施設 の1日収容 可能人数 (人)	② 回答なし施設 の年間収容 可能人数 (人)	③ 回答あり施設 で求めた 稼働率 (%)	④ 回答なし施設 の年間延べ 宿泊者数 の推計値 (人泊)
登録ホテル		2	1,216	443,840	66.2	293,822
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	11	3,415	1,246,475	78.5	978,483
	100室以上 200室未満	9	1,778	648,970	68.1	441,949
	50室以上 100室未満	12	1,318	481,070	65.1	313,177
	50室未満	7	318	116,070	45.1	52,348
	計	39	6,829	2,492,585		1,785,957
旅館		14	695	253,675	25.0	63,419
全 体		55	8,740	3,190,100		2,143,198

注：②＝①×365日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

$$④＝②×③$$

年間延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

### ウ：全施設の年間総延べ宿泊者数

全施設の年間総延べ宿泊者数は、前出のアの項で算出した回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値に、イの項で算出した回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値を加算して求めた（7,523,002人泊）。

表 2-2-8 全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値

		①回答あり施設		②回答なし施設		③全施設	
		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間総延べ 宿泊者数 (人泊)
登録ホテル		13	1,513,459	2	293,822	15	1,807,281
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	23	2,032,937	11	978,483	34	3,011,420
	100室以上 200室未満	28	1,302,455	9	441,949	37	1,744,404
	50室以上 100室未満	16	397,024	12	313,177	28	710,201
	50室未満	7	50,843	7	52,348	14	103,191
	計	74	3,783,259	39	1,785,957	113	5,569,216
旅館		18	83,086	14	63,419	32	146,505
全 体		105	5,379,804	55	2,143,198	160	7,523,002

注：③＝①＋②

**b. 全施設の年間総実人数（推計値）**

全施設の年間総実人数の推計値は、年間の延べ宿泊者数及び実人数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する実人数の割合を求め、実人数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-2-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した（5,855,719 人）。

表 2-2-9 全施設の年間総実人数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の年間 実人数 (人)	② 回答あり 施設の年間 延べ宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 実人数比率 (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の年 間総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		8	763,169	1,000,659	76.3	1,807,281	1,378,955
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	10	669,133	806,327	83.0	3,011,420	2,499,479
	100 室以上 200 室未満	13	443,408	598,610	74.1	1,744,404	1,292,603
	50 室以上 100 室未満	5	115,371	155,806	74.0	710,201	525,549
	50 室未満	6	37,486	49,497	75.7	103,191	78,116
計		34	1,265,398	1,610,240		5,569,216	4,395,747
旅館		15	37,793	68,321	55.3	146,505	81,017
全 体		57	2,066,360	2,679,220		7,523,002	5,855,719

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

**c. 全施設の年間外国人の宿泊者数（推計値）**

外国人の宿泊者数については、外国人及び外国人を含めた宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに割合を求め、全施設の宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

**ア：全施設の年間外国人総延べ宿泊者数（推計値）**

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値については、年間の延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する外国人延べ宿泊者数の割合を求め、外国人延べ宿泊者数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-2-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-2-10 全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (人泊)	② 回答あり 施設の年間延べ 宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 外国人延べ 宿泊者数 比率 (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)
登録ホテル		11	299,334	1,395,019	21.5	1,807,281	388,565
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	22	192,835	1,964,615	9.8	3,011,420	295,119
	100室以上 200室未満	25	88,510	1,217,366	7.3	1,744,404	127,341
	50室以上 100室未満	12	13,068	309,477	4.2	710,201	29,828
	50室未満	7	2,889	50,843	5.7	103,191	5,882
計		66	297,302	3,542,301		5,569,216	458,170
旅館		12	935	58,559	1.6	146,505	2,344
全 体		89	597,571	4,995,879		7,523,002	849,079

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

イ：全施設の年間外国人総実人数（推計値）

全施設の年間外国人総実人数の推計値については、年間の外国人延べ宿泊者数及び外国人実人数ともに回答が得られた施設をもとに、外国人延べ宿泊者数に対する外国人実人数の割合を求め、外国人実人数比とし、その数値をアの項で算出した全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値（表 2-2-10）に乗じて算出した。

表 2-2-11 全施設の年間外国人総実人数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の年間 外国人 実人数 (人)	② 回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 外国人 実人数比 (%)	④ 全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者 数推計値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間外国人 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		8	144,509	240,673	60.0	388,565	233,139
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	10	74,376	102,357	72.7	295,119	214,552
	100室以上 200室未満	15	39,233	59,105	66.4	127,341	84,554
	50室以上 100室未満	4	2,407	3,699	65.1	29,828	19,418
	50室未満	7	1,750	2,882	60.7	5,882	3,570
計		36	117,766	168,043		458,170	322,094
旅館		11	443	762	58.1	2,344	1,362
全 体		55	262,718	409,478		849,079	556,595

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

## ②国別外国人宿泊数

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 84 施設で、そのうち外国人の宿泊があった施設は 80 施設であり、その割合は 95.2%であった。なお、外国人の宿泊が無かったのは、旅館が 4 施設であった。

国別の外国人宿泊者数をみると、中国が全体の 26.9% (98,231 人) と最も多く、次いで台湾 19.4% (70,965 人) であり、タイ 13.5% (49,270 人)、米国 8.7% (31,770 人)、韓国 8.7% (31,717 人)、香港 8.4% (30,632 人) の順となっており、その他の国の割合は 3%未満である。

施設分類別にみても、すべての施設タイプで中国が最も多くなっている。

表 2-2-12 国別、外国人宿泊者数

	ホテル登録	ホテル（登録ホテルを除く）				計	旅館	全体	
		200室以上	100室以上 200室未満	50室以上 100室未満	50室未満			人数 (人)	割合 (%)
回答数（施設）	13	18	22	11	7	58	13	84	
中国	47,463	31,684	15,480	2,822	611	50,597	171	98,231	26.9
台湾	31,807	24,299	14,184	400	266	39,149	9	70,965	19.4
タイ	34,785	9,915	4,141	231	168	14,455	30	49,270	13.5
米国	25,253	2,796	3,022	504	173	6,495	22	31,770	8.7
韓国	16,013	10,216	4,214	725	467	15,622	82	31,717	8.7
香港	16,330	8,500	5,114	525	137	14,276	26	30,632	8.4
シンガポール	4,894	2,386	1,128	81	30	3,625	25	8,544	2.3
インドネシア	3,483	2,181	966	41	54	3,242	1	6,726	1.8
ベトナム	3,829	1,777	548	20	61	2,406	29	6,264	1.7
マレーシア	689	4,859	510	118	14	5,501	2	6,192	1.7
ドイツ	4,262	982	687	115	61	1,845	10	6,117	1.7
オーストラリア	3,009	1,392	590	80	59	2,121	16	5,146	1.4
英国	2,606	1,067	502	89	35	1,693	5	4,304	1.2
フランス	2,142	797	440	134	15	1,386	49	3,577	1.0
カナダ	1,644	696	373	31	9	1,109	4	2,757	0.8
インド	582	226	84	23	22	355	1	938	0.3
ロシア	44	669	90	0	3	762	0	806	0.2
フィリピン	94	296	293	79	6	674	11	779	0.2
ブラジル	133	207	53	3	0	263	46	442	0.1
スペイン	22	0	97	0	7	104	0	126	0.0
東ティモール	110	0	0	0	0	0	0	110	0.0
ニュージーランド	33	54	1	0	4	59	0	92	0.0
スイス	0	60	6	0	3	69	3	72	0.0
イタリア	19	0	42	0	4	46	0	65	0.0
オランダ	4	21	10	4	0	35	0	39	0.0
スウェーデン	0	0	33	0	4	37	0	37	0.0
オーストリア	0	30	0	0	0	30	0	30	0.0
ベルギー	0	14	1	4	10	29	0	29	0.0
メキシコ	0	0	27	1	0	28	0	28	0.0
デンマーク	0	22	2	0	0	24	0	24	0.0
フィンランド	0	0	10	8	3	21	1	22	0.0
トルコ	0	0	1	1	0	2	16	18	0.0
カンボジア	0	0	2	6	0	8	3	11	0.0
ミャンマー	0	0	6	0	0	6	5	11	0.0
ポルトガル	0	0	9	2	0	11	0	11	0.0
ポーランド	0	0	4	2	2	8	0	8	0.0
ジンバブエ	0	0	8	0	0	8	0	8	0.0
ノルウェー	0	0	0	5	0	5	0	5	0.0
スリランカ	0	0	4	0	0	4	0	4	0.0
ハンガリー	0	0	3	0	0	3	1	4	0.0
ウガンダ	0	0	0	4	0	4	0	4	0.0
ネパール	0	0	1	0	1	2	1	3	0.0
モンゴル	0	0	0	0	0	0	3	3	0.0
バングラディシュ	0	0	0	1	0	1	1	2	0.0
チェコ	0	0	1	0	1	2	0	2	0.0
リトアニア	0	0	0	2	0	2	0	2	0.0
アンゴラ	0	0	0	2	0	2	0	2	0.0
オマーン	0	0	1	0	0	1	0	1	0.0
ルーマニア	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0
エクアドル	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0
エチオピア	0	0	0	1	0	1	0	1	0.0
モロッコ	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0
タンザニア	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0
合計	199,250	105,146	52,688	6,064	2,230	166,128	577	365,955	100.0



### ③修学旅行団体の受入状況

#### a. 修学旅行学校数及び宿泊者数

平成 26 年度に修学旅行団体を受け入れた宿泊施設は 14 施設（対有効回答 160 施設比 8.8%）である。学校数は 82 校、宿泊者数は 3,984 人である。昨年度（55 校、2,787 人）に比べ、学校数は 27 校、宿泊者数は 1,197 人増加している。

学校分類別では、その他（18 校増、710 人増）が大幅に増加している。

表 2-2-13 修学旅行団体の受入実績

		修学旅行 受入施設数 (施設)	① 学校数 (校)	② 宿泊者数 (人)	③ 1校あたり修学 旅行宿泊者数 (人)
登録ホテル		5	34	2,218	65
ホテル (登録ホテルを除く)	200 室以上	4	8	285	36
	100 室以上 200 室未満	2	2	92	46
	50 室以上 100 室未満	0	0	0	0
	50 室未満	0	0	0	0
	計	6	10	377	38
旅館		3	38	1,389	37
全 体		14	82	3,984	49

注：③＝②÷①

表 2-2-14 修学旅行団体の受入実績（年度推移）

年度 区分	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数
小学校	8	267	48	3,002	18	1,073	15	980	18	1,048
中学校	10	778	11	1,101	15	984	12	469	17	767
高 校	6	672	16	1,204	17	1,526	11	747	12	868
その他	15	1,252	20	1,338	27	1,019	17	591	35	1,301
全 体	39	2,969	95	6,645	77	4,602	55	2,787	82	3,984

## b. 地域別の受入学校数

下表は、修学旅行団体の受入学校数を地域別・学校分類別に整理したものである。

全体では 82 校中 26 校 (31.7%) が東海・北陸地域から、23 校 (28.0%) が近畿地域から、19 校 (23.2%) が関東・甲信越地域からの修学旅行団体である。

表 2-2-15 施設別、地域別修学旅行団体受入状況

施設区分	回答状況	地域 (施設)	計 (校)	小学校 (校)	中学校 (校)	高校 (校)	その他 (校)
登録ホテル		北海道・東北	2			1	1
		関東・甲信越	7			1	6
		東海・北陸	16	3	6	3	4
		近畿	4	2			2
		中国・四国	2		1		1
		九州・沖縄	3				3
ホテル(登録ホテルを含まず)		北海道・東北	2			1	1
		関東・甲信越	2		1		1
		東海・北陸	4		1	2	1
		近畿	1		1		
		中国・四国	1			1	
		九州・沖縄					
旅館		北海道・東北	2		1		1
		関東・甲信越	10		5		5
		東海・北陸	6	1			5
		近畿	18	12	1	1	4
		中国・四国	2			2	
		九州・沖縄					
全体		北海道・東北	6		1	2	3
		関東・甲信越	19		6	1	12
		東海・北陸	26	4	7	5	10
		近畿	23	14	2	1	6
		中国・四国	5		1	3	1
		九州・沖縄	3				3
	計		82	18	17	12	35

注：各地域に含まれる都道府県は以下の通り

北海道・東北—北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県

関東・甲信越—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県・新潟県・長野県・山梨県

東海・北陸—愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・福井県・石川県・富山県

近畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

中国・四国—鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・香川県・徳島県・愛媛県・高知県

九州・沖縄—福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県・沖縄県

表 2-2-16 地域別修学旅行団体受入状況

	小学校		中学校		高等学校		その他		計	
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
北海道					1	117	1	49	2	166
青森県			1	71					1	71
秋田県										
岩手県					1	42	1	71	2	113
山形県										
宮城県							1	43	1	43
福島県										
東京都					1	315	5	331	6	646
神奈川県			3	86			4	114	7	200
千葉県			1	31			2	104	3	135
埼玉県							1	21	1	21
群馬県			1	14					1	14
栃木県										
茨城県										
新潟県										
長野県			1	32					1	32
山梨県										
愛知県			1	111					1	111
岐阜県	3	95	6	326	1	49	2	81	12	551
三重県					1	20			1	20
静岡県	1	104			2	64	6	108	9	276
福井県					1	113	1	11	2	124
石川県										
富山県							1	41	1	41
滋賀県										
京都府	13	824			1	74	3	72	17	970
大阪府	1	25					1	26	2	51
奈良県										
和歌山県										
兵庫県			2	26			2	86	4	112
鳥取県										
島根県										
岡山県										
広島県			1	70	1	21			2	91
山口県							1	52	1	52
香川県										
徳島県										
愛媛県										
高知県					2	53			2	53
福岡県										
大分県							1	45	1	45
宮崎県							1	22	1	22
熊本県										
佐賀県							1	24	1	24
長崎県										
鹿児島県										
沖縄県										
合 計	18	1,048	17	767	12	868	35	1,301	82	3,984

## 2-3 全国から見た名古屋の観光に関する評価 (名古屋の観光に関する全国インターネット調査結果)

### (1) 調査の概要

#### ① 調査目的

名古屋への訪問実績や観光資源の認知度、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、インターネットを用いてアンケートを実施した。

#### ② 調査対象

東海、関東、近畿、北陸・甲信越、東北・北海道、中国・四国、九州・沖縄に住む18～79歳の男女2,101名とした(名古屋市を除く)。

#### ③ 調査日時等

平成27年2月6日(金)～9日(月)

#### ④ サンプルング方法

国勢調査における都道府県人口割合と性・年齢別人口割合をもとに、各カテゴリーのサンプル数を求めた。(下表参照)。

インターネット調査の対象者

性・年齢 地域	男性								女性								合計
	男性計	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	女性計	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
東海	125	4	18	24	21	20	23	15	123	3	17	22	21	20	24	16	248
関東	354	9	52	72	66	55	60	40	350	8	50	67	61	55	64	45	704
近畿	164	5	24	30	28	26	32	19	174	5	25	31	29	26	34	24	338
北陸・甲信越	66	0	9	13	11	11	13	9	68	0	8	12	11	12	14	11	134
東北・北海道	119	3	15	20	20	23	23	15	129	3	16	21	20	23	24	22	248
中国・四国	95	2	13	16	16	16	18	14	98	2	13	17	16	16	19	15	193
九州・沖縄	114	2	17	20	18	23	20	14	122	2	17	20	19	23	22	19	236
合計	1037	25	148	195	180	174	189	126	1064	23	146	190	177	175	201	152	2,101

注：東 海—愛知県(名古屋市を除く)・岐阜県・三重県・静岡県  
 関 東—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県  
 近 畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県  
 北 陸—福井県・石川県・富山県  
 甲信越—新潟県・長野県・山梨県  
 東 北—青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県  
 中 国—鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県  
 四 国—香川県・徳島県・愛媛県・高知県  
 九 州—福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県

## (2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等

### ①名古屋への訪問状況

#### a. 過去5年間の名古屋への訪問回数

過去5年以内に名古屋を訪れたことがある割合は43.5%である。訪問回数としては、「1回」が17.4%と多く、以下「3～5回」、「2回」、「11回以上」となっている。

性別にみると、男性では訪れた割合は50.3%と半数を占め、女性より13.7ポイント高い。

年齢別にみると、訪れた割合は30歳代（48.5%）と40歳代（47.6%）で高い。

地域別にみると、「東海」（82.3%）では8割以上が訪れており、うち「11回以上」が4割を占めている。次いで訪れた割合が高いのは、「北陸・甲信越」（50.0%）と「近畿」（48.9%）で、ほぼ半数となっている。

訪問回数としては、「東海」地域を除き、「1回」の割合が最も高くなっている。

図 2-3-1 過去5年間の名古屋への訪問回数

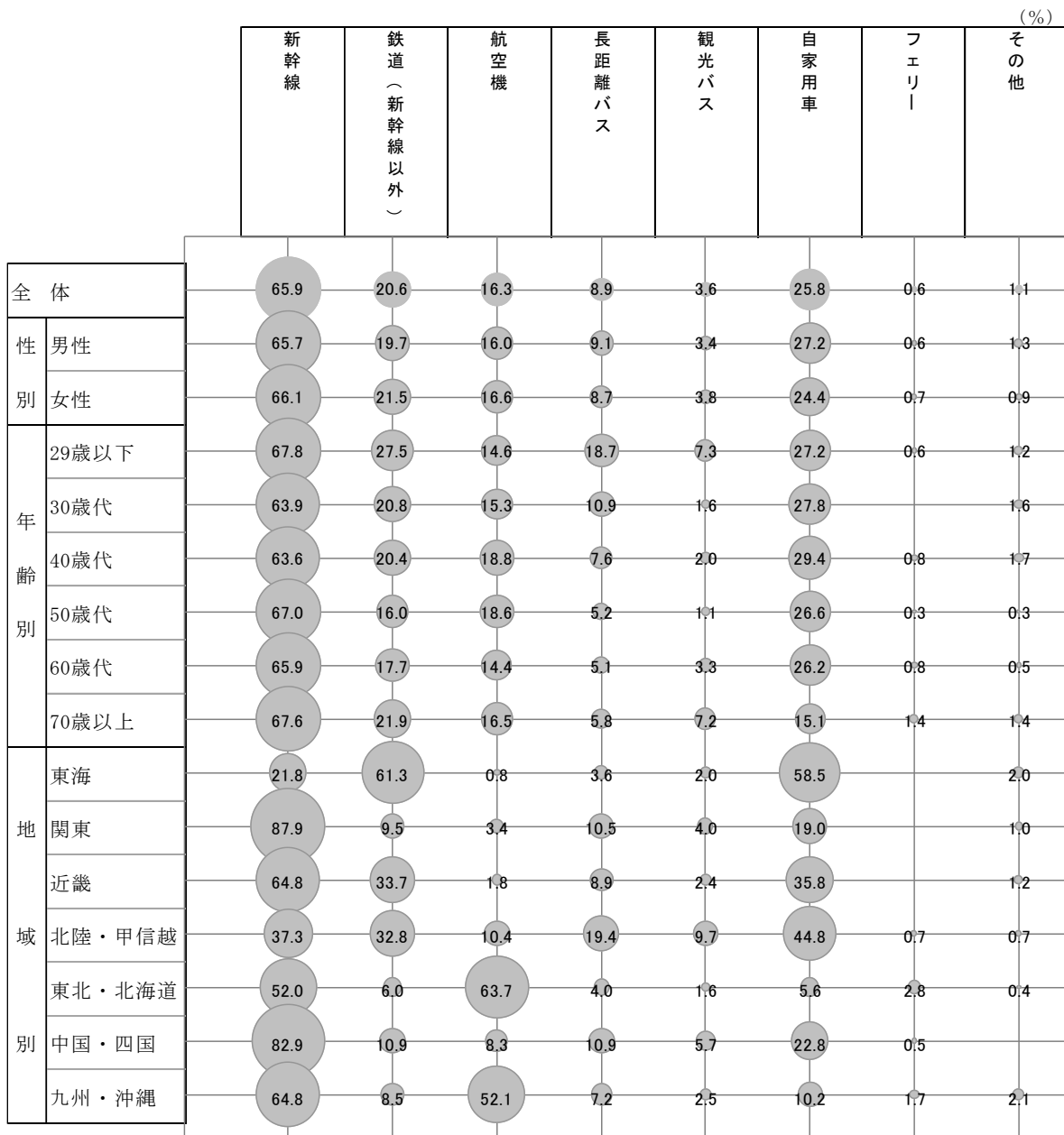


## b. 名古屋への交通機関

名古屋を訪れる場合の交通機関としては、「新幹線」が65.9%と最も多く、次いで「自家用車」、「鉄道（新幹線以外）」、「航空機」と続いている。

地域別にみると、「東海」では「鉄道」と「自家用車」の割合が高い。「関東」、「近畿」、「中国・四国」、「九州・沖縄」では「新幹線」、「北陸・甲信越」では「自家用車」、「東北・北海道」では「航空機」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

図 2-3-2 名古屋への交通機関（複数回答）



c. 名古屋への訪問目的

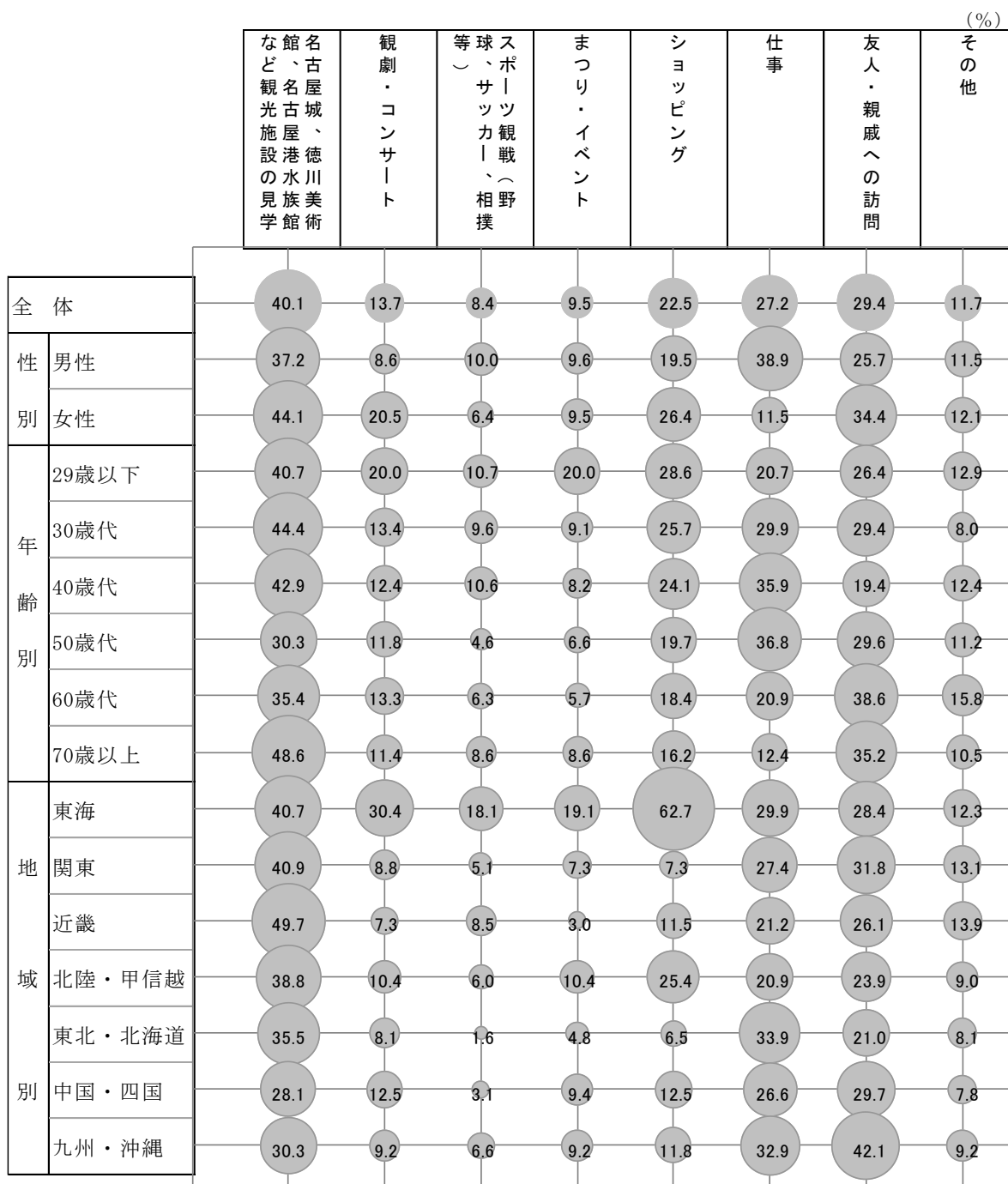
過去5年以内に名古屋を訪れた方（912人）の訪問目的としては、「観光施設の見学」（40.1%）が最も多く、次いで「友人・親戚への訪問」、「仕事」、「ショッピング」と続いている。

性別にみると、男性は「仕事」、女性は「観光施設の見学」の割合が最も高い。

年齢別にみると、40歳代以下と70歳以上では「観光施設の見学」、50歳代では「仕事」、60歳代では「友人・親戚への訪問」の割合が、それぞれ最も高くなっている。

地域別にみると、「東海」では「ショッピング」が62.7%と特に高い。また、「九州・沖縄」では「友人・親戚への訪問」が最も高くなっている。

図 2-3-3 名古屋への訪問目的（複数回答）



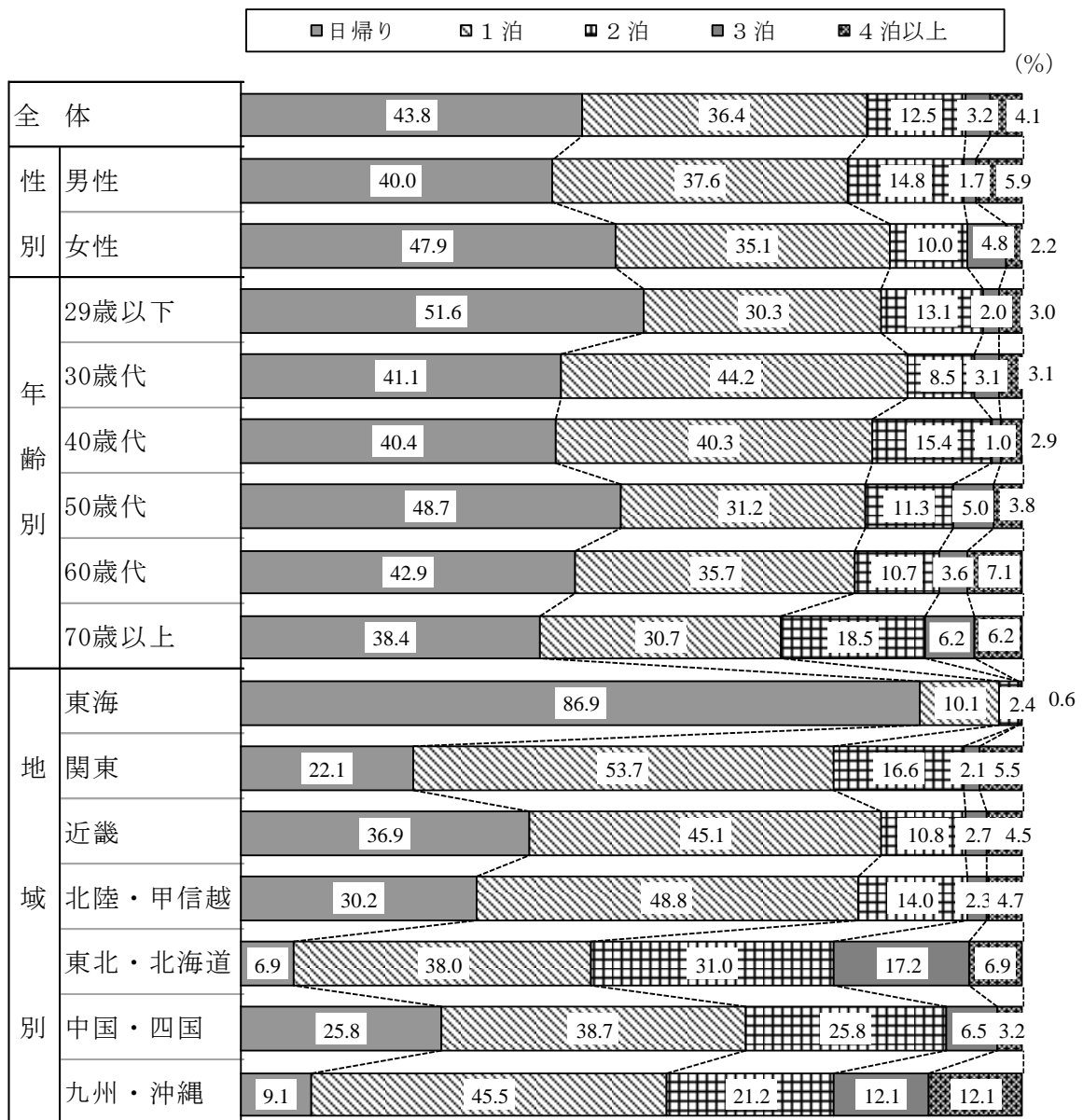
#### d. 名古屋への訪問日程

観光等が目的で名古屋を訪れた方（前ページ 図 2-3-3 で「観光施設の見学」「観劇・コンサート」「スポーツ観戦」「まつり・イベント」「ショッピング」と回答した方 561 人）の直近の訪問日程としては、「日帰り」の割合は 43.8%で、「1泊」が 36.4%、「2泊」が 12.5%など宿泊した割合が 56.2%となっている。

「日帰り」の割合は、女性や 29 歳以下、50 歳代で半数程と高い。

地域別にみると、「東海」では大半が「日帰り」である。一方、「東北・北海道」と「九州・沖縄」では 9 割以上が宿泊している。

図 2-3-4 名古屋への訪問日程

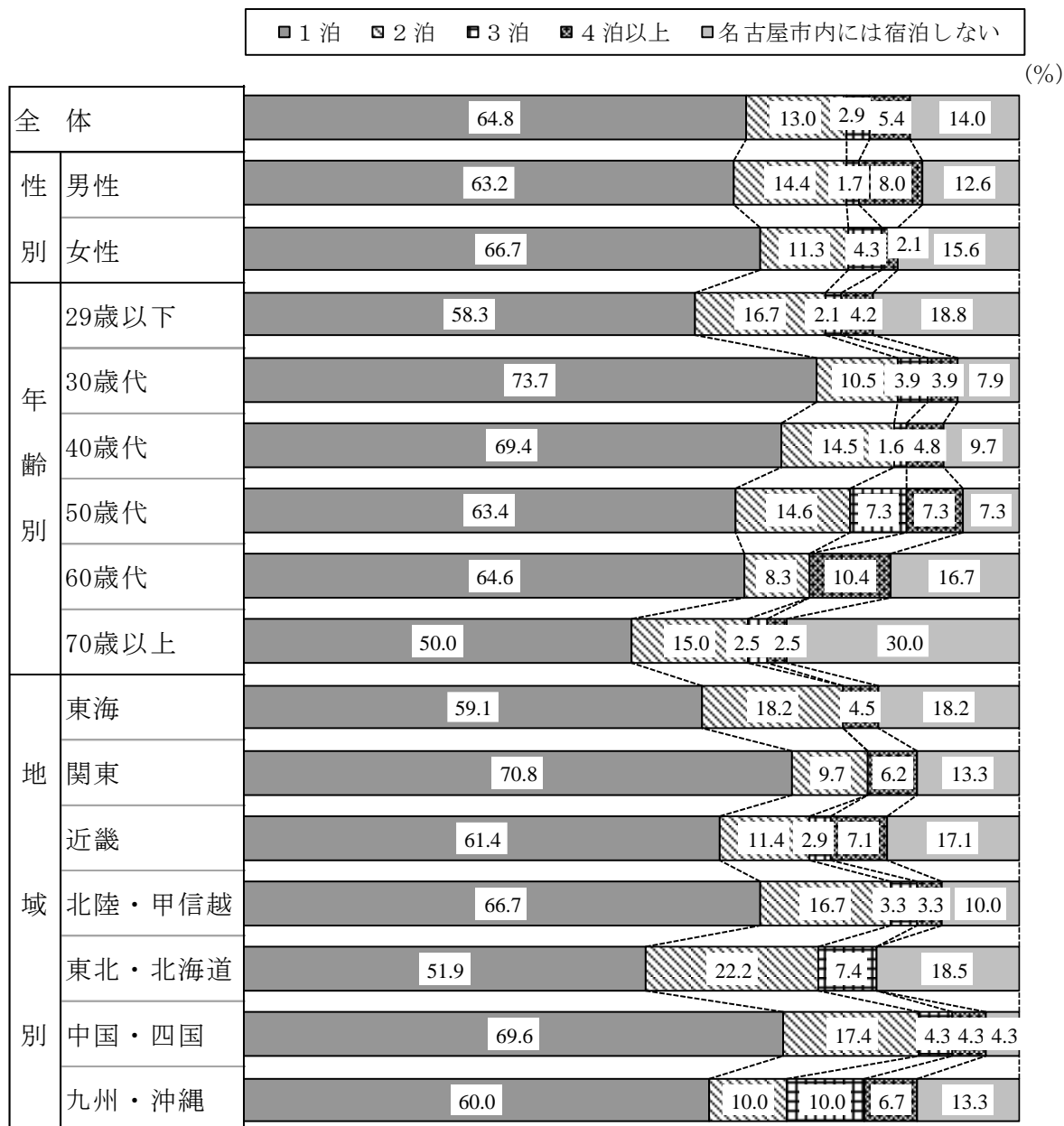




e. 名古屋市内での宿泊数

観光等が目的で名古屋を訪れた方（561 人）のうち、1泊以上の日程で名古屋を訪れた方（315 人）の名古屋市内での宿泊数は、「1泊」が64.8%と最も多い。また、「名古屋市内には宿泊しない」は14.0%となっている。

図 2-3-5 名古屋市内での宿泊数

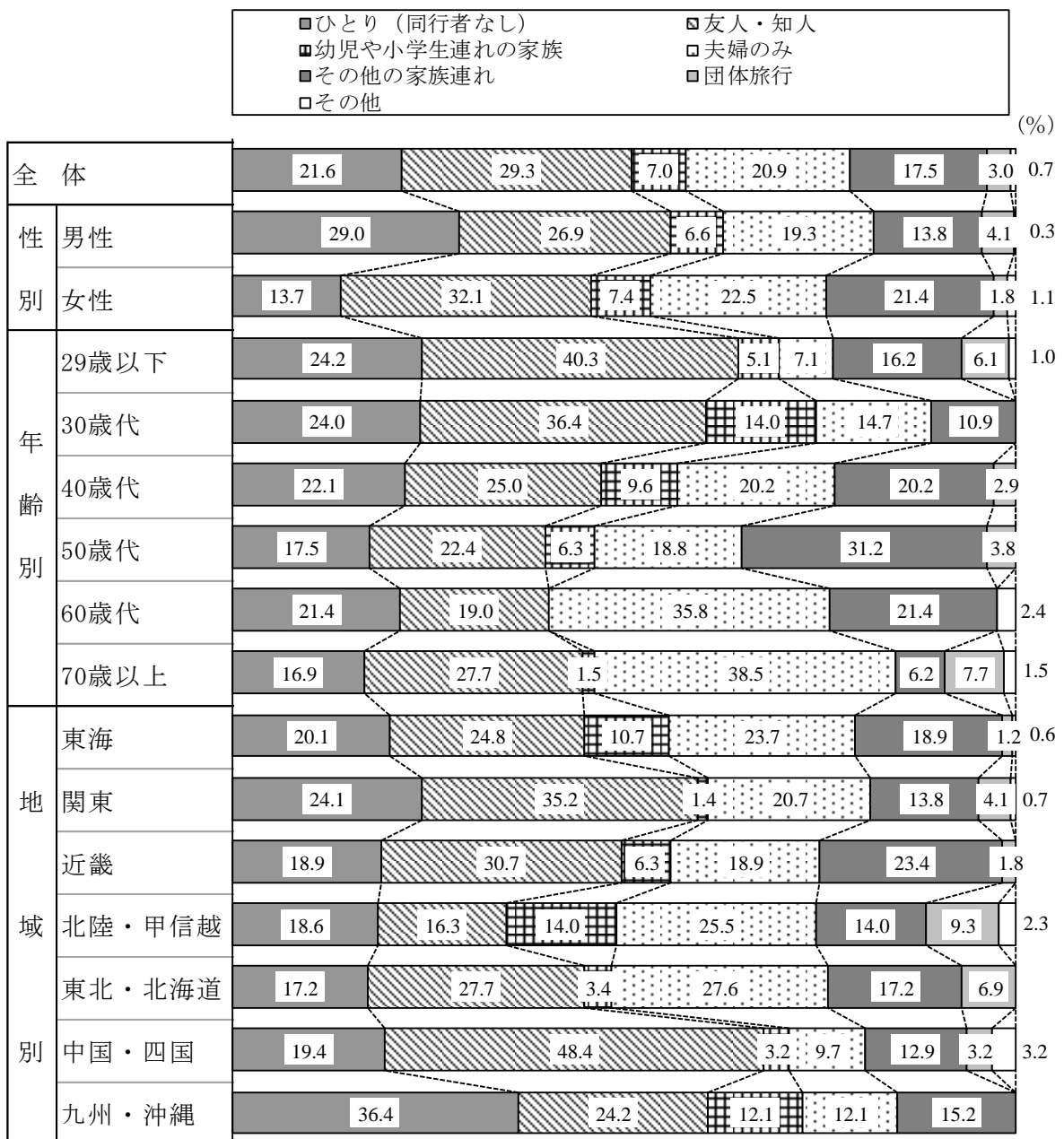


f. 名古屋への旅行形態

観光等が目的で名古屋を訪れた方（561人）の直近の訪問は、「友人・知人」（29.3%）の割合が最も高く、以下「ひとり（同行者なし）」、「夫婦のみ」、「その他の家族連れ」となっている。また、「幼児や小学生連れの家族」、「夫婦のみ」、「その他の家族連れ」を合わせた家族連れの割合は45.4%である。

性別にみると、男性では「ひとり（同行者なし）」、女性では「友人・知人」の割合が最も高い。年齢別にみると、「友人・知人」の割合は若い世代で、「夫婦のみ」の割合は高年齢層で多くなっている。

図 2-3-6 名古屋への旅行形態



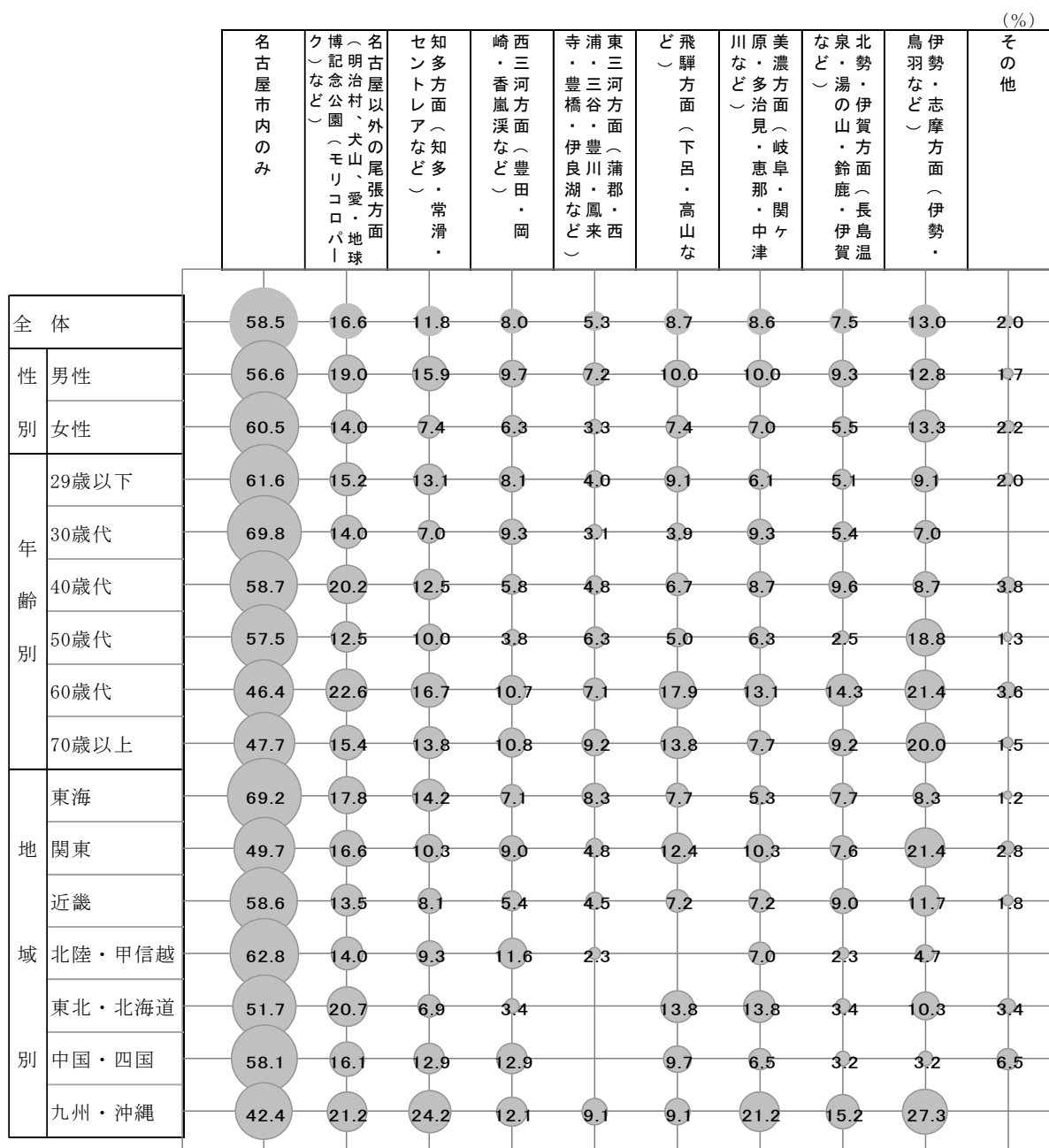
g. 名古屋市以外の訪問地

観光等が目的で名古屋を訪れた方（561人）が、名古屋市以外にも訪問した割合は41.5%であった。訪問地としては、「名古屋市以外の尾張方面」が最も多く、次いで、「伊勢・志摩方面」、「知多方面」と続いている。

名古屋市以外にも訪問した割合は、60歳代以上で半数以上と高い。一方、30歳代では「名古屋市内のみ」が7割を占めている。

地域別にみると、「九州・沖縄」や「関東」、「東北・北海道」からの訪問者では、名古屋市以外にも訪問した割合が高くなっている。

図 2-3-7 名古屋市以外の訪問地（複数回答）

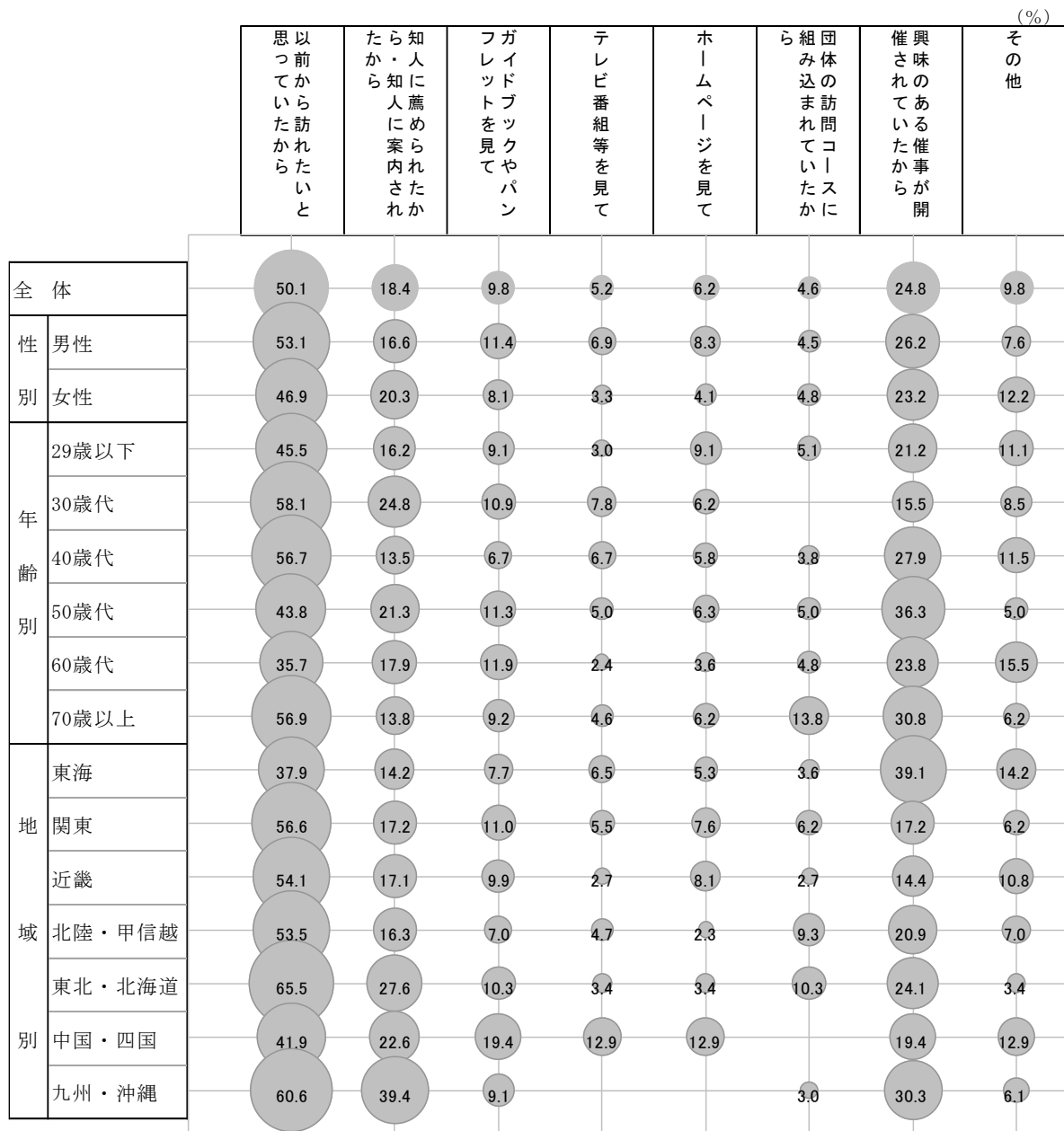


## h. 名古屋への訪問のきっかけ

観光等が目的で名古屋を訪れた方（561人）のきっかけは、「以前から訪れたいと思っていたから」が50.1%で最も多く、次いで「興味のある催事が開催されていたから」（24.8%）、「知人に薦められたから・知人に案内されたから」（18.4%）となっている。

「東海」からの訪問客では「興味のある催事が開催されていたから」が最大のきっかけとなっている。また、「九州・沖縄」からの訪問客では「知人に薦められたから・知人に案内されたから」の割合も比較的高い。

図 2-3-8 名古屋への訪問のきっかけ（複数回答）



## ②名古屋の観光資源の認知度と訪問・体験状況

### a. 名古屋の観光資源の認知度

名古屋の観光資源の中で知っているものとしては、「名古屋城」(90.0%)が最も高く、大半が知っている。以下「なごやめし」(56.5%)、「熱田神宮」(44.6%)、「東山動植物園」(41.7%)、「栄」(35.9%)と続いている。

「名古屋城」は総じて高く、すべての階層で9割前後となっている。

60歳代以上では「熱田神宮」が第2位となっている。

地域別にみると、「東海」では、全般に高い認知度となっている。

表 2-3-1 名古屋の観光資源の認知度（複数回答）

																			(%)				
		名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋科学館（プラネタリウムなど）	名古屋市美術館	名古屋市博物館	名古屋港（名古屋港水族館、シートレイランド、ポートビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、絞り会館など）	なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など）	名古屋まつり	にっぽんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	知っているものはない
全体		90.0	12.8	19.4	44.6	16.5	19.1	13.3	13.5	11.0	9.3	22.6	41.7	35.9	18.8	0.9	5.2	56.5	9.3	6.2	9.7	1.2	6.2
性別	男性	88.8	12.4	19.5	47.8	19.3	21.5	11.7	13.4	10.6	9.3	23.2	41.1	40.9	20.0	0.9	4.6	49.9	8.7	5.9	8.8	1.4	7.4
	女性	91.2	13.1	19.4	41.5	13.8	16.7	14.8	13.5	11.4	9.4	21.9	42.3	31.1	17.8	0.9	5.8	63.0	10.0	6.6	10.5	0.9	5.1
年齢別	29歳以下	86.5	8.8	9.6	20.8	16.4	16.1	8.5	14.6	9.1	7.9	21.6	26.3	30.7	14.9	1.2	3.8	52.9	9.4	7.3	9.9	1.2	10.2
	30歳代	88.8	9.9	13.8	31.7	20.5	18.2	13.2	13.5	11.2	9.6	26.2	30.4	37.9	17.1	0.8	3.4	60.3	7.5	6.2	9.6	1.0	7.0
	40歳代	91.3	9.8	17.9	46.2	25.5	21.0	15.4	13.7	11.2	9.5	25.8	40.9	44.3	23.2	0.6	6.4	63.3	8.4	7.6	9.5	1.7	5.0
	50歳代	88.3	12.9	18.1	39.0	14.9	18.1	13.2	13.8	9.7	8.6	19.5	43.6	33.2	17.2	0.6	5.2	54.2	8.9	5.2	10.3	1.7	6.3
	60歳代	93.3	15.9	25.9	63.8	10.8	19.0	15.6	14.1	12.1	10.5	22.6	54.9	38.5	21.3	1.3	5.9	60.3	11.8	5.9	10.8	1.0	3.6
	70歳以上	91.7	20.9	33.8	70.1	9.7	23.0	13.3	10.4	12.9	9.7	18.3	56.5	28.8	19.1	1.1	7.2	44.6	10.1	5.0	7.2	0.4	5.4
地域別	東海	93.5	40.3	49.6	78.2	48.8	42.3	47.6	59.3	42.3	37.1	71.8	83.1	77.0	68.5	3.2	25.0	70.6	39.1	39.1	46.0	0.8	3.6
	関東	91.2	10.4	16.8	42.8	12.1	14.3	8.7	8.1	7.7	7.2	16.2	39.3	33.9	14.9	1.0	3.1	57.8	7.7	2.4	3.8	1.4	5.7
	近畿	91.1	8.6	16.3	45.9	20.1	19.2	12.7	8.6	7.4	4.1	18.6	38.2	36.1	15.4	0.0	3.3	60.4	4.7	2.1	5.9	1.8	4.1
	北陸・甲信越	88.1	11.9	14.9	48.5	11.2	23.9	10.4	6.7	5.2	3.7	23.9	58.2	32.8	11.2	0.0	0.0	49.3	5.2	0.7	4.5	3.0	6.7
	東北・北海道	86.7	6.9	14.5	26.6	7.7	12.1	3.6	5.2	4.0	3.6	10.1	21.4	16.1	4.4	0.0	0.8	45.2	4.0	0.8	6.0	1.2	9.7
	中国・四国	89.1	5.7	10.9	36.8	10.9	16.1	7.8	6.7	7.3	5.2	14.0	28.5	23.3	8.3	1.0	2.1	49.7	3.1	2.1	4.7	0.0	8.3
	九州・沖縄	86.4	9.3	14.8	36.4	7.6	15.7	8.1	6.4	6.8	6.4	14.8	33.1	31.4	11.4	0.8	3.8	53.8	2.5	1.3	5.1	0.0	8.1

## b. 名古屋の観光資源の訪問・体験状況

過去5年以内に名古屋を訪れた方（912人）が訪問した場所又は経験したものとしては、「名古屋城」（41.7%）と「なごやめし」（41.3%）の割合が高く、次いで「栄」（34.8%）、「熱田神宮」（20.2%）となっており、「訪問した場所又は経験したものはなし」の割合は22.0%である。

男性や30歳代以下、70歳以上では「名古屋城」、女性や40歳～60歳代では「なごやめし」が最も高くなっている。また70歳以上では「熱田神宮」の割合も比較的高い。

「東海」では「栄」が最も高く、「大須」の割合も比較的高い。また、「近畿」では「なごやめし」が最も高くなっている。

表 2-3-2 名古屋の観光資源の訪問・体験状況（複数回答）

(%)

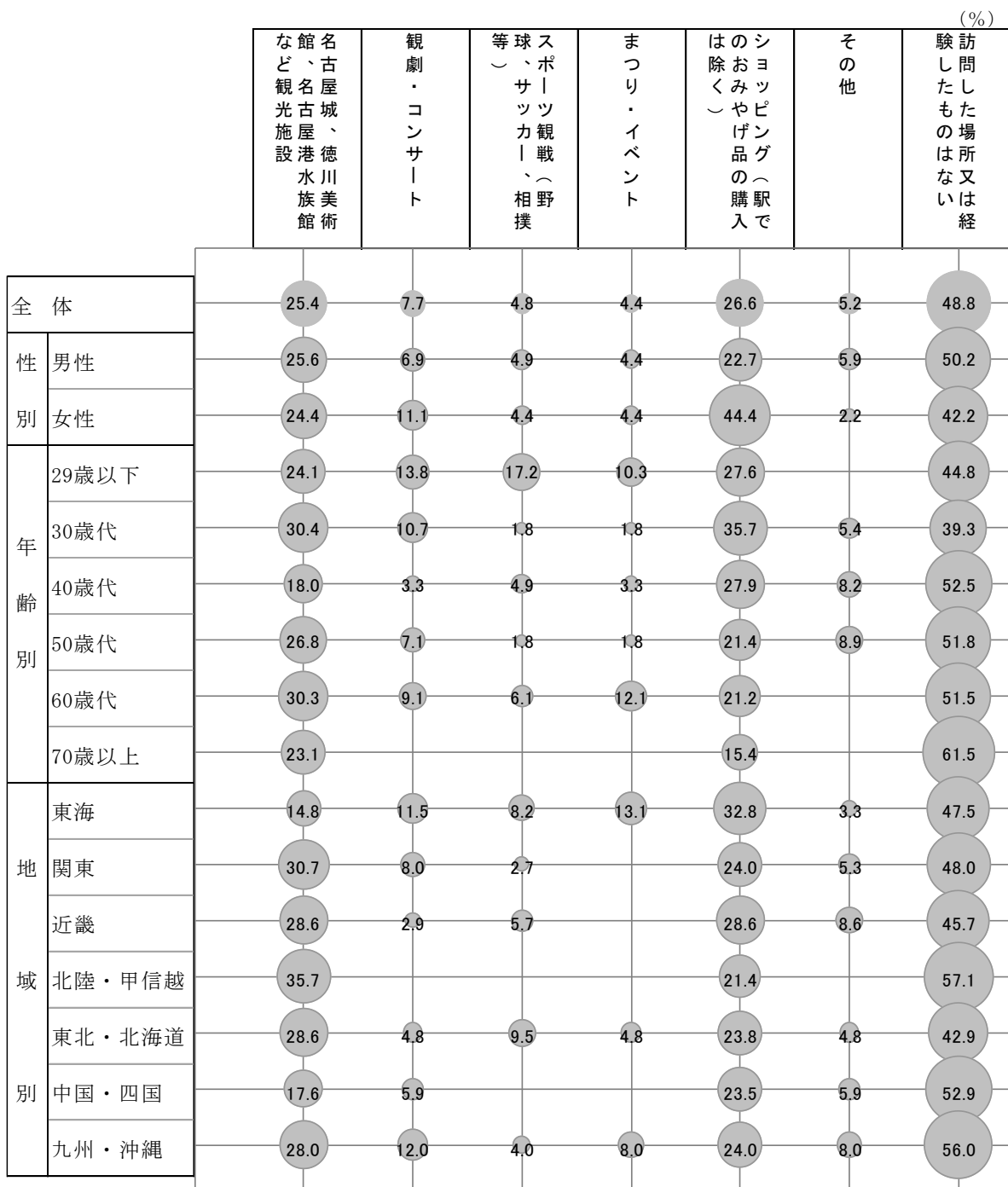
	名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋科学館（プラネタリウムなど）	名古屋市美術館	名古屋博物館	名古屋港（名古屋港水族館、シートレイ ンランド、ポートビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オ アシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、絞り会館など）	なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、 きしめん、みそかつ、手羽先など）	名古屋まつり	にっぽんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	訪問した場所又は経験したものはなし	
全体	41.7	7.7	8.0	20.2	6.0	6.6	6.5	7.0	5.0	3.5	15.7	13.9	34.8	16.2	0.3	1.6	41.3	2.5	1.5	2.5	1.4	22.0	
性別	男性	42.7	7.3	6.9	19.7	8.0	8.6	3.6	6.7	4.4	3.6	14.9	14.2	33.7	16.3	0.4	1.1	36.8	2.5	2.3	1.7	1.7	24.3
	女性	40.3	8.2	9.5	20.8	3.3	3.8	10.3	7.4	5.9	3.3	16.7	13.6	36.2	16.2	0.3	2.3	47.4	2.6	0.5	3.6	1.0	19.0
年齢別	29歳以下	39.3	4.3	2.1	16.4	7.9	4.3	4.3	10.0	0.7	1.4	21.4	13.6	35.7	22.9	0.0	1.4	38.6	4.3	5.0	4.3	1.4	21.4
	30歳代	43.9	4.8	4.8	17.6	8.0	8.0	4.8	6.4	3.2	2.1	17.6	16.6	36.4	14.4	0.0	1.1	42.8	0.0	0.0	2.1	1.6	18.7
	40歳代	37.6	5.3	6.5	16.5	6.5	7.6	7.1	4.7	6.5	4.1	17.1	10.0	39.4	18.2	0.6	1.8	40.6	2.4	2.9	2.9	1.8	22.9
	50歳代	40.1	9.2	5.9	13.8	5.9	4.6	5.3	7.9	5.3	3.9	12.5	15.1	33.6	13.2	0.0	0.7	42.1	1.3	0.7	2.0	1.3	25.0
	60歳代	38.6	9.5	10.8	23.4	2.5	5.7	10.8	5.1	4.4	2.5	10.8	10.1	31.0	10.1	0.6	3.2	41.8	2.5	0.6	2.5	1.9	25.9
	70歳以上	54.3	16.2	22.9	40.0	4.8	9.5	6.7	9.5	12.4	8.6	14.3	20.0	30.5	21.0	1.0	1.9	41.9	6.7	0.0	1.0	0.0	17.1
地域別	東海	30.4	10.8	9.3	31.9	11.8	8.8	11.8	18.1	13.2	4.9	34.3	30.4	57.8	44.6	1.0	3.9	41.7	5.9	4.4	4.4	1.0	11.8
	関東	45.6	6.6	8.0	17.5	3.3	5.5	4.0	4.0	3.3	4.0	8.8	7.7	28.5	7.7	0.4	0.4	45.6	3.3	0.4	1.8	1.5	25.9
	近畿	38.8	6.7	3.6	15.8	6.1	7.3	6.7	2.4	1.8	1.2	12.7	10.3	28.5	9.7	0.0	1.2	46.1	0.0	0.6	2.4	1.8	20.6
	北陸・甲信越	40.3	4.5	6.0	14.9	3.0	4.5	3.0	4.5	1.5	0.0	13.4	13.4	25.4	6.0	0.0	0.0	32.8	0.0	0.0	0.0	3.0	20.9
	東北・北海道	61.3	8.1	12.9	11.3	3.2	8.1	3.2	1.6	1.6	3.2	4.8	8.1	19.4	4.8	0.0	0.0	29.0	1.6	1.6	3.2	3.2	29.0
	中国・四国	39.1	7.8	12.5	14.1	4.7	4.7	7.8	4.7	4.7	4.7	9.4	7.8	23.4	4.7	0.0	1.6	31.3	0.0	0.0	1.6	0.0	32.8
九州・沖縄	51.3	7.9	7.9	25.0	6.6	5.3	5.3	6.6	2.6	5.3	13.2	10.5	39.5	13.2	0.0	3.9	40.8	1.3	2.6	2.6	0.0	25.0	

c. 仕事目的での訪問時における観光資源の訪問・体験状況

過去5年間以内に仕事目的で名古屋を訪れた方（248人）の直近の訪問で、そのときあわせて訪問した場所又は経験したものがあがる割合は51.2%と半数以上を占めている。訪問した場所又は経験したものとしては、「ショッピング（駅でのおみやげ品の購入は除く）」（26.6%）と「観光施設」（25.4%）が多くなっている。

訪問した場所又は経験したものでは、男性や50歳代以上では「観光施設」が最も高くなっている。一方、女性や30歳代、「東海」では「ショッピング」が3割以上と特に高くなっている。

図 2-3-9 仕事目的での訪問時における観光資源の訪問・体験状況（複数回答）



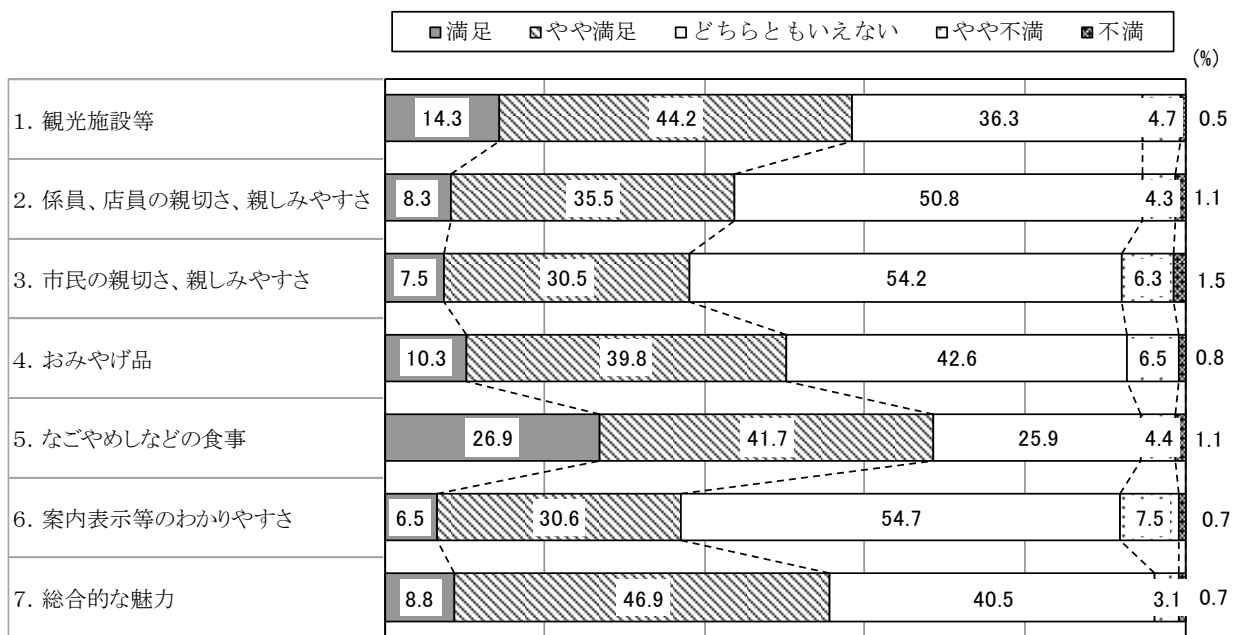
### (3) 名古屋に対する評価

#### ① 名古屋訪問時の印象

過去5年以内に名古屋を訪れた方(912人)では、「なごやめしなどの食事」については、「満足」(26.9%)と「やや満足」(41.7%)を合わせて68.6%と7割程が満足と感じており、下記の7項目のうち最も評価が高い。満足と感じる割合は、「観光施設等」(58.5%)と「総合的な魅力」(55.7%)については6割弱で、「おみやげ品」(50.1%)については半数となっている。「係員、店員の親切さ、親しみやすさ」(43.8%)や「市民の親切さ、親しみやすさ」(38.0%)、「案内表示等のわかりやすさ」(37.1%)については、満足と感じている割合は4割前後で「どちらともいえない」がそれぞれ過半数を占めている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた不満と感じる割合は、全般に低く1割に達する項目はみられない。

図 2-3-10 名古屋訪問時の印象





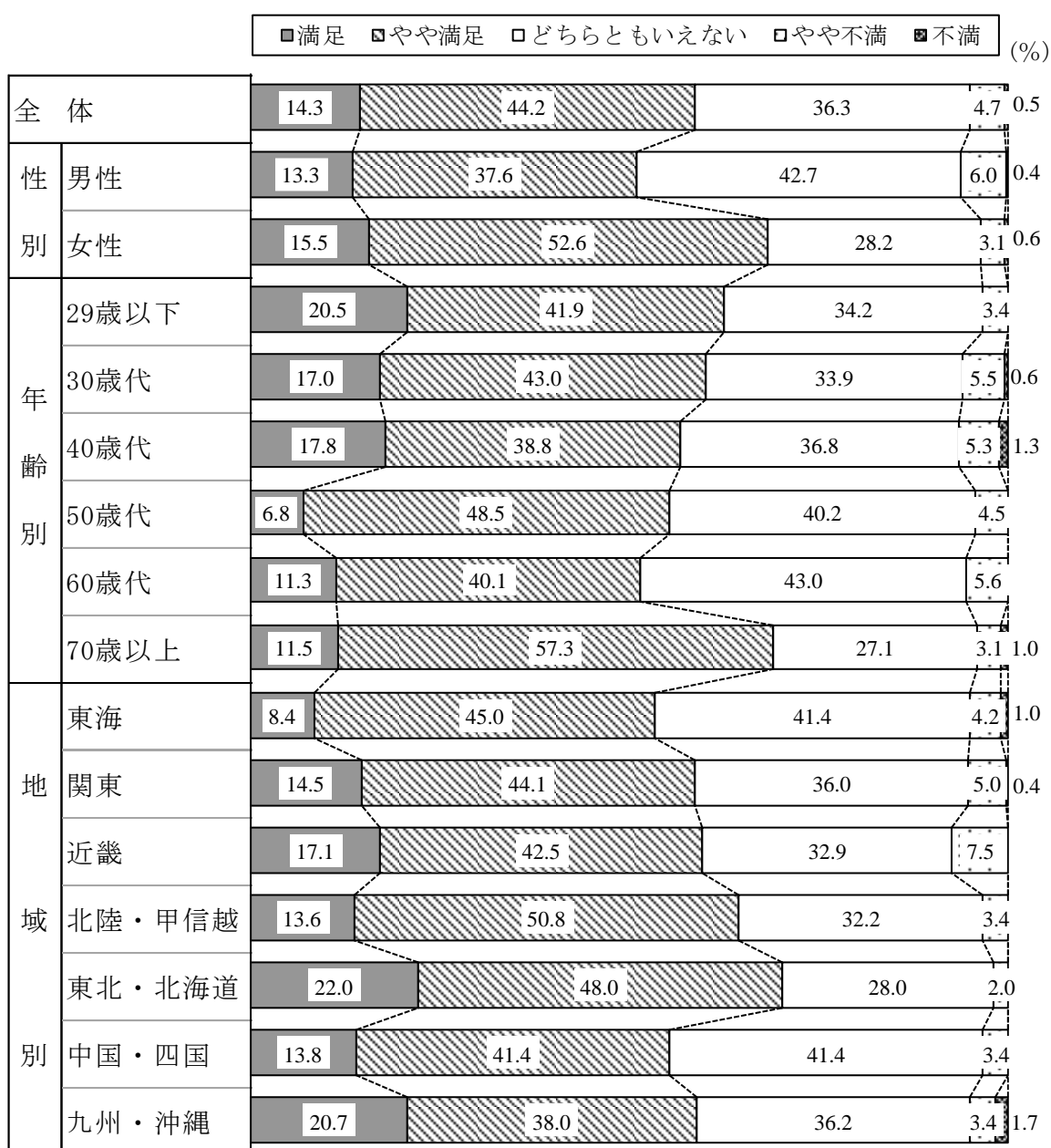
### a. 観光施設等の評価

観光施設等については、「満足」(14.3%)と「やや満足」(44.2%)を合わせて58.5%と6割程が満足と感じており、「やや不満」(4.7%)と「不満」(0.5%)を合わせ5.2%が不満と感じている。

性別にみると、満足と感じる割合は女性68.1%、男性50.9%と、女性の満足度の方がかなり高い。これは、前述 図2-3-3名古屋への訪問目的で「名古屋城、徳川美術館、名古屋港水族館など観光施設の見学」と回答された方では75.7%が満足と感じている。

年齢別、地域別にみても、満足と感じる割合は、すべての階層で過半数を占め、不満と感じる割合が1割に達する階層はなく、総じて高い評価を得ている。

図 2-3-11 観光施設等の評価

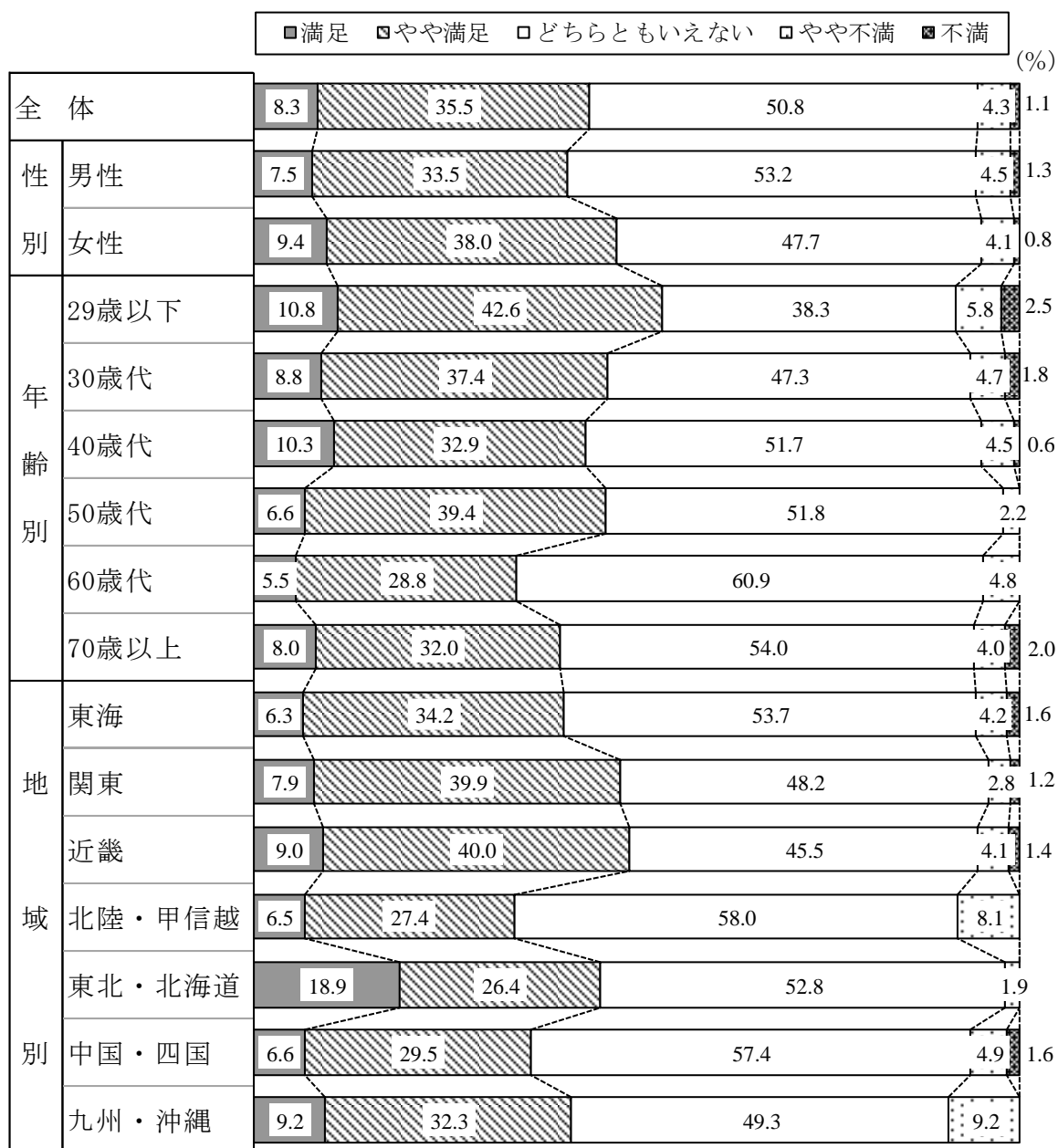


## b. 係員、店員の親切さ、親しみやすさの評価

係員、店員の親切さ、親しみやすさについては、「満足」(8.3%)と「やや満足」(35.5%)を合わせ43.8%が満足と感じている。「どちらともいえない」(50.8%)が半数で、「やや不満」(4.3%)と「不満」(1.1%)を合わせ5.4%が不満と感じている。

属性別にみると、29歳以下では満足と感じる割合が過半数を占めているものの、そのほかの階層では「どちらともいえない」の割合が最も高くなっている。

図 2-3-12 係員、店員の親切さ、親しみやすさの評価

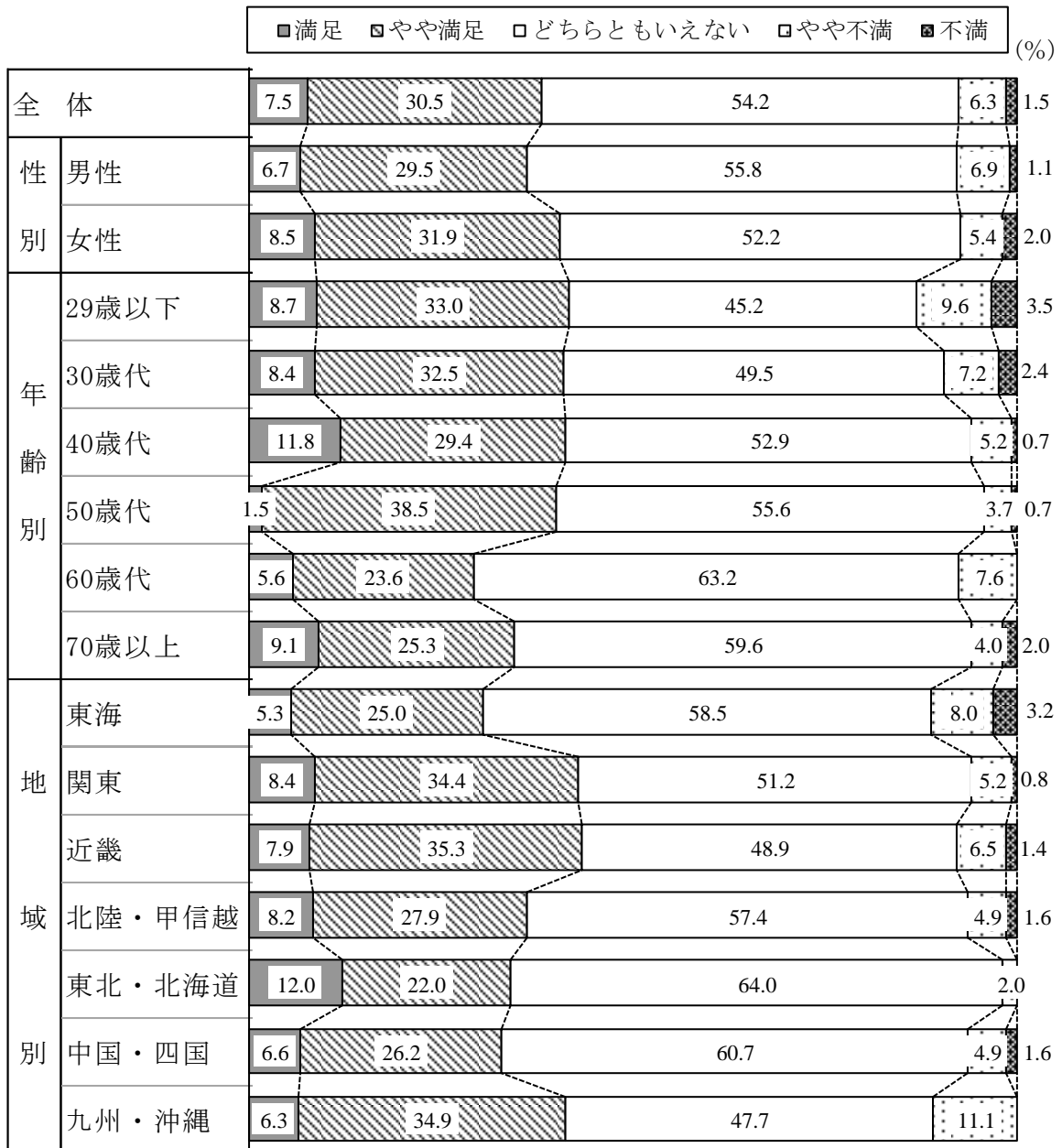


c. 市民の親切さ、親しみやすさの評価

市民の親切さ、親しみやすさについては、「満足」(7.5%)と「やや満足」(30.5%)を合わせ38.0%が満足と感じている。「どちらともいえない」が54.2%と過半数を占めており、「やや不満」(6.3%)と「不満」(1.5%)を合わせ7.8%が不満と感じている。

属性別にみても、すべての階層とも「どちらともいえない」の割合が最も高くなっている。

図 2-3-13 市民の親切さ、親しみやすさの評価



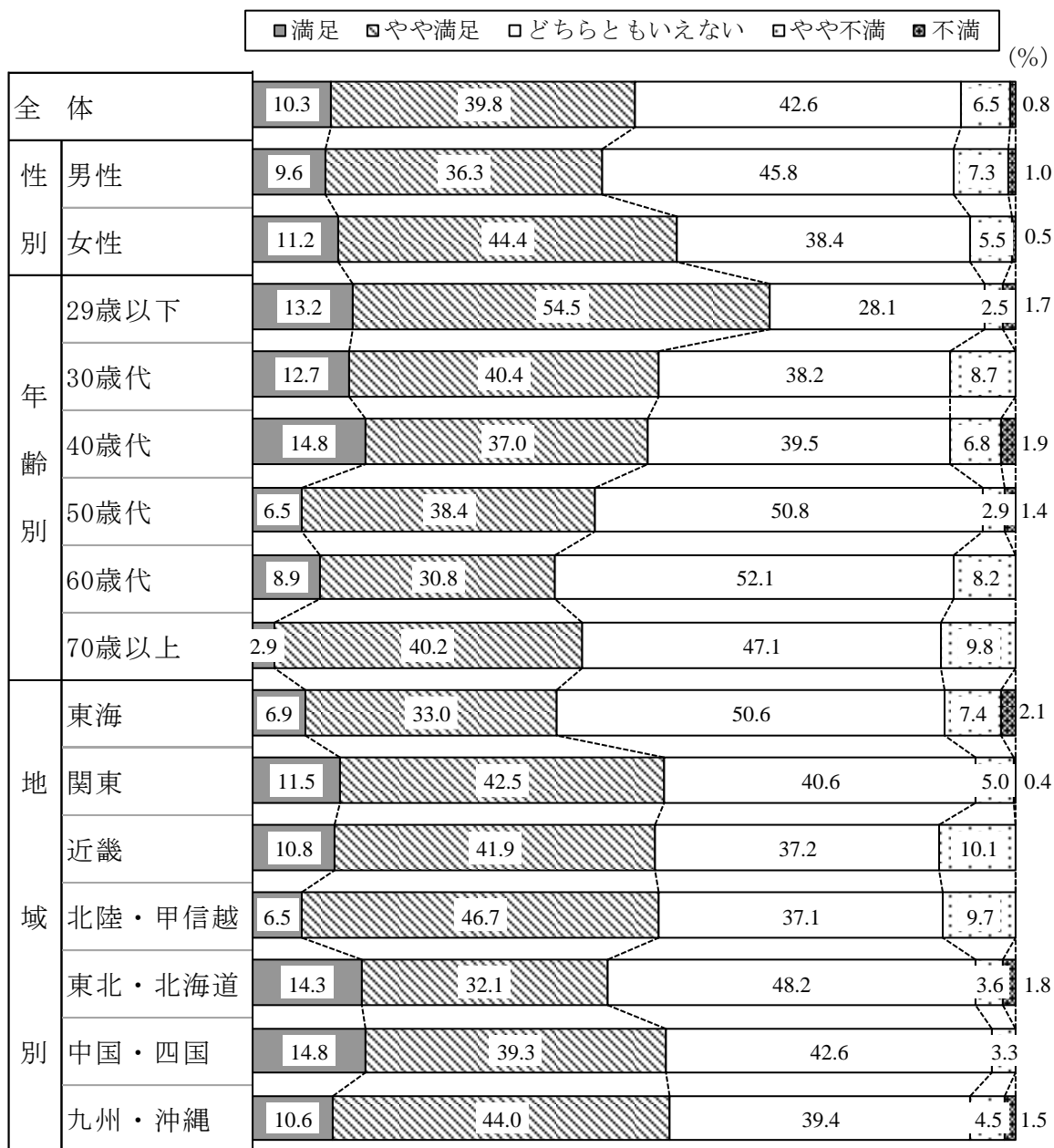
#### d. おみやげ品の評価

おみやげ品については、「満足」(10.3%)と「やや満足」(39.8%)を合わせ50.1%と半数が満足と感じている。不満と感じている割合は、「やや不満」(6.5%)、「不満」(0.8%)を合わせた7.3%であり、「どちらともいえない」は42.6%となっている。

年齢別にみると、60歳代までは、若い世代ほど満足している割合が高く、特に29歳以下では7割近くを占めている。一方、高年齢層ほど「どちらともいえない」の割合が高くなっている。

地域別にみると、満足と感じる割合は、「東海」では相対的にやや低くなっている。

図 2-3-14 おみやげ品の評価

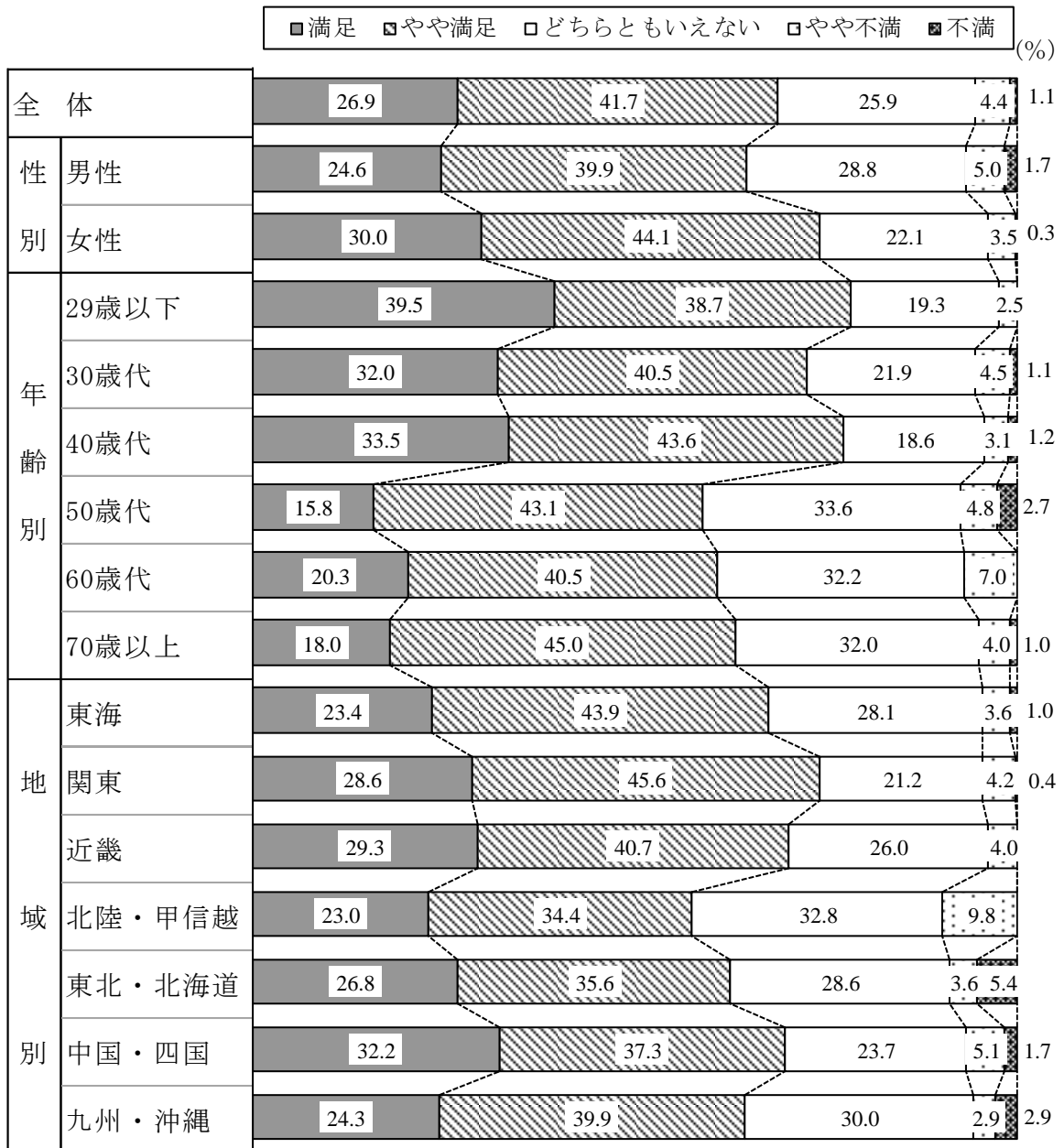


e. なごやめしなどの食事の評価

なごやめしなどの食事については、「満足」が26.9%と3割弱みられ、「やや満足」(41.7%)を合わせて68.6%と7割程が満足と感じている。一方、「やや不満」(4.4%)と「不満」(1.1%)を合わせ5.5%が不満と感じている。

属性別にみても、総じて満足度は高くなっている。

図 2-3-15 なごやめしなどの食事の評価

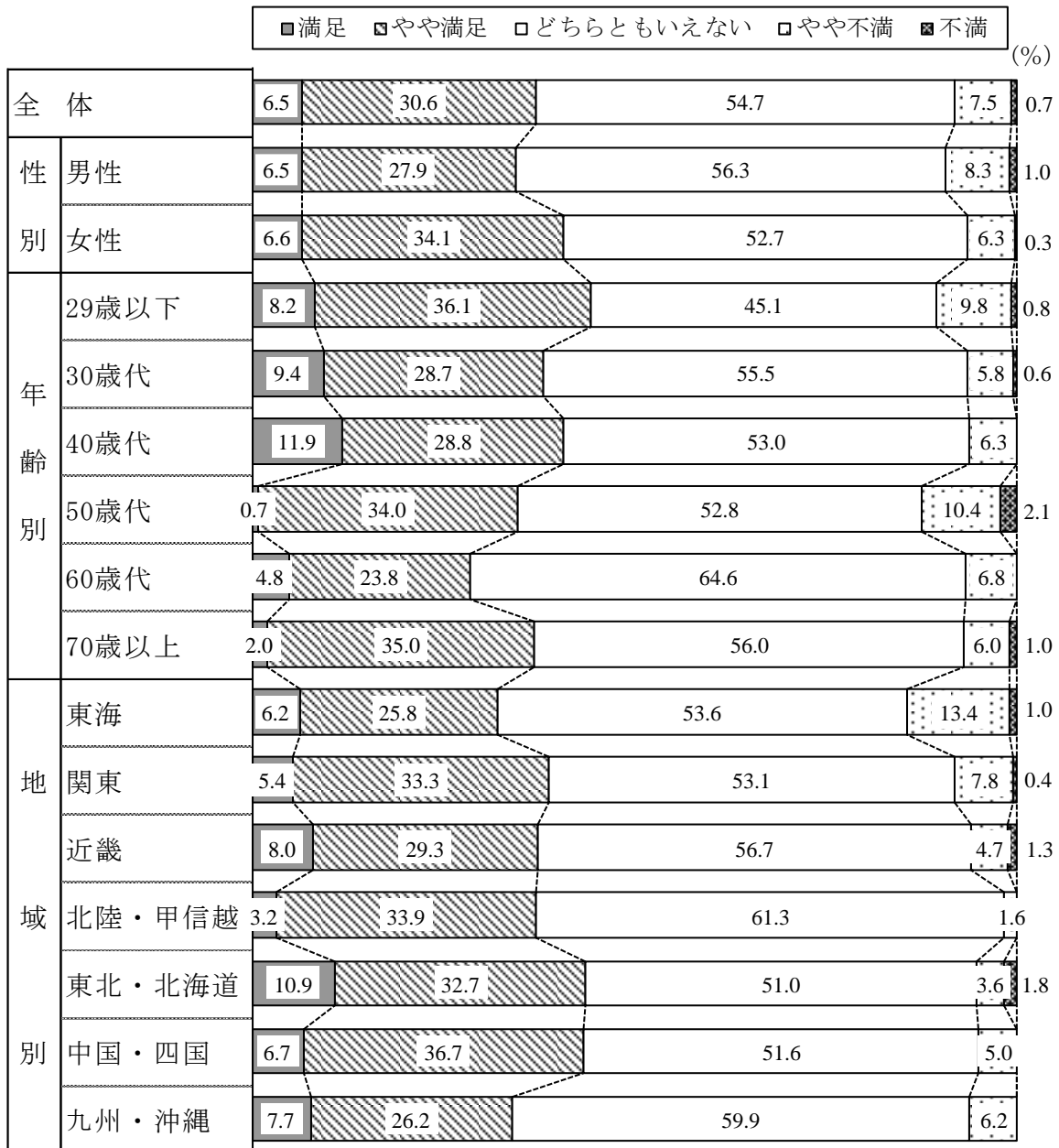


f. 案内表示等のわかりやすさの評価

案内表示等のわかりやすさについては、「満足」(6.5%)と「やや満足」(30.6%)を合わせ37.1%が満足と感じている。「どちらともいえない」が54.7%と過半数を占め、「やや不満」(7.5%)と「不満」(0.7%)を合わせ8.2%が不満と感じている。

属性別にみても、すべての階層とも「どちらともいえない」の割合が最も高くなっている。

図 2-3-16 案内表示等のわかりやすさの評価



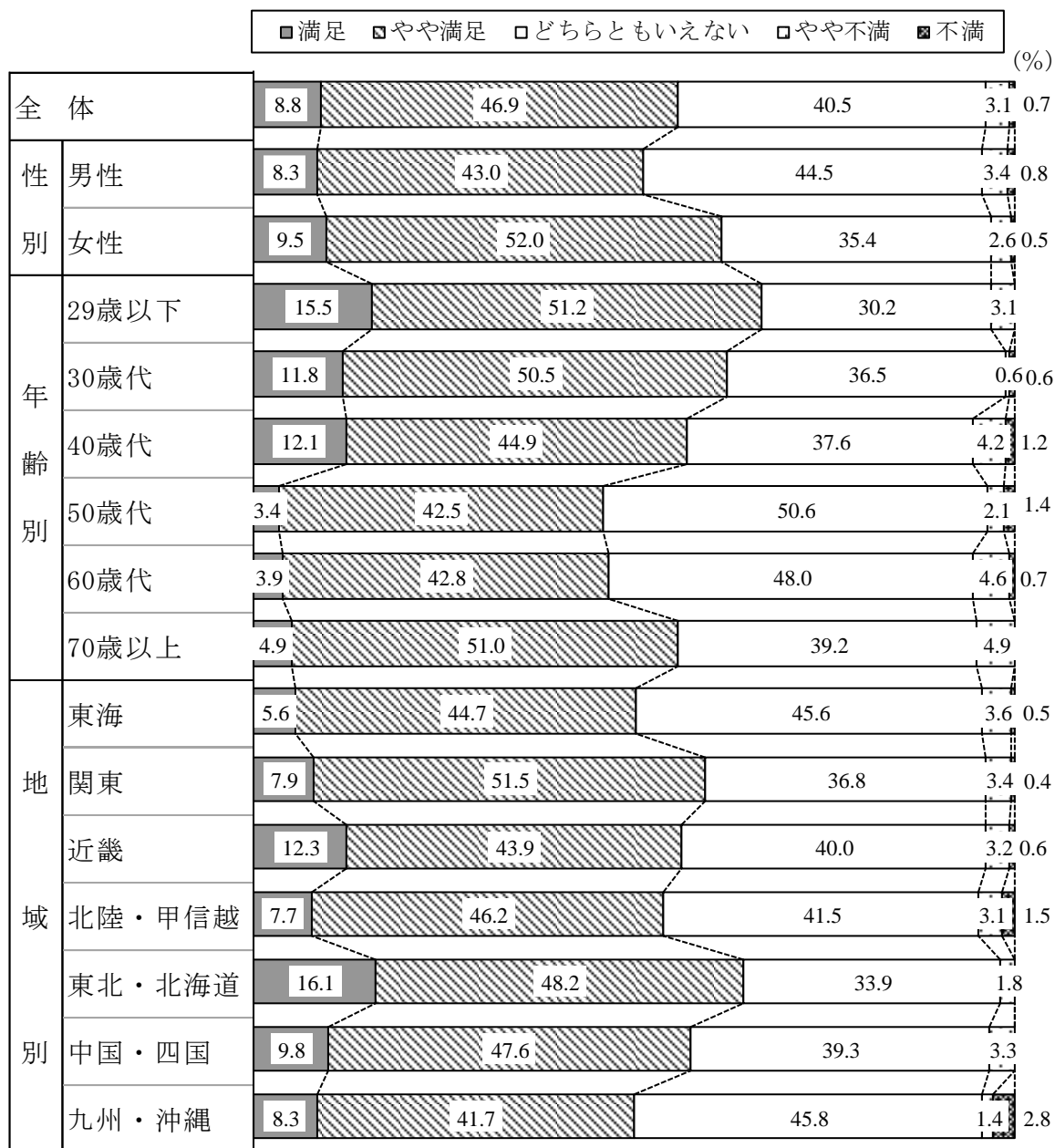
g. 総合的な魅力

総合的な魅力としては、「満足」(8.8%)と「やや満足」(46.9%)を合わせて55.7%と過半数が満足していると回答している。一方、「やや不満」(3.1%)と「不満」(0.7%)を合わせた不満と感じる割合は3.8%と僅かである。

性別にみると、満足と感じる割合は女性(61.5%)で男性(51.3%)より10ポイント高い。

年齢別にみると、満足と感じる割合は、30歳代以下の若い世代では6割以上を占めているものの、50~60歳代では、5割弱と相対的にやや低くなっている。

図 2-3-17 総合的な魅力



## ② 名古屋への訪問意向と観光地としての魅力について

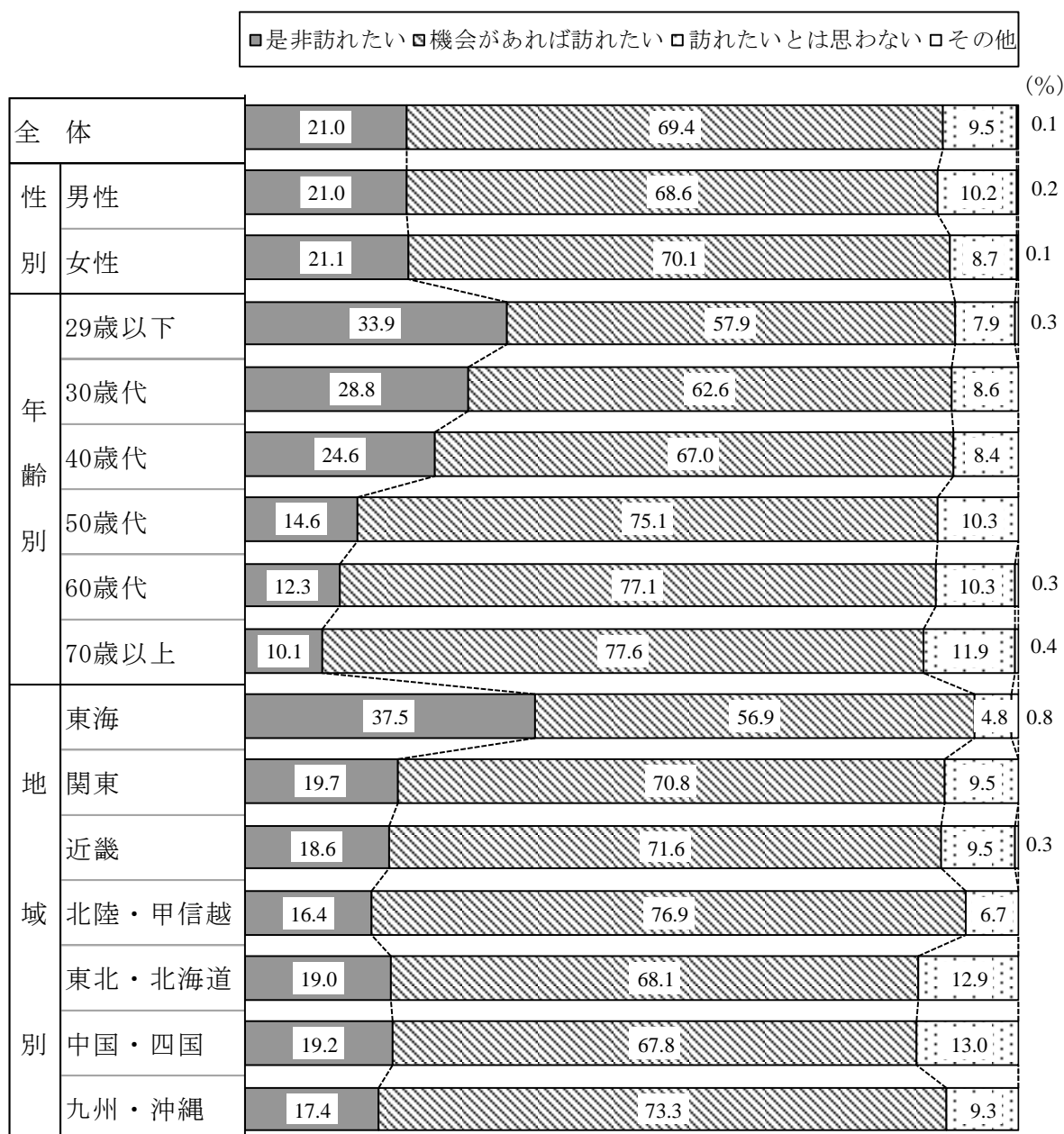
### a. 名古屋への今後の訪問意向

今後、名古屋への訪問意向としては、「是非訪れたい」が21.0%で、「機会があれば訪れたい」が69.4%、合わせて90.4%と9割が訪れたいと考えている。

全ての階層とも9割前後が訪問意向を持っている。

「是非訪れたい」という強い訪問意向の割合は、年齢が若いほど高くなっている。また、「東海」では4割弱と特に高い。

図 2-3-18 名古屋への訪問意向





b. 訪れたい名古屋の観光資源

今後、名古屋へ訪れたいと思う方（1899人）が訪問したい場所又は経験したいものとしては、「なごやめし」（50.9%）と「名古屋城」（49.9%）が半数ほどと多い。以下、「熱田神宮」（22.8%）、「東山動植物園」（22.8%）、「リニア・鉄道館など」（20.9%）、「徳川美術館」（20.7%）が2割以上、「名古屋港」（19.1%）、「栄」（18.5%）、「トヨタ産業技術記念館」（17.0%）、「徳川園」（16.3%）、「ノリタケの森」（15.7%）が16～19%と続いている。

男性では「名古屋城」、女性では「なごやめし」が最も高くなっている。

「なごやめし」は若い年代で高く、40歳代以下では6割近くがあげている。一方、「徳川美術館」は年齢が上がるほど高く、70歳以上では第2位となっている。

地域別にみると、「東海」を除く地域で、「名古屋城」または「なごやめし」が、第1位または第2位となっている。

表 2-3-3 訪れたい名古屋の観光資源（複数回答）

	名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋科学館（プラネタリウムなど）	名古屋市美術館	名古屋市博物館	名古屋港（名古屋港水族館、シートレイ ンランド、ポートビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オ アシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、絞り会館など）	なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、 きしめん、みそかつ、手羽先など）	名古屋まつり	にっぽんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	(%)	
全体	49.9	16.3	20.7	22.8	20.9	17.0	15.7	13.2	11.3	8.9	19.1	22.8	18.5	11.1	5.4	7.7	50.9	11.1	7.6	6.0	1.2	6.5	
性別	男性	49.5	15.1	20.2	24.5	27.1	23.0	9.9	11.7	9.9	9.7	16.9	20.3	21.1	10.9	4.3	6.2	42.4	9.9	6.5	5.3	1.3	7.9
	女性	50.2	17.4	21.1	21.1	14.8	11.1	21.2	14.5	12.6	8.1	21.1	25.2	16.0	11.3	6.5	9.2	59.1	12.2	8.7	6.6	1.1	5.2
年齢別	29歳以下	56.7	11.8	10.8	13.1	16.6	14.0	9.9	22.0	7.6	6.7	19.4	21.3	21.0	10.5	3.5	6.4	56.7	16.6	10.2	8.6	1.3	8.0
	30歳代	55.4	13.6	12.2	17.0	21.9	14.2	11.1	11.4	8.5	6.8	23.6	22.4	25.3	8.0	4.8	4.0	57.1	14.2	12.5	7.4	1.1	6.5
	40歳代	48.6	11.3	13.5	22.0	26.9	18.0	13.8	15.6	9.2	8.9	22.0	27.2	22.6	15.6	3.7	7.0	56.3	9.5	7.3	5.2	1.8	5.8
	50歳代	43.1	15.0	20.8	21.7	19.8	17.6	18.5	12.8	11.2	9.9	16.9	18.5	15.0	12.5	5.8	6.1	51.4	7.3	5.1	5.1	1.6	6.7
	60歳代	48.1	22.9	30.4	37.0	19.5	20.6	20.1	9.2	14.6	10.0	15.2	22.6	13.8	10.0	8.3	11.2	45.3	9.7	3.7	5.2	1.1	6.6
	70歳以上	45.9	24.6	41.4	25.8	20.1	17.2	22.5	7.4	18.0	11.9	16.4	25.0	11.1	10.2	6.6	13.1	34.8	8.2	6.1	3.7	0.0	4.9
地域別	東海	30.8	13.7	17.9	23.9	27.8	15.4	15.4	30.3	12.8	9.4	36.3	35.0	34.6	33.3	4.3	9.0	38.0	6.0	6.8	5.6	1.3	7.3
	関東	55.9	17.3	19.3	24.3	19.2	14.9	14.8	8.9	9.4	7.1	16.3	18.7	17.1	7.7	5.5	7.1	55.3	11.9	9.3	7.2	0.9	7.1
	近畿	42.6	14.1	19.0	18.4	24.3	16.1	18.0	10.5	12.8	9.8	16.7	23.3	14.4	8.5	4.9	7.5	48.5	8.9	5.9	5.2	2.3	7.2
	北陸・甲信越	45.6	16.8	25.6	26.4	16.0	20.8	16.0	12.8	11.2	9.6	20.0	27.2	17.6	8.0	3.2	8.8	46.4	11.2	5.6	3.2	0.8	0.8
	東北・北海道	55.1	18.1	25.9	19.4	20.8	20.8	15.3	12.5	14.4	10.2	16.2	16.2	15.7	5.6	6.9	8.3	55.6	14.8	8.8	7.9	1.9	8.3
	中国・四国	58.3	15.5	18.5	20.8	17.9	17.3	19.0	11.9	10.7	9.5	13.1	22.6	16.1	7.7	6.5	7.7	54.8	11.9	6.5	4.2	0.0	6.5
九州・沖縄	53.7	17.8	23.8	26.2	18.7	19.2	13.1	12.6	10.3	10.3	18.7	25.2	15.9	10.7	6.1	7.5	50.5	12.6	6.5	4.7	0.9	4.2	

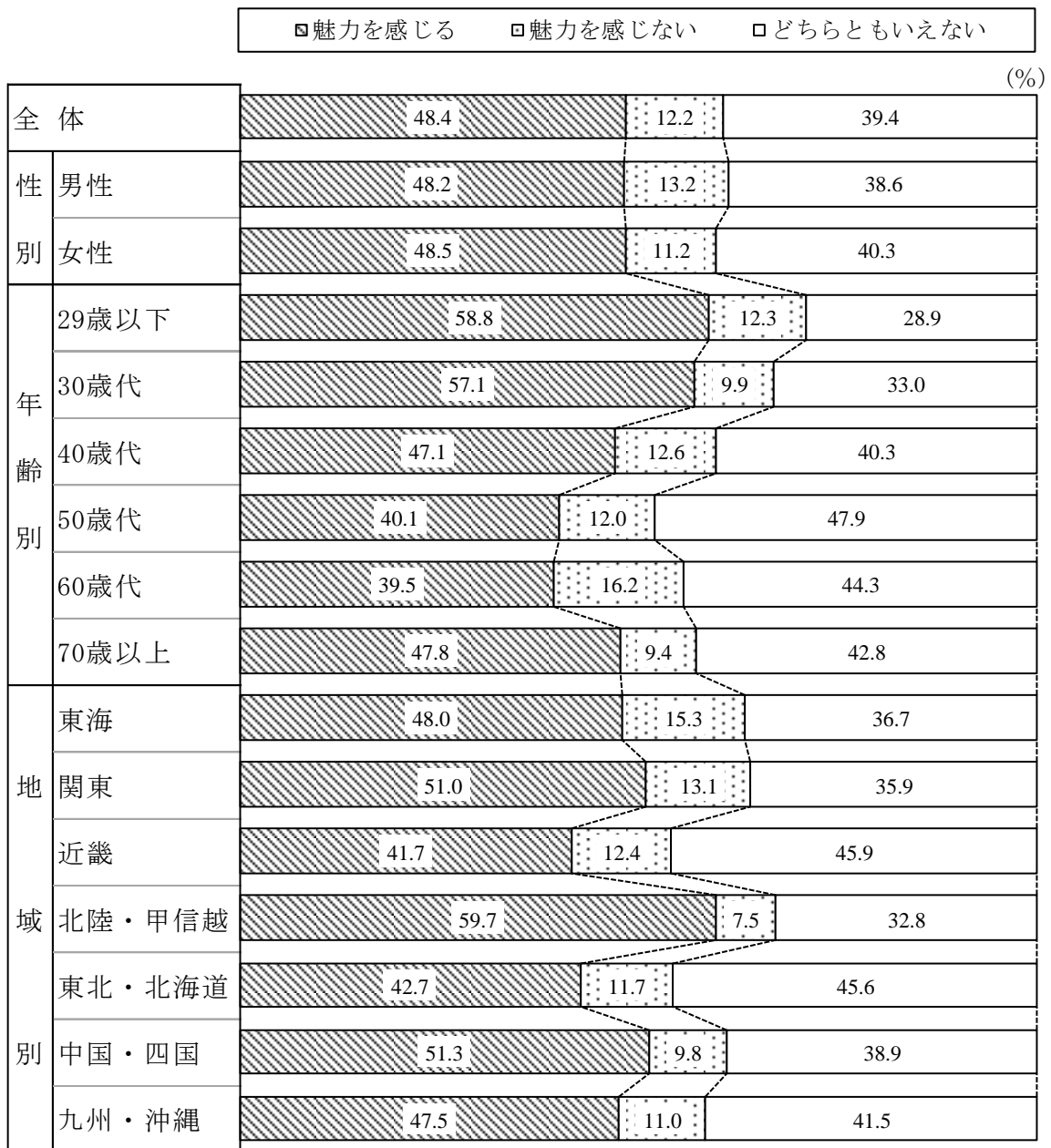
c. 名古屋の観光地としての魅力について

名古屋の観光地として「魅力を感じる」は 48.4%と半数であり、「魅力を感じない」は 12.2%と1割程である。

性別にみても、あまり差異はみられない。

年齢別にみると、30歳代以下の若い世代では6割程が「魅力を感じる」としている。一方、50～60歳代では「どちらともいえない」の割合が最も高くなっている。

図 2-3-19 観光地としての魅力

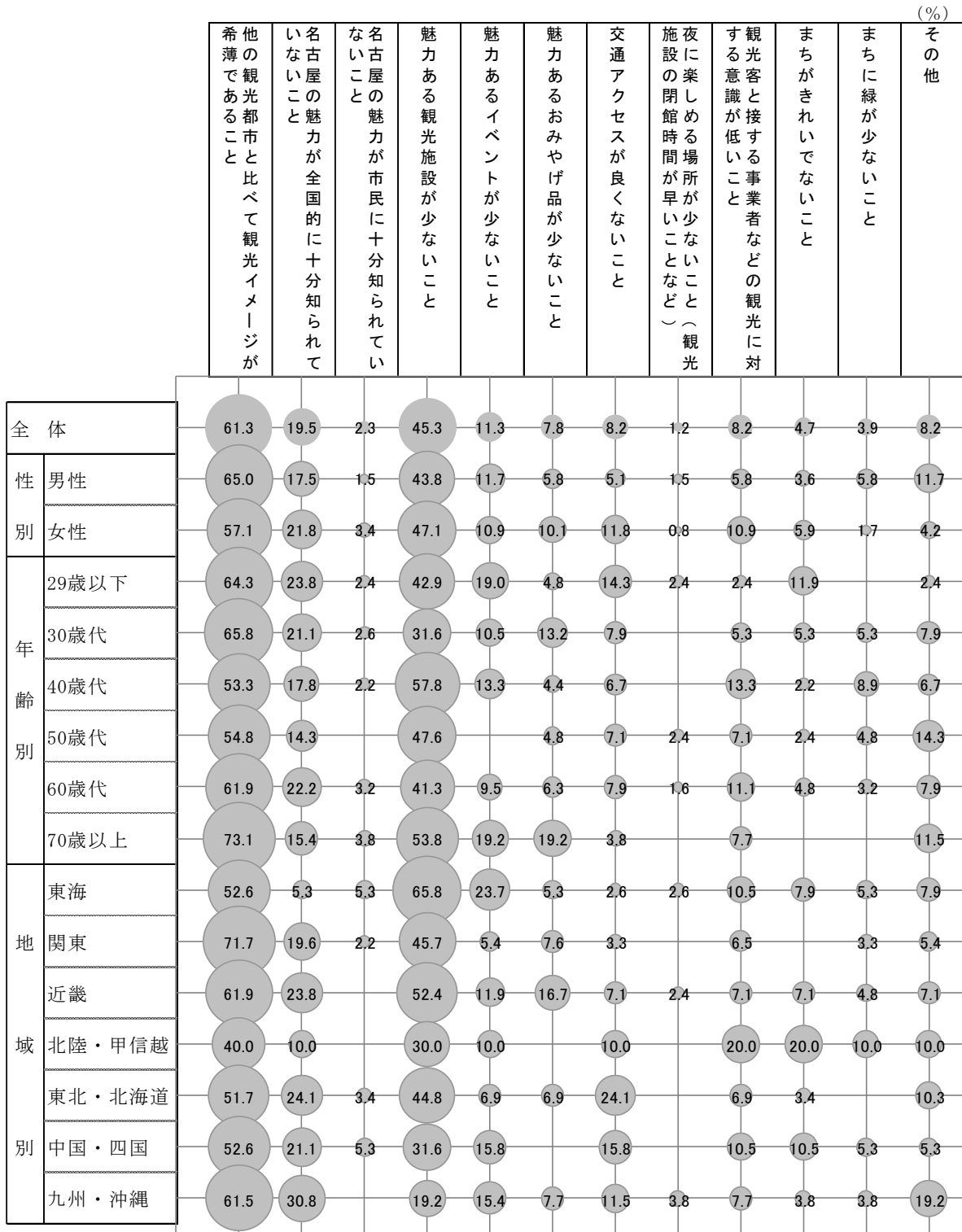


#### d. 名古屋に観光地としての魅力を感じない理由

名古屋に観光地としての魅力を感じない方（256人）の理由としては、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること」が61.3%と最も多く、次いで「魅力ある観光施設が少ないこと」が45.3%となっている。

40歳代と地元「東海」では、「魅力ある観光施設が少ないこと」、70歳代と「関東」では「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること」が最大の理由となっている。

図 2-3-20 名古屋に観光地としての魅力を感じない理由（3つまで回答）



#### (4) 観光振興について

##### ① なごや観光ルートバスについて

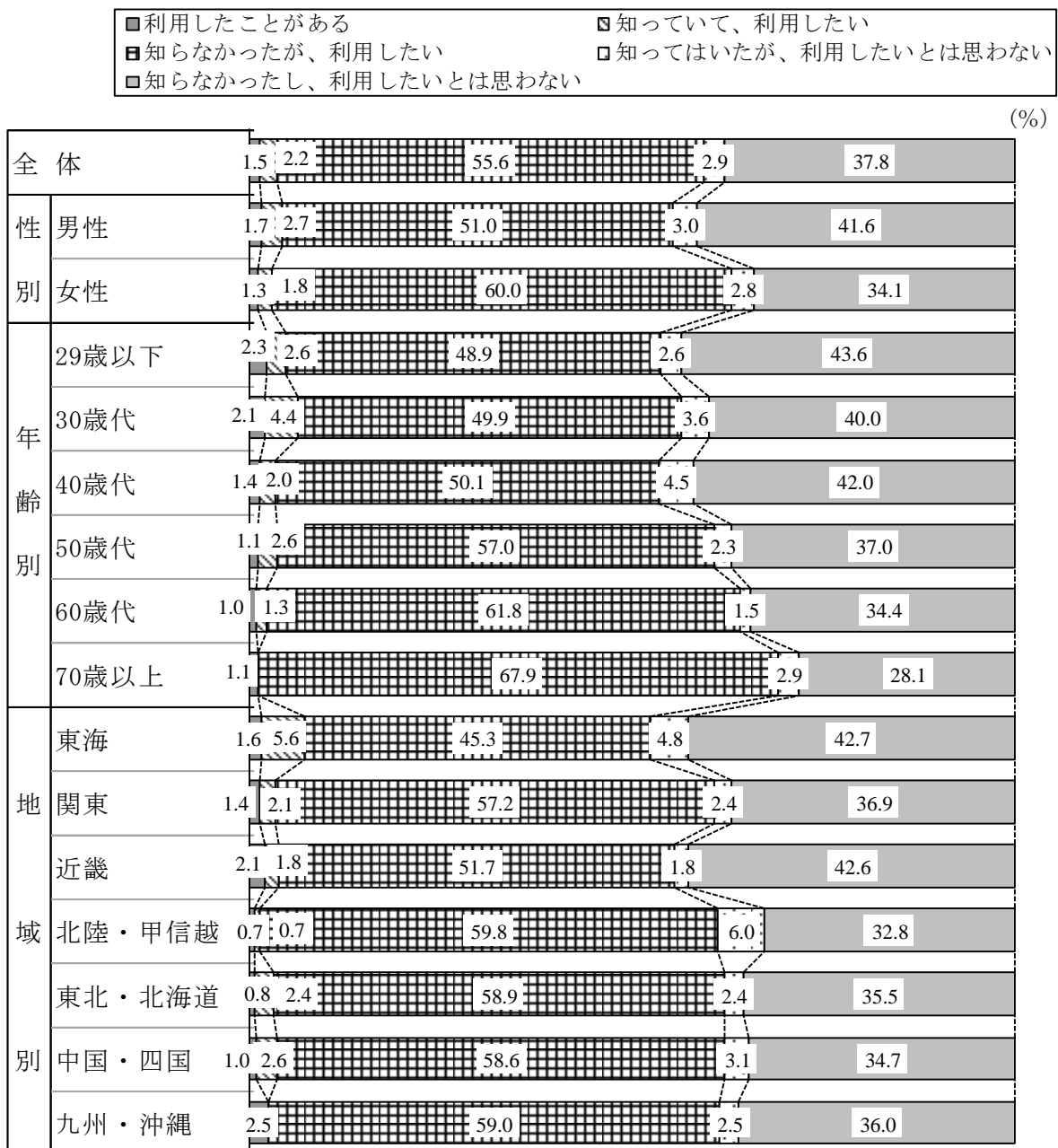
###### a. なごや観光ルートバスの認知度・利用意向

主要観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス「メーグル」を「利用したことがある」割合は1.5%と僅かである。「知っていて、利用したい」(2.2%)と「知ってはいたが、利用したいとは思わない」(2.9%)を合わせた認知度は6.6%と低い。また、「知っていて、利用したい」(2.2%)と「知らなかったが、利用したい」(55.6%)を合わせた今後の利用意向は57.8%と6割程を占めている。

利用意向の割合としては、女性や60歳代以上では6割以上と高くなっている。

認知度としては、一番高い「東海」でも12.0%と、認知度は低い。

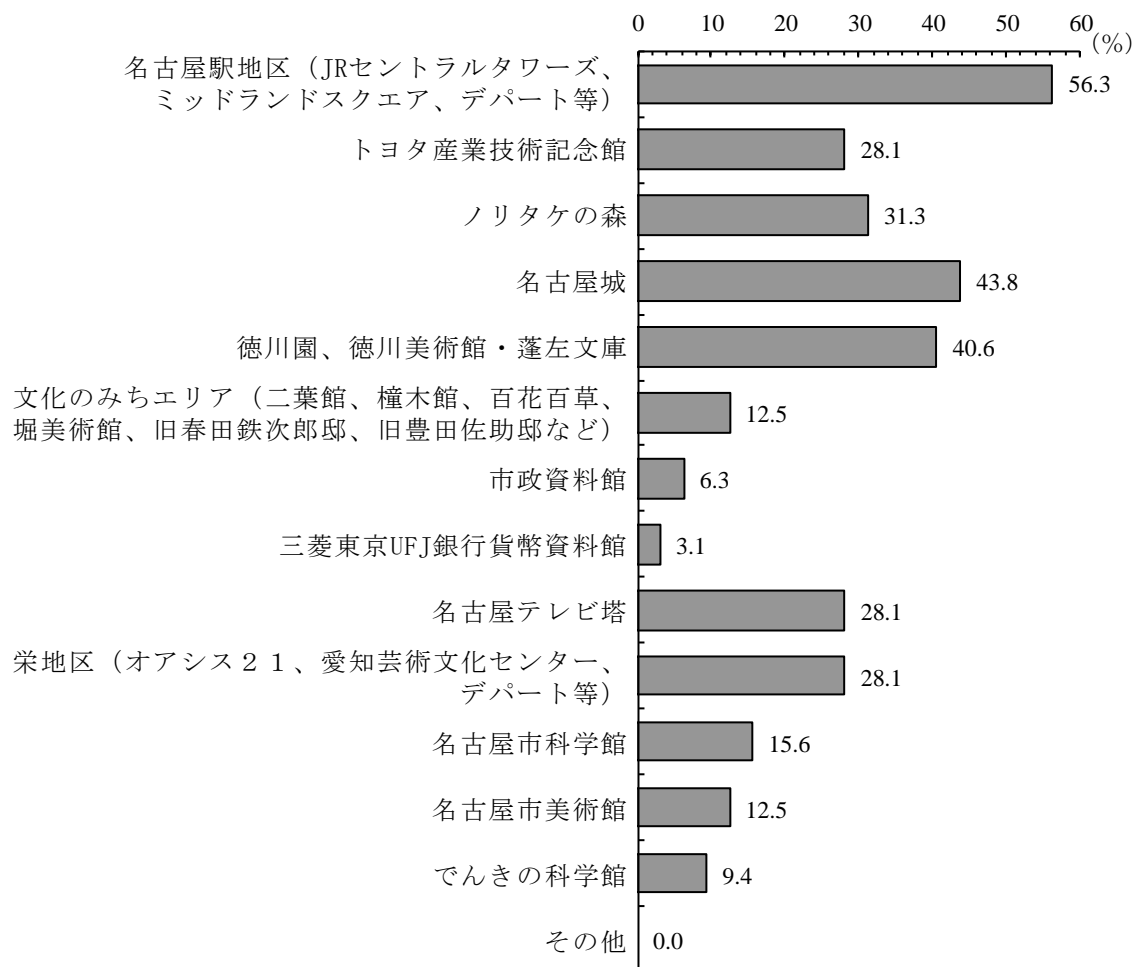
図 2-3-21 なごや観光ルートバスの認知度・利用意向



## b. 「メーグル」を利用して訪れた観光施設

観光ルートバス「メーグル」を利用した方（32人）が利用して訪問した観光施設は、「名古屋駅地区」（56.3%）が半数以上と最も多く、次いで「名古屋城」（43.8%）と「徳川園、徳川美術館・蓬左文庫」（40.6%）が4割以上で、「ノリタケの森」、「トヨタ産業技術記念館」、「名古屋テレビ塔」、「栄地区」は3割程となっている。

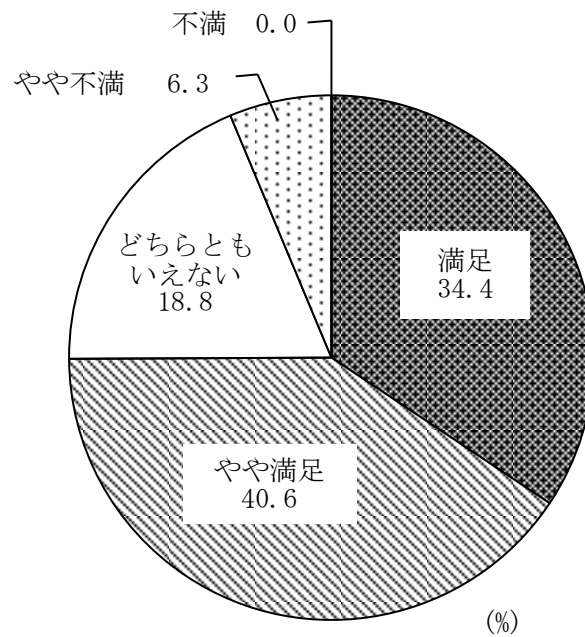
図 2-3-22 「メーグル」を利用して訪れた観光施設（複数回答）



### c. 「メール」の利用満足度

観光ルートバス「メール」を利用した方（32人）の印象としては、「満足」（34.4%）が3割以上で、「やや満足」（40.6%）を合わせると75.0%と8割弱を占めている。一方「やや不満」は6.3%みられるが「不満」は皆無である。

図 2-3-23 「メール」の利用満足度



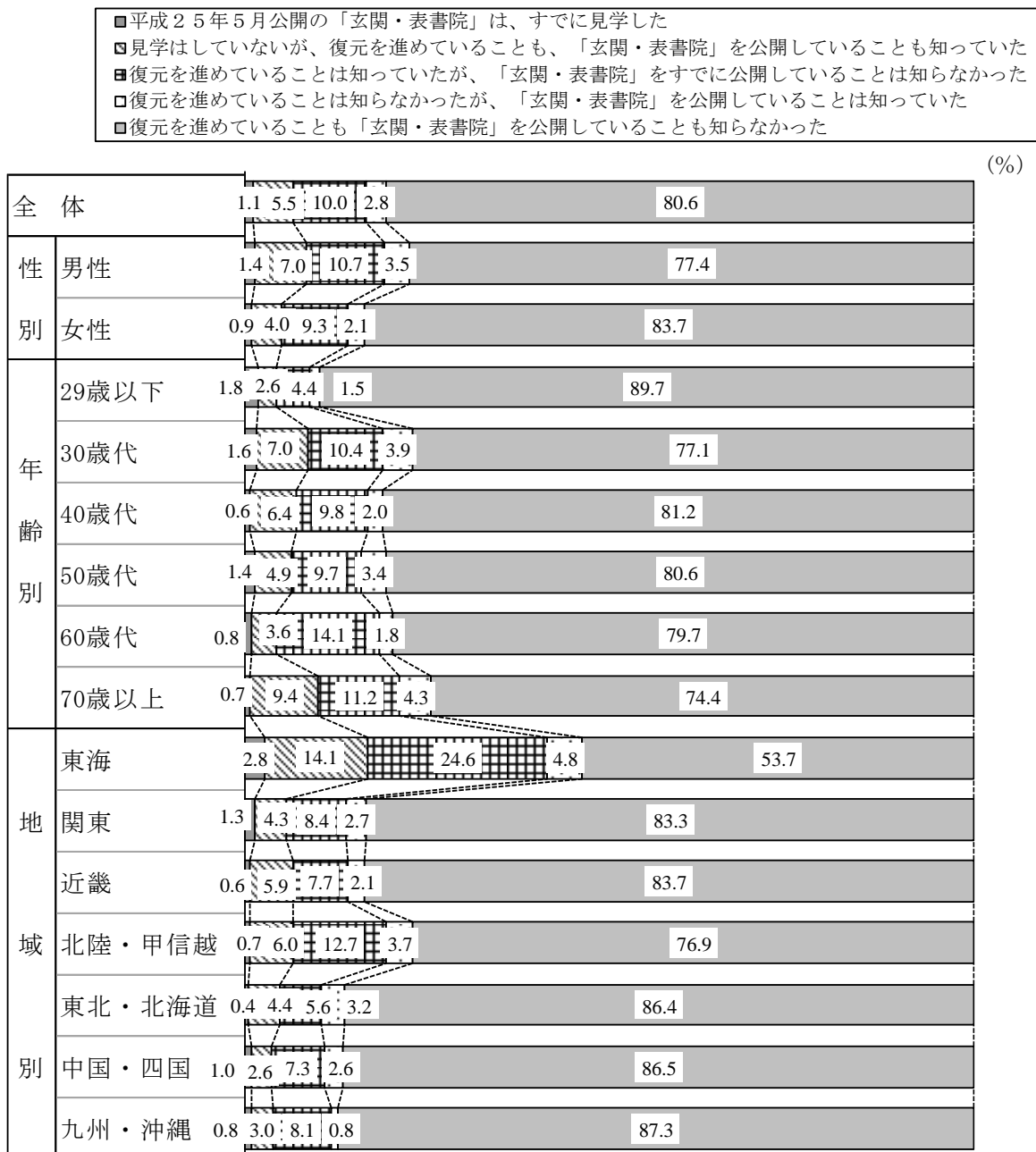
## ② 名古屋城「本丸御殿」の復元

### a. 名古屋城「本丸御殿」復元の認知度

名古屋城「本丸御殿」の復元の取組みについて、「平成25年5月公開の「玄関・表書院」は、すでに見学した」が1.1%であり、「見学はしていないが、復元を進めていることも、「玄関・表書院」を公開していることも知っていた」(5.5%)、「復元を進めていることは知っていたが、「玄関・表書院」をすでに公開していることは知らなかった」(10.0%)を合わせた16.6%が「本丸御殿」の復元を知っており、「両方とも知っていた」、「復元を進めていることは知らなかったが、「玄関・表書院」を公開していることは知っていた」(2.8%)を合わせた9.4%が「玄関・表書院」の公開を知っている。

「東海」では「玄関・表書院」を見学した割合はまだ僅かであるが、復元や公開を知っている割合は46.3%と半数近くみられる。

図 2-3-24 名古屋城「本丸御殿」復元の認知度

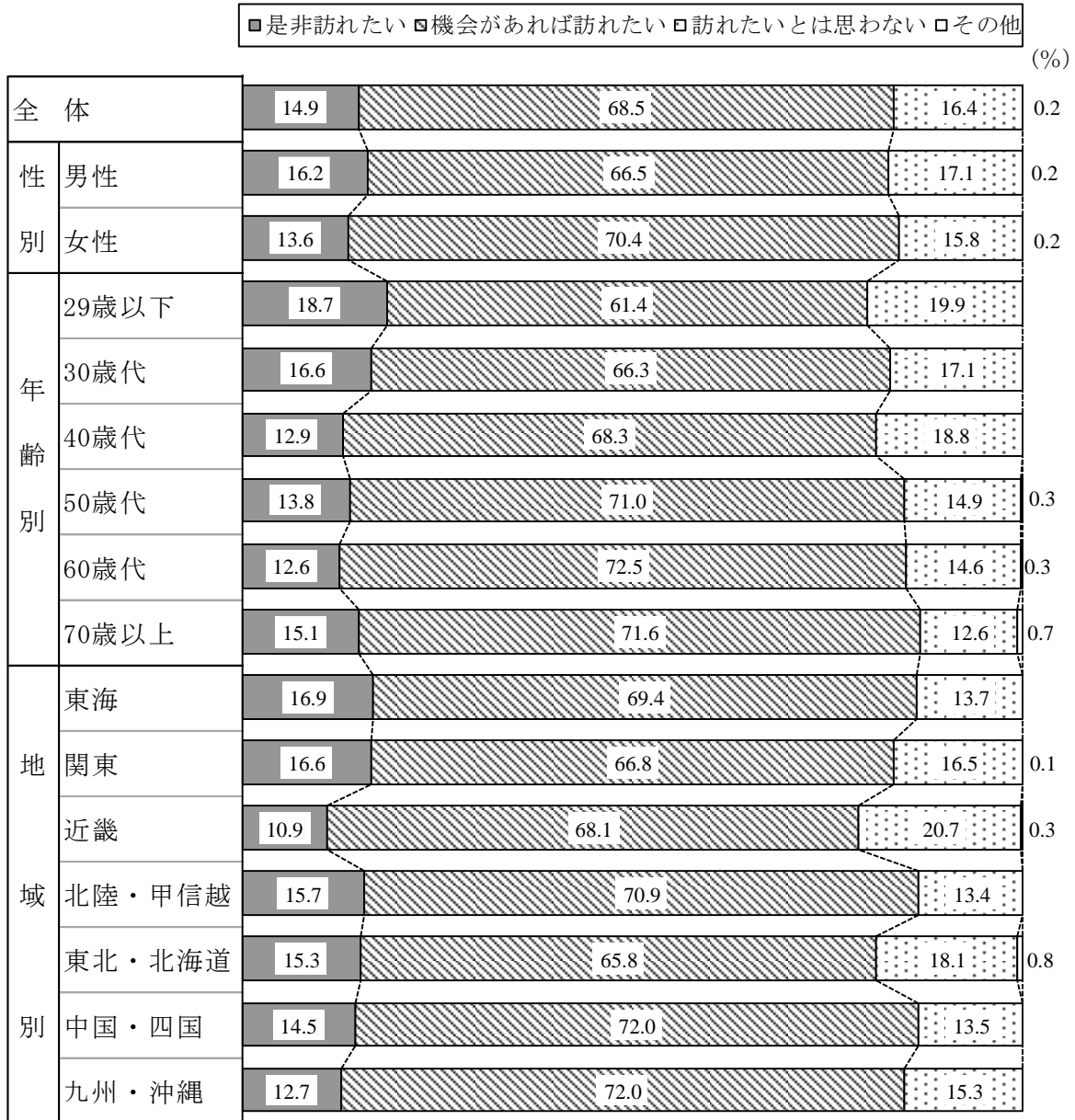


b. 名古屋城「本丸御殿」復元後の訪問意向

名古屋城「本丸御殿」が復元された場合、「是非訪れたい」は14.9%、「機会があれば訪れたい」(68.5%)を合わせて83.4%と大半が訪問意向を持っている。

属性別にみても、大きな差異はみられない。

図 2-3-25 名古屋城「本丸御殿」復元後の訪問意向





### 3. 資料編

#### (1) 主要観光施設への入込動向

##### ①名古屋市主要観光施設への観光入込客数の推移

平成26年度における名古屋市主要観光施設(30施設)への入込客数は合計で約2,260万人であり、平成25年度と比較すると、入込客数は約23万人(1.0%)減少している。

観光入込客数を施設別にみると、熱田神宮が約676万人と最も多く、次いで東山動植物園(約227万人)、名古屋港水族館(約197万人)、名古屋城(約164万人)、名古屋市科学館(約139万人)、農業文化園・戸田川緑地(約114万人)となっている。

施設別に昨年度の入込客数と比較すると、ランの館をリニューアルし開館した久屋大通庭園フラリエで入込客数の増加を示している。

一方、昨年度の特別展が好評であった名古屋市美術館、愛知県美術館においては、反動で入込客数が減少している。

##### ②名古屋市主要観光施設の月別観光入込客数

主要観光施設の月別入込客数を表3-1-2に示す。

熱田神宮は、初詣客を中心に「1月」の入込客が圧倒的に多く、熱田まつりが開催される6月も入込客は多い。

花見の名所である名古屋城、東谷山フルーツパーク、名古屋市農業センターなどは3月～4月の入込客が多く、紅葉の名所である徳川園、白鳥庭園は11月に入込客が多い。また名古屋城は宵まつりが開催される8月も入込客は多い。

名古屋市科学館、名古屋港水族館、シートレインランド、リニア・鉄道館、でんきの科学館などは子どもが夏休みの8月に入込客が多い。

有松・鳴海絞会館は、絞りまつりが開催される6月に入込客が多い。

東山動植物園、農業文化園・戸田川緑地、ブルーボネットなど屋外の施設は全般に5月、10月の行楽シーズンを中心に入込客が多く、東山動植物園は特に4～5月及び10～11月の入込客が多い。

美術館や博物館の入込客数のピークはまちまちで、時期ではなく特別展など展示内容によって入込客数は変動している。

表 3-1-1 入込客数の推移

(単位：人)

施設	年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
名古屋城		1,517,727	1,414,769	1,472,305	1,657,370	1,641,787
東山動植物園		2,180,296	2,025,336	2,079,896	2,228,650	2,271,248
東山スカイタワー		299,008	273,541	277,652	268,511	268,517
テレビ塔		270,565	201,868	251,384	242,286	269,852
熱田神宮		6,713,174	6,716,036	6,773,935	6,852,153	6,760,955
名古屋港		464,479	462,104	416,175	388,015	351,458
名古屋市科学館		481,957	1,531,854	1,303,372	1,436,926	1,394,003
徳川美術館		210,408	204,215	193,047	182,441	183,263
名古屋市博物館		513,426	400,384	410,718	456,102	426,518
東谷山フルーツパーク		512,211	513,454	538,245	469,843	520,078
農業文化園・戸田川緑地		995,286	1,116,600	1,281,235	1,188,451	1,135,295
でんきの科学館		412,420	336,167	301,239	292,131	293,669
名古屋市美術館		463,085	309,872	315,204	386,428	273,428
名古屋港水族館		1,766,343	1,785,853	1,990,050	2,040,420	1,967,223
産業技術記念館		273,926	249,740	284,919	320,366	387,873
白鳥庭園		119,487	113,872	117,761	116,828	132,241
市政資料館		72,313	67,622	69,570	75,335	70,917
名古屋能楽堂		183,889	166,925	171,951	173,848	169,457
愛知県美術館		732,339	711,001	795,538	946,258	780,788
名古屋市農業センター		573,718	609,918	629,486	655,219	632,986
シートレインランド		623,193	604,748	619,387	629,048	598,734
有松・鳴海絞会館		177,631	159,824	170,035	168,531	177,381
久屋大通庭園フラリエ(旧 ランの館)		142,530	129,967	134,638	124,485	353,531
名古屋ボストン美術館		110,126	101,878	319,008	165,634	183,281
ノリタケの森		337,468	341,939	356,529	336,994	352,890
ブルーボネット		73,587	65,831	70,780	64,089	51,019
徳川園		242,024	251,721	248,542	233,203	285,957
文化のみち二葉館		38,056	32,191	34,749	33,485	35,942
スカイプロムナード		124,553	107,124	103,014	102,863	96,359
リニア・鉄道館		98,961	1,057,424	679,272	592,191	530,982
合 計		20,724,186	22,063,778	22,409,636	22,828,104	22,597,632

注 1：リニア・鉄道館は平成 23 年 3 月に開館した。

注 2：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。

注 3：ランの館は平成 26 年 3 月に閉館し、久屋大通庭園フラリエとして平成 26 年 9 月に開館した。

表 3-1-2 施設別・月別入込客数

(単位：人)

施設	年月	平成 26 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
名古屋城		192,373	166,637	97,638	97,747	191,253	124,019	128,977	161,598
東山動植物園		293,870	379,869	142,382	73,242	188,265	198,878	240,673	256,142
東山スカイタワー		33,427	36,911	14,327	10,986	26,942	22,739	26,300	30,248
テレビ塔		14,565	32,542	25,529	18,534	33,081	26,537	20,206	24,863
熱田神宮		179,666	218,742	417,090	170,935	161,701	176,944	201,450	263,645
名古屋港		32,054	46,714	28,127	30,275	57,084	37,481	39,229	35,780
名古屋市科学館		112,280	131,580	90,980	118,291	240,107	75,329	86,989	136,283
徳川美術館		13,552	16,574	12,992	11,029	17,674	14,526	15,548	20,959
名古屋市博物館		51,532	53,486	50,771	38,998	34,103	17,840	21,360	65,649
東谷山フルーツパーク		163,954	68,891	28,487	19,980	24,366	35,098	36,568	37,685
農業文化園・戸田川緑地		121,291	216,107	83,256	76,981	86,277	110,236	98,827	94,715
でんきの科学館		20,236	25,147	19,038	26,738	52,610	20,345	17,355	23,127
名古屋市美術館		10,950	25,147	10,006	11,255	16,187	11,761	15,515	5,715
名古屋港水族館		128,456	187,387	125,205	182,614	387,588	153,979	124,331	132,048
産業技術記念館		30,325	29,427	30,886	33,554	54,364	27,829	32,906	42,626
白鳥庭園		11,457	15,357	5,802	3,751	5,740	7,887	10,965	38,385
市政資料館		6,528	7,320	4,801	4,615	5,443	5,485	6,384	8,280
名古屋能楽堂		9,855	11,765	12,748	19,242	12,774	17,390	14,696	17,843
愛知県美術館		91,235	111,617	64,556	59,065	52,059	47,260	52,282	67,334
名古屋市農業センター		39,487	55,646	22,922	18,740	23,702	27,906	29,187	63,175
シートレイランド		47,468	55,252	39,563	53,451	99,008	52,768	36,442	45,450
有松・鳴海絞会館		6,274	16,905	99,713	5,804	6,615	6,854	7,622	9,931
久屋大通庭園フラリエ		0	1,344	0	5,806	0	31,387	90,825	73,002
名古屋ボストン美術館		7,719	19,268	17,005	19,213	36,276	5,246	12,742	17,000
ノリタケの森		26,157	38,844	27,186	29,103	33,053	29,391	30,990	40,467
ブルーボネット		7,602	15,191	5,528	2,543	2,168	4,209	5,730	3,096
徳川園		30,997	27,948	17,750	14,213	16,159	20,332	26,149	52,906
文化のみち二葉館		2,820	3,661	2,677	1,721	2,415	2,675	3,959	3,754
スカイプロムナード		6,281	9,005	7,613	8,037	9,806	10,228	7,485	8,637
リニア・鉄道館		39,126	48,397	37,024	45,015	85,063	44,488	42,181	51,603
全 体		1,731,537	2,072,681	1,541,602	1,211,478	1,961,883	1,367,047	1,483,873	1,831,946

## ◆調査対象施設の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象施設を選定しており、平成 22 年度には、1 施設（リニア・鉄道館）を加え 30 施設を調査対象とした。

## 参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上である市内観光施設を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

(単位：人)

施設	年月	平成 26 年 12 月	平成 27 年 1 月	2 月	3 月	合計	備 考
名古屋城		87,308	98,284	102,450	193,503	1,641,787	
東山動植物園		65,090	106,872	100,890	225,075	2,271,248	
東山スカイタワー		13,001	14,040	12,161	27,435	268,517	
テレビ塔		24,578	17,515	13,073	18,829	269,852	
熱田神宮		168,467	4,371,760	226,432	204,123	6,760,955	
名古屋港		12,124	7,083	2,202	23,305	351,458	
名古屋市科学館		107,093	100,431	76,455	118,185	1,394,003	
徳川美術館		4,526	8,230	20,221	27,432	183,263	
名古屋市博物館		14,205	28,131	37,062	13,381	426,518	
東谷山フルーツパーク		14,041	17,946	23,864	49,198	520,078	
農業文化園・戸田川緑地		40,875	56,673	54,020	90,037	1,135,295	
でんきの科学館		16,795	20,310	24,319	27,649	293,669	
名古屋市美術館		7,653	44,816	54,917	59,506	273,428	
名古屋港水族館		120,656	128,779	107,440	188,740	1,967,223	
産業技術記念館		23,822	22,593	28,756	30,785	387,873	
白鳥庭園		7,986	8,343	5,232	11,336	132,241	
市政資料館		3,743	4,029	5,092	9,197	70,917	
名古屋能楽堂		13,073	13,767	11,070	15,234	169,457	
愛知県美術館		36,895	38,578	82,776	77,131	780,788	
名古屋市農業センター		19,947	21,283	58,838	252,153	632,986	
シートレインランド		43,653	39,373	28,866	57,440	598,734	
有松・鳴海絞会館		2,781	4,047	4,675	6,160	177,381	
久屋大通庭園フラリエ		46,026	38,943	29,345	36,853	353,531	平成 26 年 9 月 27 日開館
名古屋ボストン美術館		1,014	17,472	14,658	15,668	183,281	
ノリタケの森		20,506	21,613	23,014	32,566	352,890	
ブルーボネット		716	0	0	4,236	51,019	平成 26 年 12 月 26 日～2 月末日休園
徳川園		10,310	17,110	19,540	32,543	285,957	
文化のみち二葉館		1,434	1,841	4,812	4,173	35,942	
スカイプロムナード		10,400	5,780	5,266	7,821	96,359	
リニア・鉄道館		23,109	34,825	35,258	44,893	530,982	
全 体		961,827	5,310,467	1,212,704	1,910,587	22,597,632	

## (2) 名古屋のまちの印象（自由回答より）

観光入込客に名古屋のまちの印象を尋ねたところ、次のような意見があげられた。

### 良い印象

#### 【観光施設・観光スポット】

- ・名古屋城のボランティアガイドさんに案内してもらい初めての発見がたくさんありとても新鮮でした。(女性 40代)
- ・名古屋城に久しぶりに来たら、城内がテーマパークみたいになっていてびっくりしました。(女性 30代)
- ・久しぶりの名古屋城素晴らしかったです。街の印象は最近、以前よりオシャレになってきたように思います。(女性 50代)
- ・金シャチが燦然と輝いていてビューティフル。(女性 60代)
- ・久しぶりに来ましたが、動物の迫力に圧倒されました！とても楽しかったです！(女性 20代)
- ・科学館の特撮展楽しかったです。(男性 20代)
- ・水族館の魚の美しさに圧倒されました！！(女性 20代)
- ・たまたまとれた有給でほとんど足を運ばない水族館に来ましたが、とても癒された。平日の水族館は落ち着ける。(男性 30代)
- ・名古屋駅の近くに静かで良いところがあって良かった（ノリタケの森）。(男性 30代)
- ・駅近くにノリタケの森、トヨタテクノなどあって回りやすい。(男性 40代)
- ・平日であったが人出がたくさんあり、とてもにぎわっていて楽しかった。(女性 50代)
- ・シートレインはその規模でも楽しめる。治安も良いと思います。(男性 20代)

#### 【行・催事、イベント】

- ・祭りとかイベントがあって面白い。(男性 50代)
- ・イベントが多くなり、賑やかになった気がする。(女性 70代)
- ・梅がとてもきれいでした。程よい人がいて過ごしやすかった。(女性 50代)

#### 【風景、景観】

- ・緑が多いし、自然が多くて良い。(男性 50代)
- ・名城公園の景色はとても素晴らしいです。(女性 60代)
- ・名古屋はゴミが少ない印象があります。(女性 30代)
- ・名古屋のまちはキレイ。誇りに思う！(男性 70代)
- ・都会だなと思います。毎回驚きます。(女性 50代)
- ・町並みがとても良いと思います。(女性 70代)
- ・景観性に優れた街並で満足してます。(女性 60代)
- ・街の美観益々良くなっている。(男性 60代)
- ・駅周辺の高層ビルに感心しました。(女性 80歳以上)
- ・スカイタワーからの景色が凄かったです。(女性 20代)
- ・きれいに整備されているので、便利でいいと思う。(女性 40代)

#### 【歴史との融合】

- ・歴史的な施設を見学することが出来たり、ショッピング等々出来る場所も近場にあるのでまた来たいと思います。(女性 20代)

- ・ 歴史あるまちで、文化、産業、ショッピングなどすべてがそろっていて飽きないです。(女性 20代)
- ・ 初めて名古屋観光しに来ましたが、施設、町歩き、グルメなど様々なものがあり、特に歴史的建物や街歩きは、活気、風情があり、歩いているだけでもとても楽しめました。(男性 50代)
- ・ 市街地に歴史的な建造物もあり、素晴らしいです。(男性 30代)

#### 【町の雰囲気、住みやすさ、発展性】

- ・ 落ち着ける所だと思います。(女性 30代)
- ・ 名古屋駅の発展が楽しみです！(女性 20代)
- ・ 名古屋は楽しい街。見所一杯。食事もおいしい。魅力的な街です。(女性 60代)
- ・ 名古屋はとても住みやすく、安心して過ごせます。(女性 70代)
- ・ 名駅前のビルの建設ラッシュに驚いている。(男性 60代)
- ・ 美観も治安も良いと思われました。(女性 50代)
- ・ 都会の割には落書きのない町。(女性 50代)
- ・ 町並みは変わってもにぎわいはそのまま。(女性 60代)
- ・ 地味ながらも味わいがあるよ。(男性 50代)
- ・ 大きな田舎町です。(男性 70代)
- ・ 住みやすい。都会なのに自然が豊か！！(女性 50代)
- ・ 治安が良い。交通の利便が良い。(女性 80歳以上)
- ・ 思ってたより都会。交通は便利。(男性 40代)
- ・ 市内に各々に公園があり、大変住み良いです。(男性 60代)
- ・ 久しぶりに来ましたが、賑やかな雰囲気は変わってなくて、とても楽しめました。(男性 20代)
- ・ 活気があると感じた。(女性 60代)
- ・ にぎやかでいいと思いました。(男性 50代)
- ・ コンパクトで動きやすい。(女性 30代)
- ・ これからこの辺がどう変わっていくかが楽しみ！(男性 30代)
- ・ この辺りは静かで落ち着いてるので過ごしやすそう。(女性 50代)

#### 【名古屋グルメ】

- ・ 名古屋めし大好き。(男性 50代)
- ・ 名古屋のものはどれも美味しいものばかりなので、何度も食べたくなります。(女性 40代)
- ・ 名古屋グルメが増えるといいです。(男性 20代)
- ・ グルメ最高に素晴らしいです。どれも感動しました。(女性 70代)
- ・ 味噌煮込みうどん、手羽先を食べて、とても美味しかったです。(女性 10代)
- ・ 手羽先に感動！！グルメは何でもイケます(笑)また食べに来たいです。(男性 20代)
- ・ 味噌カツ、どて煮が予想していたより、ずっと美味しかったです。(女性 50代)
- ・ 食べ物(ひつまぶし)美味しいです！！(男性 50代)
- ・ モーニングが、よかったです。(女性 20代)
- ・ あんかけスパゲッティおいしかった！(女性 40代)
- ・ 名古屋グルメは昔から地元の人が食べているものという印象が強く、今多い新しい地元グルメにはない良さを感じます。(女性 40代)
- ・ 最初、名古屋めしのイメージが濃い！っていう曖昧なものしかありませんでしたが、実際食べるとやみつきになります！また食べに来よう思います。(女性 40代)

- ・住んでいる所とは食べ物の味付けが違うのでとても新鮮でした。観光ガイドやオススメの場所などが駅にあるとわかりやすくていいと思いました。(女性 20代)

### 【名古屋人、気質】

- ・人の良さをとてもよく感じさせて頂きました。(女性 60代)
- ・人が多かったが、声を掛けて貰えて温かさを感じた。(女性 20代)
- ・人が親切で素晴らしいです。(女性 50代)
- ・とても気持ち良く対応して下さる方が多く良かったです。(女性 50代)
- ・町の方が皆さん親切。(女性 40代)
- ・地下鉄の駅員さんが丁寧に教えてくれて、1日乗車券を買って回っています。言い方1つで心が和んだり、悲しくなったりしてしまうので、優しさを持って接して欲しいです。(女性 50代)
- ・タクシーを利用したが運転手さんがとても気さくな方で楽しい旅になりました。(女性 30代)

### 【道路・道路交通】

- ・道路が広くて走りやすい。(男性 50代)
- ・道路が整備されていて、幅が広くて綺麗。(女性 60代)
- ・名古屋市内に高速が全線完成して素晴らしく走りやすかった。(男性 40代)
- ・大阪より車が運転しやすかったです。(女性 20代)

### 【公共交通】

- ・公共交通機関（JR、地下鉄）など便利で、移動しやすいです。(女性 50代)
- ・公共交通(電車)が関西より乗り心地がよい。(男性 20代)
- ・交通の便が良く、標示がわかりやすいので迷わずに来られました。(女性 40代)
- ・交通が便利で施設もたくさんあるので楽しみながら回れます。(女性 70代)
- ・交通アクセスが便利でストレスフリー。(男性 20代)
- ・地下鉄が整備されていて、とても便利に感じた。(女性 20代)
- ・きれいで交通機関が充実していると思いました。(女性 10代)

### 【その他】

- ・非常に良かったです。初めてで不安もありましたが、今度はまた違うものを見に来ようと思います。(男性 80歳以上)
- ・日帰りで来られる所が良い。東京とは違う魅力がある。(女性 30代)
- ・地下街があり、雨でも歩きやすい。(男性 20代)
- ・大満足！！街や駅の人の多さに驚きました。初めて来ましたが、いっぱい買い物もできたので、また来たいと思います。今度は電車で来るのもいいかな！！(女性 40代)
- ・色々なものがあって楽しい。(女性 80歳以上)
- ・商店街が賑わってほしい。(男性 60代)
- ・子供も喜んでくれたので良かったです。名古屋は楽しめる場所が多くていいですね。(女性 40代)
- ・交通便利。ご飯がとっても美味しかった。街が大きくてビックリ。ホテル等の施設が素晴らしかった。(女性 30代)
- ・近くに色々あって楽しめるのでいいと思います。(男性 20代)
- ・気軽に来れる、楽しめる場所があるのはいいことです。(男性 70代)
- ・何度来ても飽きない！(男性 20代)

- ・ ドニチエコキップを是非、今の金額で続けてほしい。(男性 60代)
- ・ すごく都会で賑やか。きしめんが美味しかった。名古屋城まで行きやすかったし、わかりやすく良かった。(女性 20代)

## 不満な点、要望

### 【観光施設・観光スポット】

- ・ 名古屋港周辺にもっとお店が増えると栄えると思う。(女性 20代)
- ・ 食事出来る所が欲しい。(女性 70代)
- ・ 主な観光地としてはそこまでインパクトがあるとは思えない。(女性 20代)
- ・ 子供連れでも楽しめる所がたくさんほしい。(女性 30代)
- ・ 子供が動物に感動してるのだから、大人も感動させて欲しいなと思います。(決してつまらないとかではないです。新鮮な気持ちになれば、という意味です)(男性 40代)
- ・ 郊外からの友達が来ても行く事がないので、観光する所がほしい。(男性 60代)
- ・ 休憩場所、建物をきれいにしてほしい。椅子、テーブルたくさん置いてほしい。(女性 40代)
- ・ 休憩スペースがもっとほしいと思いました。(男性 60代)
- ・ 観光スポットらしく、食事や交通の便を良くして欲しい。(男性 70代)
- ・ 外国の方が多のに案内係がないのがもったいない。(男性 50代)
- ・ 階段が多く、コインロッカーが少ない。(女性 20代)
- ・ トイレには色々な方が使用すると思われます。必ず荷物を掛けられる所や、置き場所があると良いと思います。(女性 60代)

### 【公共交通】

- ・ 地下鉄の料金が安い。(男性 20代)
- ・ 地下鉄の左回りの意味が分からない。地下鉄のエスカレーターがない。(女性 50代)
- ・ 地下鉄の階段の段数が60~70段もあるにも関わらず、階段のみの場が多い。エスカレーター必要。(男性 60代)
- ・ 地下鉄がもう少し安ければ利用回数も増えるのに、といつも思う。(男性 30代)
- ・ 地下鉄がちょっと暗くて怖いところがあります。あと少し臭いです。(女性 10代)
- ・ 地下鉄、JR、私鉄の乗継がもう少し楽にしてほしい(バリアフリーとか)。(女性 20代)
- ・ 駅がわかりづらい。散歩するコースがない。(男性 20代)
- ・ 東区の交通(バス)の便があまりよくない。(女性 70代)
- ・ 地方から来ると名鉄と地下鉄の違いがよくわからない。(女性 20代)
- ・ メーグルの本数をもう少し増やして、徳川美術館へ行きやすくして欲しい。(女性 40代)
- ・ ホームドアをもっと増やして！この辺りは良い感じなので、もっと安心して電車に乗れるところえを増やしてほしいです。(女性 20代)
- ・ バスは外国人のは使いにくいです。(女性 50代)

### 【道路、道路交通】

- ・ 道路の渋滞を減らしてもらえるとうれしい。(女性 30代)
- ・ 道が広い。分かりにくい。(男性 30代)
- ・ 歩道のデコボコが多い。車道の下地が悪い所は何回舗装してもすぐ悪くなる。(男性 60代)
- ・ 電灯切れや道路のへこみ(?)が気になりました。(男性 70代)
- ・ 車の運転が荒い。(男性 50代)
- ・ 自転車走りにくい。道幅が狭い。駐輪場が少ない。(女性 20代)



- ・ 高速の割引があるととっても良いかも。(男性 30代)

#### 【駐車場】

- ・ 駐車場が無料の所があると良いかも。(男性 60代)
- ・ 駐車料金が高い。(男性 50代)
- ・ 観光施設の駐車場数が足りていないので増やしてほしい。(女性 20代)
- ・ イベント中において駐車場が満車である。(女性 60代)

#### 【案内、表示】

- ・ 名古屋城行き（名城公園周辺）の表示が少ないので増やして欲しい。(男性 20代)
- ・ 名古屋駅の案内板がややこしい。さがしても目的の場所の案内板がない。(女性 50代)
- ・ 名古屋駅ではコインロッカー、地下鉄への道順など案内表示が不十分と感じた。金沢に比べて町の中での地図などの案内も少ない。(男性 60代)
- ・ 地下鉄出口から上がってから、東門までピクトグラムなど、図で大きくルート表示があると分かりやすいと思います。(女性 40代)
- ・ 地下鉄の乗り換えの案内があまりよく解らない。(女性 40代)
- ・ 観光案内 もう少しわかりやすいと良いかなと思います。(女性 60代)
- ・ 夜間道路案内が暗くて見づらかった。(女性 40代)

#### 【宣伝、告知】

- ・ 名古屋城イベントをもっとわかりやすく、しりたい。(男性 80歳以上)
- ・ 名古屋を盛り上げてほしい。アピールポイントがほしい。(男性 40代)
- ・ 土日エコ切符はとても良いです。フリーペーパーで知ったのもう少しアピールがあっても良い。(女性 50代)

#### 【町の雰囲気、住みやすさ、発展性】

- ・ ポイ捨てする人が多い。(男性 20代)
- ・ 駅周辺のみ活性化している印象を受けた。(女性 60代)
- ・ 工事が多い。(男性 30代)
- ・ 昔の良さを残した町並みの保存がへた。もっと市が方針を持って金を出すとかするとよい。(男性 50代)

#### 【その他】

- ・ 観光バスを充実させて欲しい。(女性 60代)
- ・ 観光バス（1日、半日）とかがあれば利用したい。(女性 40代)
- ・ 駅のトイレ 名古屋なのに！？と思った。洋式が無く和式のみだった。足が悪いので困った。トイレトペーパーがなかった。(女性 70代)
- ・ 駅のコインロッカーが足りない。いっぱいだった。(女性 40代)
- ・ 喫煙所がもっとほしい。(男性 40代)
- ・ 夜が早い（他都市と比べての実感）。独特の歴史・武将観光（武将隊など）をもっと推進してほしい。(女性 30代)

### (3) 名古屋の観光について（自由回答より）

全国インターネット調査で名古屋の観光に対してや、魅力のある都市となるための取組みを尋ねたところ、次のような意見があげられた。

#### 【観光地としての魅力】

- ・名古屋は観光都市と言うよりは産業都市と認識している。(男性 70代)
- ・名古屋は観光と言うよりも経済中心の都市というイメージが強い。経済が強い都市なので企業などの見学ツアーがあると良いと思う。(女性 70代)
- ・魅力のある観光資源が足りない。食べ物が美味しいイメージがない。(男性 50代)
- ・東京なら原宿や市場、大阪なら心斎橋など観光施設というより大須みたいに地域の人が集まる所又、街の統一感・こだわり。(女性 50代)
- ・東京から近いのに、関西に行く時に、いつも素通りしているのが名古屋なので、一度ゆっくり訪問してみたいと思っている。(女性 60代)
- ・工業地帯なので、観光地としては遊園地などの遊ぶところや文化的なところは少ないかなと思いますが、ノリタケの森はすごく良かったので、ものづくりの過程に親しめるような施設が行きやすい場所にあればいいのではないかなと思います。(女性 30代)
- ・近すぎて、観光目的の一つである日常乖離を味わう事が出来ない。(男性 60代)
- ・京都などと違って世界的な知名度も魅力もない街なので、周辺の飛騨・高山・白川郷、伊勢、南紀などの観光地への中継地点として、観光客が宿泊をしてでも訪問したい観光拠点が欲しい。人工的なレジャー施設よりも既存の歴史的な史跡や自然を土台に活用して考案すべきと思う。(男性 50代)
- ・観光都市としては大きすぎ、文化都市としては東京大阪より弱い。それを意識して弱い部分を伸ばすのか魅力ある部分をごり押し気味でアピールするのか、ビジョンを持って取り組めばよいのでは？(男性 40代)
- ・観光資源も多く、トヨタなどの大企業も多いし、サッカーのチームもある大都市で、旅行するには遠くないのに行ったことがなく、通り過ぎてしまうのは、なぜだろうと考えてみた。一つ目は、宣伝不足。二つ目は、これはという突出した場所がない。名古屋城を中心にして昔の趣を感じさせる町を作ってしまう。トヨタなどを中心にして、最先端の町を作ってしまう。こんな対照的な2つの町がある名古屋ならば、行ってみたいと思う。(女性 40代)
- ・お伊勢参りに行く中継点でしかない。正直なところ。(男性 50代)
- ・あまり観光地としての認識がなかったので、ドラマなどテレビなどをつうじて名古屋の観光地をめにする、興味がでるかもしれない。(女性 50代)

#### 【道路交通・公共交通・アクセス】

- ・交通の便利さが必要。特にバス。(男性 30代)
- ・交通がもっと便利になればいい。(女性 60代)
- ・路上駐車対策 クルマで出かけるので渋滞しやすい。(女性 70代)
- ・道路が広くて走りやすかったが、中央の車線から右折があったりして、他の地域の人には理解しがたい。高速道路（都市高速）の行き先が文字だけの表示で分かりにくい。是非、道路情報を分かりやすくして欲しい。(男性 40代)
- ・渋滞の緩和。(女性 30代)
- ・地下鉄の料金を安くしてほしい。家族パス等があったら良い。(男性 50代)
- ・地下鉄によく乗ったが、バリアフリーされていないし階段も多いので、足腰に不安のある人やベビーカーは大変だと思う。(女性 40代)

- ・ 地下鉄など、交通案内をわかりやすく。(女性 70代)
- ・ JR の駅と名鉄や近鉄の私鉄駅、地下鉄駅の距離をもっと縮めて乗換をしやすくしてほしい。そう  
なれば 動きやすくなる。(男性 60代)
- ・ 新幹線の往復割引があればいい。(女性 60代)
- ・ 名所までの移動が不便。(女性 50代)

#### 【案内】

- ・ 名古屋城だけでなく城跡や移築建造物などの場所や行き方を詳しくわかるような案内があればあ  
りがたい。(男性 60代)
- ・ 名古屋駅内が意外とわかりにくいので、改善してほしい。(男性 50代)
- ・ 栄や名古屋駅周辺など、広すぎて何がどこにあるかが分かりにくく、覚えられなかったので、案内  
板などを増やしたり、無料のマップを配るなどしてくれるといいと思いました。(女性 20代)
- ・ 案内標識を整備すると、訪れやすい。高速道路を下りてからの詳細な案内があれば便利だと思う。  
(女性 40代)
- ・ 大きな街には案内板が不親切だと思う。お年寄りでもわかるような場所に案内板を設置して  
ほしいです。(女性 30代)
- ・ もう少しわかりやすいところに案内所や観光マップなどがあると良いと思います。(女性 20代)

#### 【観光施設】

- ・ 名古屋城の周りが城下町のような雰囲気があったらいいなと思う。熱田神宮の周りも、伊勢神宮  
のおかげ横丁みたいなのがればいいと思う。(女性 30代)
- ・ 名古屋城が本丸御殿だけでなく、お城も昔のようになったらとっても魅力的だと思う。  
(女性 40代)
- ・ 名古屋城、東山動植物園はとてもよかった。名古屋城の工事が終わったらまた訪れたい。  
(男性 40代)
- ・ 科学館のプラネタリウムは他県にはない、とても面白いスポットです。大人だけでも、子供連れ  
でも楽しめる。(女性 20代)
- ・ 名古屋には有名なテーマパークがないのでどうしても、学生の集団での旅行などでは候補にあがら  
ない傾向があります。もっと学生たちがきやすいようなアピールや施設をつくることがよいと思いま  
す。(男性 20代)
- ・ 名古屋には一度友達と旅行に訪れたことがあり、上品な街で食べ物も美味しくとてもいい印象でし  
た。今後名古屋が取り組むべきことだとしたら、東京ならディズニーランド、大阪ならUSJとい  
うように、話題になるテーマパークを造るべきではないかなと思います。(女性 20代)
- ・ ひつまぶしなどのおいしい食の店のテーマパーク (男性 30代)
- ・ ディズニーランド、USJに対抗できるぐらいのテーマパークでもあれば、中途半端な都会というイ  
メージが払拭されると思う。(男性 40代)

#### 【観光ルート・ツアー】

- ・ 歴史や産業などテーマごとに効率よくめぐれるコースを案内してほしい。(女性 40代)
- ・ 名古屋城をメインとし、名古屋の文化・歴史・食事等を総合的にツアーで廻り、名古屋を勉強して  
触れ合ってもらえるような取り組み。(女性 60代)
- ・ 名古屋近くのものづくりの企業の技術を見て回れるツアーがあれば 参加したい。(男性 30代)
- ・ 名古屋に関しては食べ歩きをしてみたい。名古屋の方言を聞いてみたい。そんなツアーがいいかも。  
(女性 50代)

- ・日本の古城の名古屋城をアピールや独特の味付けの味噌カツを食べさせる等のツアーコースの設定は如何でしょうか？（女性 70代）
- ・東京のはとバスのようなツアーがあれば利用しやすい。（女性 50代）
- ・世界に誇る地元企業をもっと活用して、工業の町をアピールして、工場見学ツアーなど企画してほしい。（男性 40代）
- ・新幹線を使えば東京から便利なので、一つ二つの主要な観光スポットと美味しい名物を食べて日帰りできる、魅力的なツアーか詳しいガイドブックがあったら良いな。（女性 50代）
- ・近未来と伝統の観光地をそれぞれ線で結ぶツアーがあれば（バス巡りなど）いいと思う。（女性 40代）
- ・いくつかの観光ルートを作成し、それが魅力的なものであること、目的別にルートが設定されていること。また、それに合わせて色々なサービスやグルメ等が用意されていること。（男性 60代）

### 【グルメ】

- ・名古屋飯大好きですが、No.1かNo.2の有名どころしかわからない。地元の人が行くような店を知りたいです。（男性 40代）
- ・名古屋人しか知らないB級グルメ（確かスパゲッティのようなものがあつたかと・・・）そういうものをPRした方が良い。（男性 30代）
- ・名古屋めしがもっと色々な場所で食べられるといい。（女性 30代）
- ・名古屋の喫茶店モーニングは有名なので、どんどん他地域に進出して興味を引いてくれたらいいと思う。（女性 30代）
- ・名古屋のグルメは本当に美味しい。ただ種類が多すぎてなかなか全部堪能出来ない為、名古屋めし？の複合施設があつたらなと思います。（女性 30代）
- ・名古屋のグルメが一カ所で楽しめる様な名物店が集まったグルメスポットを作って欲しい。（男性 30代）
- ・馴染みのないおもしろい食べ物がたくさんあるのでそういったものをもっとアピールして欲しい。（女性 50代）
- ・食べ歩く旅行が好きなので、名古屋名物を少しずつ堪能できるようなグルメパスポートを販売していたら購入したいと思う。（女性 20代）
- ・食べ物の美味しさがずば抜けていると思うので、もっとアピールしていいと思います。（男性 40代）
- ・やはり、食べ物が楽しみである。食グルメマップ等の充実をお願いします。（男性 50代）
- ・グルメの旅を企画してほしい。（女性 30代）

### 【景観】

- ・名古屋駅がきれいになってイイと思う。繁華街と離れてるのが不便。町全体が古臭い。（女性 40代）
- ・町などにごみが落ちていない綺麗なところがいい。（女性 50代）
- ・清潔感などの観点で非常に心地よい場所が多いように感じる。（男性 40代）
- ・繁華街の美化に力を入れてほしい。（男性 20代）
- ・車で行くことが多いが、スピードを出し過ぎの車が多く、不慣れな道は、走りづらい。テレビ塔と名古屋城のあたりは、観光地らしく整備されていると思うが、街全体の印象は、震災後、統一感のない建築がなされた感じで、殺風景な印象を受ける。（男性 60代）

### 【親しみやすさ】

- ・名古屋は親しみにくいから特に好きな街ではない ごちゃごちゃしている。(女性 70代)
- ・名古屋は、ご飯や住んでいる人の雰囲気、人情などが良いイメージがあるので、訪ねてみたい所です。ご飯の美味しいお店の紹介や、住んでいる人と接することの出来る(商店街や宿)(お祭り)などをもっと知ることが出来たら、観光もより楽しめるのではと思います。(女性 60代)
- ・名古屋の方が、おもてなし精神を出してほしいです。(女性 40代)
- ・閉鎖的なイメージをなくす。(男性 30代)
- ・排他的なイメージがあるので、もっとフレンドリーなイメージがあればいいと思う。(女性 40代)
- ・地元の人がもう少し親切だったらいいな。(女性 30代)
- ・市民全体の観光意識が低い気がします。つまり、サービス精神が希薄だと感じます。(女性 60代)
- ・以前の愛知万博の折は親しみやすく、感じが良かった印象があったが、最近訪れた印象はやや醒めた都会の人たちと言う感じがした。(男性 70代)
- ・よそ者をあまり受け入れようとしないところを改善してほしい。(男性 20代)
- ・高校生の頃から大須が大好きで、今も3ヶ月に1回は大須に訪れています。栄もよく行くのですが駐車場代も高く、街や人に対して冷たいイメージが強いのももう少し暖かい雰囲気になってくれたら嬉しいです。(女性 20代)

### 【宿泊施設】

- ・手頃な価格の宿泊施設が増えると利用しやすい。(女性 60代)
- ・ホテルが古く数が少ないのももう少し充実してほしい。(女性 40代)
- ・宿泊施設が日本の何処へ行っても同じようなものなので、名古屋らしさをそなえた、しかし低価格で泊まれる旅館。(女性 60代)

### 【情報発信】

- ・名古屋城を含め歴史の多い観光スポットが多くあり、食べ物に関しても皆がまた何回も食べたいような名物が数多くあるため、積極的に電車の広告などで誘致活動を大に行えばよいと思います。(男性 20代)
- ・名古屋城の本丸御殿を復元することを、もっとアピールして欲しい。このアンケートで初めて知ったから。(女性 40代)
- ・名古屋は魅力のある独特な雰囲気があると思うので、もっと観光のアピールをしてほしい。コマースナルとかで、名古屋の魅力ある観光名所が紹介されるともっと行きたいと思うと思います。アンケート内にあった観光名所を殆ど知らなかったのも、県外の人にも伝わるよう広告したらいいのと思います。(女性 30代)
- ・名古屋に訪れなくなった時、インターネットで調べて行くので、検索しやすいコーナーがあれば有難い。(男性 70代)
- ・名古屋と聞いてすぐどこの県にあるのか、ピンときませんでした！離れている沖縄県では名古屋の観光地はあまり紹介されてるテレビを見たことないので、もっと、宣伝した方がいいと思う。(女性 20代)
- ・魅力はいっぱいある街だと思うが、全国区になっていないと思う。名古屋に来た人が名古屋のいいところをネットで紹介してくれるような、クチコミサイトなどあればいいのでは？ 地元の人がいいと思うところを紹介もできるから。(女性 70代)
- ・魅力が無い理由ではなく、どの都市を訪れても「らしさ」を感じる事が少ないと思う。名古屋らしさは名古屋の人でないと考えつかないと思うので、名古屋の人にご当地自慢をして足を運んでもらう様にアピールしてもらえれば訪問する人は増えると思う。(男性 40代)

- ・味噌カツや、味噌おでん等の食べ物は有名なものが多いが、名古屋城以外の観光名所がぼっと出てこないで、その他の観光名所のPRをもっとした方が良いと思います。(女性 20代)
- ・有名人をもっと観光大使に起用してPRを積極的に。(男性 60代)
- ・宣伝の仕方が少ないと思います、関東圏ではほとんど流れてきていません。(男性 60代)
- ・新幹線を利用すると短時間で訪れることができる。たくさんの観光地があり飽きることがない。もっともっとテレビや雑誌などにアピールするべきだ。メディアの活用を図りたい。(女性 60代)
- ・情報を積極的に発信しなければほかの地域の人には良さがわからないと思う。(女性 50代)
- ・今まで知らなかったが、アンケートで観光地をまわるバスの事を知った。とても良い取り組みだと思えるので、もっと広めるために広報活動に力を入れればよいと思う。(男性 30代)
- ・九州に住んでいてあまりなじみのない都市なので、もっとテレビなどでCMしたり、交通手段などの紹介などをやってほしいと思う。(女性 30代)
- ・観光協会によるCM、ツアー等を繰り返し宣伝し知名度を高めること。(男性 70代)
- ・なごやめしなど、街全体のイメージは伝わっているが、個々の施設の情報発信が少ないと思う。(男性 40代)
- ・テレビやインターネットを通じてもっとアピールするべきだと思う。東京や大阪などに比べて情報が少ないと感じる。(男性 30代)

#### 【他との連携】

- ・名古屋駅から鉄道で明治村に行ったことがあるが、ここはかなり魅力があるので名古屋の観光資源に入れて、アピールした方がよいと思う。(女性 70代)
- ・名古屋のグルメはとても美味しくて印象に残った。ドラゴンズやグランパスなどの有名スポーツチームや、SKE48などのアイドルなどと、たくさんのコラボイベントがあれば是非名古屋に足を運びたいと思う。(男性 20代)
- ・大阪と東京の間で、観光的には今一つ魅力に欠ける。大阪と共同して東京に対抗してみてもどうか。(男性 70代)
- ・周辺地域と併せた観光プランの提案・情報発信。(男性 30代)
- ・距離の近い大阪とセットにして観光比べ、食べ比べなど海外向けにアピールすればどうか？(男性 50代)
- ・家族で楽しめる場所を知りたい。比較的遠い県なので、他県とも連携をはかりながら、中部地方の魅力を伝えてもらいたい。(男性 20代)
- ・ちょっと目立たない。愛知と岐阜(中津川、恵那、ほか)と連携して観光をPRしたら。(男性 60代)
- ・グルメには関心があるが、他に観光と言われてもあまり思いつかない。隣接する他県と協力し、2～3都市への観光としてアピールするのはいかがでしょうか？(女性 50代)

#### 【治安】

- ・犯罪をなくす。治安を良くする。(女性 50代)
- ・夜の治安を良くしてほしい。(男性 50代)
- ・何となく名古屋は治安が怖い場所、というイメージがあるので、こういう風に安心だという宣伝があるとありがたいです。(女性 60代)
- ・繁華街の深夜の治安の強化。(男性 30代)
- ・SKE48の活躍で少し興味が湧いたが、栄の評判があまり良くなく(治安、お店の充実さ等)特に行ってみようという気にはならない。(女性 10代)

### 【駐車場】

- ・ 駐車場の増設整備。(男性 70代)
- ・ もっと駐車場を整備した方が良い。現在は数が少ない上に料金が高い。(男性 50代)
- ・ 各観光設備での駐車場の整備。(男性 60代)
- ・ 名古屋には、車で行く事が多いので、駐車場を増やして欲しい事、駐車料金を安くして欲しいです。(女性 40代)

### 【店舗・商店街】

- ・ 魅力的な商店街を増やしてほしい。(男性 40代)
- ・ 以前名古屋を訪れた時に商店街の閉店が早いのにビックリした。(女性 60代)
- ・ 年末にいく事が多くて、どこも閉店するのが早いです。(女性 50代)
- ・ 駅前の飲食街の営業時間を延ばしてもらえると、夜行バス利用時にとても助かります。(女性 20代)

### 【独自性】

- ・ 名古屋独自の生活文化がありそう。名古屋人の考え知りたい。結婚式が派手とか、行事が好きとか。(女性 70代)
- ・ 名古屋は大阪と東京の通過地点というイメージが強くありますので、途中下車してでも観光したいという気持ちにさせるような強い印象づくりが必要だと思います。個人的には、ノーベル賞受賞者の出身大学として有名な名古屋大学の教育環境や講演等に関心があります。知的好奇心を充足するような独特な都市づくりはその他の都市と異なるカラーを出せると思います。(女性 60代)
- ・ 名古屋は食べ物がおいしいし、方言が可愛い感じに聞こえます。(女性 40代)
- ・ 名古屋の方言はきいてて面白く親しみを感じるので、観光には方言でおもてなしして欲しいです。(女性 70代)
- ・ 名古屋の食がけっこう独特なので食に興味がある。喫茶店を訪れてみたい。飲食店や方言から興味を持ってもらったらいいと思う。(女性 60代)
- ・ 名古屋には特殊な文化があるような思いがある。小説「そばときしめん」(清水義範)のせいかな？(女性 70代)
- ・ 名古屋には大阪とはまた違った、良い意味での派手さが売りというイメージがあります 洗練し過ぎず、暖かみや人情のある街として独自のセンスでのPRを期待しています。(女性 20代)
- ・ 名古屋にしかないものをもっとアピールしてほしい。食べ物も都内にいけば食べられそう。(男性 30代)
- ・ 名古屋にある珍スポットや夜のディープスポットをもっと売り出したらいいと思う。(女性 30代)
- ・ 東京や大阪との違いを感じさせる街づくり。(男性 40代)
- ・ 東京・京都の中間で、どちらにも属さない独自の文化があることを強調してほしい。(女性 60代)
- ・ 地域の文化や食などに関心があるので、そのへんを強化してほしい。(男性 40代)
- ・ 一般的ではない(と思われる)笑えるような食文化も話のタネに是非体験したいものです。(女性 70代)
- ・ 以前大阪城を見に行ったとき、地元の小学生が「いつみても大阪城はええなあ」と言っていた。やはり名古屋も名古屋城をより魅力あふれる名古屋のシンボルにするのが良いと思う。そのために計画中の「金シャチ横丁」は他の町の武家屋敷のような整然としたものでなく、庶民の生活感あふれるものにするのが良いと思う。名古屋名物の味噌カツや手羽先を食べながら歩けるような横丁を作ったら、何度でも訪れたいこと請け合いである。(女性 60代)

- ・あまり名古屋弁を売りにしない方がいいと思う。施設など、良いところはあるのにエビフライだの、だぎゃ〜、などあまりにも見かけるとうんざりする。(女性 20代)

### 【物産展等イベントの開催】

- ・名古屋は、大阪からも東京からも利便がいい。ご飯も美味しく魅力がある。グルメに力を入れたイベントなどを開催したら東西からの集客もあるのでは。(女性 30代)
- ・美味しい食べ物があるので、グルメの祭典などを有名な観光地で催し、全国から人が集めればよいのではないのでしょうか。(女性 50代)
- ・グルメ関連を集めたマップ集 ハーフサイズ等の量、低価格での提供、スタンプラリー等。(男性 40代)
- ・北海道フェアのように名古屋フェアを実施し、身近に感じてもらうとよいと思う。(女性 40代)
- ・都内で物産展を開いてほしい。(男性 20代)
- ・全国で名古屋物産展などを開催してもらったら、もっと名古屋に行きたくなると思う。(女性 20代)
- ・歴史を巡るイベントの実施。(女性 60代)
- ・大阪や東京ではないこどもむけのイベントがあれば多少遠くても行くと思う。子供のころは親も若いし学校のしがらみもなくフットワークが軽いので。(女性 30代)
- ・自然と触れ合うようなイベントが少ないように思えるので、増やした方がいいと思う。(男性 20代)
- ・プロジェクションマッピングなど流行を取り入れたイベントがあるといい。(男性 20代)
- ・スタンプラリーなんかがあれば面白いかも知れない。有効期限は長くして、10か所回れば1か所の入場料が無料 又は、ランチブックのような名古屋ブックを出すのもいい。(女性 50代)

### 【マナー】

- ・運転マナーが悪すぎるので、県外者は近寄りたくないイメージが強い。(男性 30代)
- ・県民のマナーの向上を図り交通道徳を良くすること。(男性 70代)
- ・自動車の交通マナーの向上。(男性 40代)
- ・運転マナーがわるい。(女性 30代)
- ・運転マナーの改善。(男性 20代)
- ・自動車の運転が乱暴な人が多いという印象。交通マナーを高めて欲しい。(男性 50代)

### 【歴史・文化】

- ・貴重な歴史資源を大切に保全して欲しいと持っています。(男性 70代)
- ・名古屋のイメージは雑多なビル群で、憩いとか安らぎの雰囲気がない。しかし戦国武将の出生地という一大メリットがあるので、これを最大限に活かしていくしかない。(男性 70代)
- ・豊臣とゆかりが深い地 歴史を満喫したい。(女性 40代)
- ・歴史的町並みの再現など文化的な景観があれば魅力を感じます。(女性 60代)
- ・古い町並み(昔の街道沿い)の保全やアピール。(男性 50代)
- ・歴史・風俗・食文化を周知させること。(男性 30代)
- ・文化財をセットにした観光で外国人に来てもらう。(女性 60代)
- ・やはり名古屋城を始めとして伝統文化の残る土地なので、その部分を強く推し進めて強化してほしい。(男性 30代)
- ・文化をリーズナブルに感じれること。(女性 30代)



## 【その他】

- ・ 本当の意味で日本の中心だと思うので、余り華美にならずほど良く保って欲しい。(女性 70代)
- ・ 魅力満載の場所なので、現状で充分魅力的だと思います。(女性 60代)
- ・ 言葉がウルサイ、とか、独特の個性的な食文化、とか、何となく、あまり、いいイメージが無い。  
(男性 50代)
- ・ 観光サービスに対しての意識が低いので、市民全体の意識改革が必要だと思います。(男性 40代)
- ・ 今でも十分に観光場所はたくさんあるし、食べ物もおいしいし 何度でも訪れたい場所です。  
(女性 50代)
- ・ 十分に魅力的な街だと思う。名古屋らしさはしっかりと残してほしい。(女性 40代)
- ・ 安易にアニメの聖地にしないこと。(男性 10代)
- ・ 結構面白い街だと思う。(男性 30代)
- ・ アクセスや市内観光の便も良い。観光施設が充実しており迷うほど。大都市ながらも観光しやすい街で最高です。今一番訪れたい観光地です。私的には文句のつけようがないです。(男性 30代)
- ・ 故郷なので、発展して行ってほしい反面、今ののんびりした名古屋の感を壊したくないので、今のままでも十分だと思います。(女性 30代)
- ・ フィギュアスケートがすきです。名古屋は有名な選手を多く育ててきた土地だと聞いているので、フィギュアスケートを観光資源とした展開があれば、もっと行ってみたいようになるように感じました。  
(女性 20代)

#### (4) 名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成25年度の訂正）

平成25年度における推計値及び図表を修正したため、関連ページを以下に掲載する。修正箇所は下線で示した。

### 名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成25年度 訂正版）

## 1. 観光統計について

### (2) 入込客数

#### ①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成25年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約6,516万人であり、平成24年度と比較して約1,065万人増加（対前年度比率119.5%）した。

行・祭事の入込客延べ人数は減少しているが、平成25年5月の名古屋城本丸御殿第一期公開開始、アジアゾウ舎がリニューアルした東山動植物園等が好評だったこと、「世界コスプレサミット」、「あいちトリエンナーレ2013」等イベントの開催による入込客数が増加したことなどが、主な増加の要因と思われる。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(25) 21,187,666	(26) 20,983,337	(26) 21,478,478	(26) 22,625,801
	産業観光	(7) 1,617,800	(6) 2,509,590	(6) 2,199,456	(6) 2,155,078
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(16) 11,350,923	(16) 11,573,957	(16) 11,470,269	(16) 11,502,060
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(15) 7,943,392	(15) 7,003,732	(16) 7,873,300	(17) 6,610,033
	イベント	(22) 11,555,221	(21) 12,800,144	(22) 11,492,527	(21) 22,268,244
計		(85) 53,655,002	(84) 54,870,760	(86) 54,514,030	(86) 65,161,216

注：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

## ②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 25 年度の観光入込客実人数は 3,580 万人であり、平成 24 年度と比較して 86 万人増加（対前年度比率 102.5%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
観光入込客延べ人数（人）	53,655,002	54,870,760	54,514,030	65,161,216
平均訪問観光地点数	1.52	1.65	1.56	1.82
観光入込客実人数（万人）	3,530 万人	3,326 万人	3,494 万人	3,580 万人

## ③居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	40.5%	59.5%
観光入込客実人数	3,580 万人	1,450 万人	2,130 万人

## ④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
延べ宿泊客数（人）	5,960,567	6,674,019	6,950,791	<u>7,509,115</u>
宿泊客実人数（人）	4,608,978	5,192,149	5,796,736	<u>5,979,400</u>
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.29	1.29	1.20	1.26

### ⑤居住地別宿泊客実人数の推計

宿泊客の現状調査の回答により、宿泊客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	6.9%	93.1%
宿泊客実人数	598 万人	41 万人	557 万人

### ⑥居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 25 年度の名古屋市内客は 1,450 万人であり、平成 24 年度と比較して 300 万人増加した。また、名古屋市外客は 2,130 万人であり、平成 24 年度と比較して 214 万人減少した。

また、平成 25 年度の宿泊客実人数は 598 万人であり、前年度と比較して 18 万人増加した。平成 25 年度の日帰り客実人数は 2,982 万人であり、前年度と比較して 68 万人増加した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
観光入込客実人数	計	3,530 万人	3,326 万人	3,494 万人	3,580 万人
	名古屋市内客	1,405 万人	1,201 万人	1,150 万人	1,450 万人
	名古屋市外客	2,125 万人	2,125 万人	2,344 万人	2,130 万人
宿泊客実人数	計	461 万人	519 万人	580 万人	598 万人
	名古屋市内客	33 万人	25 万人	48 万人	41 万人
	名古屋市外客	428 万人	494 万人	532 万人	557 万人
日帰り客実人数	計	3,069 万人	2,807 万人	2,914 万人	2,982 万人
	名古屋市内客	1,372 万人	1,176 万人	1,102 万人	1,409 万人
	名古屋市外客	1,697 万人	1,631 万人	1,812 万人	1,573 万人

### (3) 観光消費額

#### ①観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、観光総消費額を推計した。平成 25 年度の名古屋市内の観光総消費額は 3,146 億円であり、平成 24 年度と比較して 251 億円増加している。

宿泊客の総消費額は 1,592 億円であり、前年度と比較して 88 億円増加している。

日帰り客の総消費額について居住地別にみると、前年度と比較して、名古屋市内は 185 億円増加、名古屋市外は 22 億円減少している。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 24 年度	平成 25 年度
宿泊客実人数		580 万人	<u>598</u> 万人
日帰り客実人数	名古屋市内客	1,102 万人	<u>1,409</u> 万人
	名古屋市外客	1,812 万人	<u>1,573</u> 万人
宿泊客一人あたり消費額		25,946 円	26,620 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内客	2,830 円	3,534 円
	名古屋市外客	5,959 円	6,719 円
宿泊客総消費額		1,504 億円	<u>1,592</u> 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内客	312 億円	497 億円
	名古屋市外客	1,079 億円	<u>1,057</u> 億円
名古屋市内観光総消費額		2,895 億円	<u>3,146</u> 億円

## ②観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

平成 24 年度と比べ、食事費は 28 億円、交通費は 110 億円、土産費は 68 億円、宿泊費は 134 億円、入場料は 16 億円、それぞれ増加し、その他消費額が 105 億円減少している。

総消費額は平成 24 年度と比較して、251 億円増加している。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度
食事費消費額	836 億円	<u>864</u> 億円
交通費消費額	378 億円	488 億円
土産費消費額	518 億円	<u>586</u> 億円
宿泊費消費額	469 億円	<u>603</u> 億円
入場料消費額	330 億円	<u>346</u> 億円
その他消費額	364 億円	<u>259</u> 億円
総消費額	2,895 億円	<u>3,146</u> 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外居住
食事費	6,044 円	1,327 円	2,007 円
交通費	3,090 円	571 円	1,417 円
土産費	4,563 円	463 円	1,577 円
宿泊費	10,078 円		
入場料	1,210 円	725 円	1,096 円
その他	1,635 円	448 円	622 円
合計	26,620 円	3,534 円	6,719 円

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外居住	
食事費総消費額	<u>361</u> 億円	187 億円	<u>316</u> 億円	<u>864</u> 億円
交通費総消費額	<u>185</u> 億円	80 億円	<u>223</u> 億円	488 億円
土産費総消費額	<u>273</u> 億円	65 億円	<u>248</u> 億円	<u>586</u> 億円
宿泊費総消費額	<u>603</u> 億円			<u>603</u> 億円
入場料総消費額	<u>72</u> 億円	102 億円	172 億円	<u>346</u> 億円
その他総消費額	<u>98</u> 億円	63 億円	98 億円	<u>259</u> 億円
観光総消費額	<u>1,592</u> 億円	497 億円	<u>1,057</u> 億円	<u>3,146</u> 億円

## 2-3 宿泊施設調査

### (1) 調査の概要

#### ①調査の目的

市内宿泊施設の概要ならびに宿泊者数を把握することにより、今後の本市観光推進のための基礎資料とすることを目的に、平成 25 年度における市内宿泊施設の現況を調査した。

#### ②調査対象・方法

平成 24 年度調査により把握した市内宿泊施設から廃止した施設を除き、169 施設を今回の調査対象とした。

なお、旅館業法にもとづく許可施設のうち、簡易宿所、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設や宿泊客を受け入れていない料理旅館などを除いたものを調査対象とした。

調査にあたっては、対象施設に対して調査票を郵送し、回収した上で電話による補足調査を行った。

#### ③調査項目（巻末調査票参照）

- 施設のタイプ（ホテル、旅館、簡易宿所、下宿）
- タイプ別（和・洋室）の室数及び定員数
- 平成 25 年度の宿泊客数（実人数、延べ人数、外国人宿泊客を含む）
- 国別、宿泊客数
- 修学旅行団体の受入内容

#### ④調査時期及び回答状況

- 調査時期：平成 26 年 7 月～8 月
- 回答状況：調査対象数 169 施設  
有効回答数 166 施設  
(全問回答 52 施設、準全問回答 48 施設、部分回答 66 施設)  
廃休業数 3 施設  
新規開業数 0 施設

## (2) 宿泊施設の現状

### ①回答状況及び集計方法

今回の調査対象とした 169 施設のうち、調査で廃休業などが判明した 3 施設を除く 166 施設を有効回答数とした。

有効回答数のうち、全問回答が得られたのは 52 施設（対有効回答数比 31.3%）、準全問回答（宿泊者数の回答有り）が得られたのは 48 施設（対有効回答数比 28.9%）、部分回答が得られたのは 66 施設（対有効回答数比 39.8%）であった。

施設のタイプについては、以下の分類区分を基本とした。

- ・登録ホテル：国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル
- ・ホテル：洋室の収容人数もしくは室数のいずれかが全体の過半数を占める施設で、上記登録ホテルを除いた施設
- ・旅館：和室の収容人数並びに室数が全体の過半数を占める施設

また、ホテルについて、室数（規模）をもとに以下の区分を行った。

- ・ホテル：200 室以上、100 室以上 200 室未満、50 室以上 100 室未満、50 室未満の 4 区分

表 2-3-1 回答状況（タイプ、規模別）

施設規模	回答状況	有効回答数				廃休業等 (施設)	新規開業 (施設)	対象施設数 (施設)
		計 (施設)	全問回答 (施設)	準全問回答 (施設)	部分回答 (施設)			
登録ホテル		16	9	4	3	0	(0)	16
ホテル (登録 ホテル を除く)	200 室以上	32	7	15	10	0	(0)	32
	100 室以上 200 室未満	37	10	10	17	0	(0)	37
	50 室以上 100 室未満	28	11	9	8	0	(0)	28
	50 室未満	15	3	4	8	0	(0)	15
計		112	31	38	43	0	(0)	112
旅館		38	12	6	20	3	(0)	41
全体		166	52	48	66	3	(0)	169
回収率：(%)		98.2	-	-	-	1.8	-	100.0
回答状況：(%)		100.0	31.3	28.9	39.8	-	0.0	100.0

注：新規開業は内数値のため、( ) となっている。



## ②施設の室数及び収容人数

今回の調査結果から得られた施設分類別の宿泊施設数、室数、収容人数は下表の通りである。

施設数では、登録ホテルが16施設、登録ホテルを除くホテルは112施設、旅館は38施設となっている。また、室数の合計は21,549室、収容人数の合計は30,460人で、昨年度調査時点より合計施設数では3施設、部屋数では77室、収容人数では269人の減少となった。

表 2-3-2 市内宿泊施設の規模別にみた室数及び収容人数（タイプ、規模別）

施設規模	室・人員	回答数 (施設)	和 室		洋 室		合 計	
			室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル		16	17	57	4,881	7,632	4,898	7,689
ホテル (登録ホテルを除く)	200室以上	32	13	51	8,257	10,280	8,270	10,331
	100室以上 200室未満	37	9	26	5,182	7,039	5,191	7,065
	50室以上 100室未満	28	27	91	2,095	2,900	2,122	2,991
	50室未満	15	47	133	390	510	437	643
	計	112	96	301	15,924	20,729	16,020	21,030
旅館		38	540	1,595	91	146	631	1,741
全 体		166	653	1,953	20,896	28,507	21,549	30,460

表 2-3-3 市内宿泊施設の収容能力の推移

施設区分	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数
登録ホテル	5,952	9,064	4,918	7,688	4,902	7,615	4,896	7,769	4,898	7,689
ホ テ ル	15,006	18,678	15,501	19,948	16,037	20,833	16,020	20,959	16,020	21,030
旅 館	759	2,120	683	1,956	711	1,997	710	2,001	631	1,741
全 体	21,717	29,862	21,102	29,592	21,650	30,445	21,626	30,729	21,549	30,460
施 設 数	178		167		170		169		166	

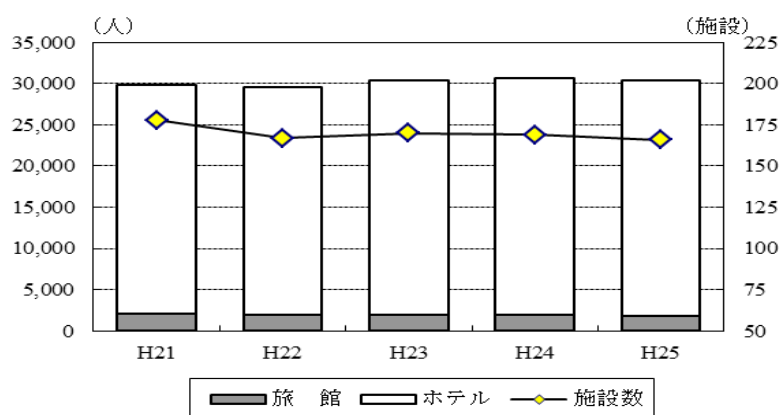


図 2-3-1 市内ホテル・旅館収容人数及び施設数推移

### (3) 宿泊客数

#### ①年間宿泊者数

##### a. 宿泊者数

平成 25 年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 751 万人泊であった。

タイプ別にみると、登録ホテルが約 189 万人泊、ホテル（登録ホテルを除く）が約 545 万人泊、旅館が約 17 万人泊である。

また、全施設の年間総実人数は約 598 万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約 1.3 日と推計される。

外国人宿泊者については、年間総延べ宿泊者数は約 84 万人泊、実人数は約 57 万人である。実人数を参照すると宿泊者の約 9.5% が外国人で構成されており、一人あたりの宿泊日数は約 1.5 日と推計される。

また、外国人宿泊者の宿泊日数を施設別にみると、旅館が宿泊者一人あたりの宿泊数 2.7 泊と最も多く、登録ホテルは 1.8 泊、ホテル（登録ホテルを除く）は 1.2 泊となっている。

表 2-3-4 年間宿泊者数（推計値）

		全施設の年間 総延べ宿泊者数	うち全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者数	全施設の 年間総実人数	うち全施設の 年間外国人 総実人数
		(人泊)	(人泊)	(人)	(人)
登録ホテル		<u>1,885,452</u>	<u>399,716</u>	<u>1,423,516</u>	<u>217,046</u>
ホテル (登録ホテルを 除く)	200 室以上	2,842,963	321,255	2,530,237	265,357
	100 室以上 200 室未満	1,828,714	82,292	1,292,901	64,023
	50 室以上 100 室未満	689,090	27,564	571,945	20,563
	50 室未満	93,198	5,499	61,697	1,826
計		5,453,965	436,610	4,456,780	351,769
旅館		<u>169,698</u>	<u>3,224</u>	<u>99,104</u>	<u>1,215</u>
全 体		<u>7,509,115</u>	<u>839,550</u>	<u>5,979,400</u>	<u>570,030</u>

b. 宿泊者数の推移

宿泊者数の過去 5 年間の推移をみると、年間総実人数、年間総延べ宿泊者数ともに平成 21 年度から増加傾向にあり、昨年度より年間総実人数は約 18 万人、年間総延べ宿泊者数は約 56 万人それぞれ増加している。

年間定員稼働率についても、平成 21 年度以降増加傾向にあり、昨年度より 4.6 ポイント増加している。

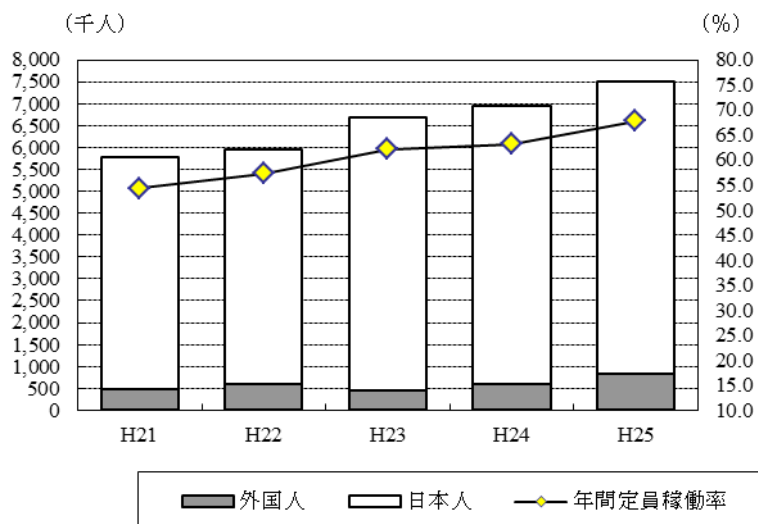
外国人宿泊者数については、昨年度に比べ総実人数は約 9 万人増加、総延べ宿泊者数は約 23 万人増加している。

表 2-3-5 年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移（推計値）

区 分	年 度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	年間総実人数（人）		4,604,248	4,608,978	5,192,149	5,796,736
	うち外国人	344,847	396,508	271,884	482,571	570,030
年間総延べ宿泊者数（人泊）		5,786,316	5,960,567	6,674,019	6,950,791	7,509,115
	うち外国人	494,002	609,400	441,255	606,148	839,550
年間定員稼働率（％）		54.3	57.3	62.1	63.2	67.8

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。  
 年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数（表 2-3-6 参照）

図 2-3-2 市内延べ宿泊者数の推移



## 推計方法

宿泊者数の推計にあたっては、各施設から得られた回答結果を最大限に活かし、推計に必要な回答が得られている施設（回答あり施設）の内容をもとに、稼働率や比率などの算定基準となる数値を推計し、全施設の推計値を算出した。

また、年間の収容可能人数（最大収容容量）は、各施設の一日あたりの収容可能人数に、その施設の平成 25 年度の営業日数（通年営業施設は 365 日）を乗じて算出した。

なお、計や全体は、施設分類別推計値や規模別推計値の積み上げ値とした。

### a. 全施設の年間総延べ宿泊者数（推計値）

#### ア：回答あり施設の年間延べ宿泊者数（実績値）及び年間定員稼働率

年間定員稼働率は、回答あり施設を対象として 67.8% の値を得た。区分別にみると、ホテル（登録ホテルを除く） が最も高く、旅館が最も低い値となった。

なお、ここでの稼働率は、年間収容可能人数に対する宿泊者数であり、客室稼働率とは異なる。

表 2-3-6 回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値及び年間定員稼働率

		回答数 (施設)	① 年間延べ 宿泊者数 (人泊)	② 回答あり施設 の 1 日収容可 能人数 (人)	③ 回答あり施設 の年間収容 可能人数 (人)	④ 年間定員 稼働率 (%)
登録ホテル		12	1,320,327	<u>5,385</u>	<u>1,965,525</u>	<u>67.2</u>
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	18	1,546,449	5,620	2,051,300	75.4
	100 室以上 200 室未満	18	819,711	3,166	1,155,590	70.9
	50 室以上 100 室未満	15	348,454	1,512	551,880	63.1
	50 室未満	5	32,338	223	81,395	39.7
計		56	2,746,952	10,521	3,840,165	71.5
旅館		16	83,645	858	313,170	26.7
全 体		84	4,150,924	<u>16,764</u>	<u>6,118,860</u>	<u>67.8</u>

注：③＝②×365日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝①÷③

イ：回答なし施設の年間延べ宿泊者数

回答なし施設の年間延べ宿泊者数については、回答なし施設の年間収容可能人数に、回答あり施設で求めた施設分類別・規模別の稼働率を乗じて推計値（3,358,191人泊）を算出した。

表 2-3-7 回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答なし施設 の1日収容 可能人数 (人)	② 回答なし施設 の年間収容 可能人数 (人)	③ 回答あり施設 で求めた 稼働率 (%)	④ 回答なし施設 の年間延べ 宿泊者数 の推計値 (人泊)
登録ホテル		4	2,304	840,960	67.2	565,125
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	14	4,711	1,719,515	75.4	1,296,514
	100室以上 200室未満	19	3,899	1,423,135	70.9	1,009,003
	50室以上 100室未満	13	1,479	539,835	63.1	340,636
	50室未満	10	420	153,300	39.7	60,860
	計	56	10,509	3,835,785		2,707,013
旅館		22	883	322,295	26.7	86,053
全 体		82	13,696	4,999,040		3,358,191

注：②＝①×365日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝②×③

年間延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

ウ：全施設の年間総延べ宿泊者数

全施設の年間総延べ宿泊者数は、前出のアの項で算出した回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値に、イの項で算出した回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値を加算して求めた（7,509,115人泊）。

表 2-3-8 全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値

		①回答あり施設		②回答なし施設		③全施設	
		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間総延べ 宿泊者数 (人泊)
登録ホテル		12	1,320,327	4	565,125	16	1,885,452
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	18	1,546,449	14	1,296,514	32	2,842,963
	100室以上 200室未満	18	819,711	19	1,009,003	37	1,828,714
	50室以上 100室未満	15	348,454	13	340,636	28	689,090
	50室未満	5	32,338	10	60,860	15	93,198
	計	56	2,746,952	56	2,707,013	112	5,453,965
旅館		16	83,645	22	86,053	38	169,698
全 体		84	4,150,924	82	3,358,191	166	7,509,115

注：③＝①＋②

**b. 全施設の年間総実人数（推計値）**

全施設の年間総実人数の推計値は、年間の延べ宿泊者数及び実人数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する実人数の割合を求め、実人数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した（5,979,400人）。

表 2-3-9 全施設の年間総実人数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の年間 実人数 (人)	② 回答あり 施設の年間 延べ宿泊者 数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 実人数比率 (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の年 間総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		10	846,706	1,122,071	75.5	<u>1,885,452</u>	<u>1,423,516</u>
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	8	641,312	720,853	89.0	2,842,963	2,530,237
	100 室以上 200 室未満	10	320,153	453,024	70.7	1,828,714	1,292,901
	50 室以上 100 室未満	12	229,444	276,375	83.0	689,090	571,945
	50 室未満	5	21,400	32,338	66.2	93,198	61,697
計		35	1,212,309	1,482,590		5,453,965	4,456,780
旅 館		13	31,006	53,070	58.4	<u>169,698</u>	<u>99,104</u>
全 体		58	2,090,021	2,657,731		<u>7,509,115</u>	<u>5,979,400</u>

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

**c. 全施設の年間外国人の宿泊者数（推計値）**

外国人の宿泊者数については、外国人及び外国人を含めた宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに割合を求め、全施設の宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

**ア：全施設の年間外国人総延べ宿泊者数（推計値）**

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値については、年間の延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する外国人延べ宿泊者数の割合を求め、外国人延べ宿泊者数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-3-10 全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値

		①	②	③	④	⑤	
		回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (施設)	回答あり 施設の年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の 外国人延べ 宿泊者数 比率 (%)	全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)	
登録ホテル		11	270,125	1,276,255	21.2	<u>1,885,452</u>	<u>399,716</u>
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	14	133,109	1,174,560	11.3	2,842,963	321,255
	100 室以上 200 室未満	14	28,879	643,581	4.5	1,828,714	82,292
	50 室以上 100 室未満	13	12,208	304,322	4.0	689,090	27,564
	50 室未満	4	1,805	30,809	5.9	93,198	5,499
計		45	176,001	2,153,272		5,453,965	436,610
旅 館		9	1,094	57,076	1.9	<u>169,698</u>	<u>3,224</u>
全 体		65	447,220	3,486,603		<u>7,509,115</u>	<u>839,550</u>

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

イ：全施設の年間外国人総実人数（推計値）

全施設の年間外国人総実人数の推計値については、年間の外国人延べ宿泊者数及び外国人実人数ともに回答が得られた施設をもとに、外国人延べ宿泊者数に対する外国人実人数の割合を求め、外国人実人数比とし、その数値をアの項で算出した全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値（表 2-3-10）に乗じて算出した。

表 2-3-11 全施設の年間外国人総実人数の推計値

		①	②	③	④	⑤	
		回答あり 施設の年間 外国人 実人数 (施設)	回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の 外国人 実人数比 (%)	全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)	全施設の 年間外国 人 総実人数 推計値 (人)	
登録ホテル		9	131,552	242,455	54.3	<u>399,716</u>	<u>217,046</u>
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	6	29,517	35,747	82.6	321,255	265,357
	100 室以上 200 室未満	10	19,578	25,180	77.8	82,292	64,023
	50 室以上 100 室未満	11	6,715	8,996	74.6	27,564	20,563
	50 室未満	4	600	1,805	33.2	5,499	1,826
計		31	56,410	71,728		436,610	351,769
旅 館		8	348	923	37.7	<u>3,224</u>	<u>1,215</u>
全 体		48	188,310	315,106		<u>839,550</u>	<u>570,030</u>

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

## 平成26年度 名古屋市観光客・宿泊客動向調査 (調査日：平成 年 月 日)

名古屋市 市民経済局 観光推進室

調査場所：

お楽しみのところ恐れ入りますが、  
アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

問1 どこからお越しになりましたか (出発地はどちらですか)。1つに○印をつけてください。

- |         |                    |       |       |
|---------|--------------------|-------|-------|
| 1 名古屋市内 | 2 名古屋市を除く愛知県       | 3 岐阜県 | 4 三重県 |
| 5 静岡県   | 6 その他の都道府県 (具体的に ) |       |       |

問2 今回、名古屋を訪れた (今回の名古屋への旅行) 主な目的は何ですか。1つに○印をつけてください。

- |                     |                                 |
|---------------------|---------------------------------|
| 1 観光施設の見学           | 2 ショッピング (非日常の買物。ウインドショッピングを含む) |
| 3 観劇・コンサート          | 4 イベント (参加・鑑賞)                  |
| 5 飲食                | 6 その他の娯楽行為 (具体的に )              |
| 7 商用・公用             | 8 帰省・冠婚葬祭                       |
| 9 大会・学会・国際会議への出席・参加 | 10 その他 (具体的に )                  |

問3 問2で「1」から「6」を選んだ方にお伺いします。観光・娯楽の目的地として、名古屋を選んだきっかけは何ですか。該当するものすべてに○印をつけてください。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1 雑誌・新聞をみて       | 2 旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて  |
| 3 テレビやラジオ番組の情報から | 4 インターネットホームページの情報から |
| 5 友人・知人に薦められたから  | 6 前に来たことがあり良かったから    |
| 7 駅や電車内のポスター・広告  | 8 特になし               |
| 9 その他 ( )        |                      |

問4 今回の訪問 (今日のお出かけ) で、訪れたところ、またはこれから訪れる施設に○印をつけてください。

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1 名古屋城            | 2 トヨタ産業技術記念館          |
| 3 ノリタケの森          | 4 徳川美術館               |
| 5 徳川園             | 6 熱田神宮                |
| 7 白鳥庭園            | 8 東山動植物園              |
| 9 東山スカイタワー        | 10 テレビ塔               |
| 11 名古屋市美術館        | 12 愛知県美術館             |
| 13 名古屋ボストン美術館     | 14 名古屋市科学館            |
| 15 でんきの科学館        | 16 名古屋市博物館            |
| 17 久屋大通庭園 (旧ランの館) | 18 名古屋港水族館            |
| 19 名古屋港           | 20 シートレインランド          |
| 21 有松・鳴海絞会館       | 22 ミッドランドスクエアなどの高層建築物 |
| 23 リニア・鉄道館        | 24 その他 ( )            |



問5 今回の名古屋訪問（名古屋への旅行）はパッケージ旅行ですか。パッケージ旅行の方は、パッケージ料金もお答えください。（費用が市内のみか、市外分を含むかを選択）。

- 1 パッケージ旅行 およそ( )円くらい (  市内分のみ もしくは  市外分含む )  
2 パッケージ旅行ではない

問6 今回の名古屋訪問（今回の名古屋への旅行）における1人あたりのご予算をお教えてください。パッケージ旅行の方は、パッケージ料金以外の費用をお答えください。

①市内での交通費（都市高速道路通行料や駐車場代金を含みます）。

およそ( )円くらい

②市内での宿泊代（市内の宿泊施設に宿泊される方は1泊の概ねの平均額）。（日帰りの方、宿泊施設に泊まらない方、名古屋市以外に宿泊の方は、該当するところに  を記入してください。）

およそ( )円くらい

- 宿泊しない（日帰り）       友人、知人の家に宿泊       名古屋市外に宿泊

③市内でのおみやげ代。

およそ( )円くらい

④市内での飲食代（パッケージ旅行の方はパッケージ料金に含まれていない食事代の合計額）。

およそ( )円くらい

⑤市内での入場料（観光施設等の入場料の合計額）。

およそ( )円くらい

⑥市内でのその他費用。

およそ( )円くらい

問7から問13については、名古屋市外からお越しの方のみお答えください。

問7 今回の訪問（旅行）での、名古屋の印象・旅行の満足度についてお伺いします。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 大変満足      2 ほぼ満足      3 普通      4 やや不満      5 不満

※裏面に続きます

問8 名古屋市に訪れたのは、今回で何回目ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 はじめて                      2 2回目                      3 3回目                      4 4～9回目                      5 10回目以上

問9 今回の訪問（旅行）において、名古屋までの主な交通手段に○印をつけてください。

- 1 JR                      2 名鉄電車                      3 近鉄電車                      4 自家用車  
5 航空機                      6 路線バス                      7 観光バス                      8 その他（                      ）

問10 今回の訪問（旅行）で、訪れる予定、もしくは既に訪れたところ（地域）すべてに○印をつけてください。

- 1 名古屋市内のみ                      2 長久手・刈コパーク方面                      3 明治村・犬山方面  
4 瀬戸・小原方面                      5 知多・常滑・セントレア方面                      6 豊田・岡崎・足助方面  
7 蒲郡・西浦・三谷方面                      8 豊川・鳳来寺方面                      9 豊橋・伊良湖方面  
10 岐阜・関ヶ原方面                      11 多治見・恵那・中津川方面                      12 下呂・高山方面  
13 長島温泉・湯の山・鈴鹿方面                      14 伊勢・志摩方面  
15 その他（                      ）

問11 今回の訪問（旅行）での、名古屋の観光資源についてお伺いします。① 今回の訪問で満足されたもの、② 不満を感じたもの、③ 次回訪れてみたいものをそれぞれ教えてください。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1 歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）  
2 産業観光・ものづくりの施設（産業記念館・ノリタケの森等）  
3 レジャー施設（動植物園・水族館等）  
4 都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）                      5 グルメ・なごやめし  
6 お祭り・イベント                      7 コンサートや観劇などの鑑賞  
8 スポーツ観戦（野球・サッカー等）                      9 その他（具体的に                      ）

① 今回の訪問で、満足されたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1    2    3    4    5    6    7    8    9（具体的に                      ）    10 特になし

② 今回の訪問で、不満を感じたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1    2    3    4    5    6    7    8    9（具体的に                      ）    10 特になし

③ 次回訪れてみたいものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1    2    3    4    5    6    7    8    9（具体的に                      ）    10 特になし

問12 今回の訪問（旅行）は何日間の予定ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 日帰り                      2 2日間                      3 3日間                      4 4日間                      5 5日以上

問13 問12で回答が2日間以上のご旅行の方に伺います。

名古屋市内に宿泊される日数（予定も含む）をお教えてください。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 1泊                                      2 2泊                                      3 3泊                                      4 4泊以上  
5 名古屋市内には宿泊しない

あなたご自身（回答者）についてご質問します。

問14 あなたの性別・年齢をお教えてください。（○は一つずつ）

①性別

②年齢

- 1 男  
2 女

- 1 10～19歳  
4 40～49歳  
7 70～79歳

- 2 20～29歳  
5 50～59歳  
8 80歳以上

- 3 30～39歳  
6 60～69歳

問15 本日の名古屋訪問（名古屋への旅行）で同行されている方をお教えてください。（○は一つだけ）

- 1 ひとり（同行者なし）                      2 友人・知人  
3 幼児や小学生連れの家族                      4 夫婦  
5 家族（「3」・「4」以外）                      6 団体旅行  
7 修学旅行                                      8 その他（                                      ）

〔自由意見〕                      名古屋のまちの印象をお聞かせください。

町並み、にぎわい、公共交通の利便性、道路や施設の案内表示、街の美観や治安、観光施設、名古屋グルメなど、何でも結構です。

質問は以上で終了です。お忙しいところ、調査に協力していただき、誠にありがとうございました。  
この調査結果は、統計的に処理し、有用な資料として活用させていただきます。

# 名古屋市観光客・宿泊客動向調査（宿泊施設）[対象年次：平成26年度]

○貴施設の名称、所在地、電話番号をご記入ください。また、差し支えなければ、この調査票の記入者の氏名等をご記入ください。

貴施設の名称	
貴施設所在地	〒
電話番号	
ご記入者	(ご所属) (ご氏名)

問1 貴施設のタイプについて、次のいずれか1つに○印をお付けください。

- 1 ホテル      2 旅館      3 簡易宿所      4 下宿

問2 貴施設の平成27年3月末時点の室数および収容可能人数をご記入ください。

和室	洋室		合計	
	室数	収容人数	室数	収容人数
13 室	4 5 人	1 2 室	2 5 室	7 0 人

問3 貴施設の平成26年4月から平成27年3月までの宿泊客数（月別・合計）をご記入ください。  
※月別で把握できない場合や正確な記録がない場合でも、ご記入頂ける範囲でご回答ください。

	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
①実人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	合計
①実人数	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人

注：連泊客の数え方

- ①実人数は、連泊客が2泊以上宿泊しても「1人」と数えてください。  
②延人数は、連泊客が同一の方であれば1泊で「1人」、2泊で「2人」と数えてください。

問4 貴施設では、外国からの宿泊客が、年間どの国（地域）から何人ありますか。なお、宿泊客数は実人数をご記入下さい。（概数でも結構です）

国名	宿泊客数	国名	宿泊客数	国名	宿泊客数
中国	人	インドネシア	人		人
香港	人	ベトナム	人		人
台湾	人	英国	人		人
韓国	人	ドイツ	人		人
米国	人	フランス	人		人
タイ	人	オーストラリア	人		人
シンガポール	人	カナダ	人		人

問5 貴施設では、これまでに修学旅行団体（小・中・高校など）を受入れたことがありますか。また今後受入れることはできますか。次のいずれか1つに○印をお付けください。

- 1 平成26年度、受入れた。  
2 平成26年度受入れなかったが、これまでに受入れたことはある。  
3 実績はないが受入れ可能。  
4 受入れられない。

問6 問5で「1 平成26年度、受入れた。」と回答した施設にお聞きします。貴施設が平成26年4月1日から平成27年3月末までに受入れた修学旅行団体の所在地（都道府県名）、学校数、宿泊客数を下記の例にしたがってご記入ください。

〈例〉「京都府の小学校が2校で400人、中学校が1校100人」の場合

都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
京都府	2校 400人	1校 100人	校	校 人
都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
	校	校	校	校
	校	校	校	校
	校	校	校	校
	校	校	校	校
	校	校	校	校

問7 問5で「1」以外を回答した施設にお聞きします。貴施設が平成26年度に修学旅行団体を受入れたなかった理由についてご記入ください。

[ ]

ご多忙中、ご協力いただきましてありがとうございました。

## 名古屋の観光に関する全国インターネット調査

## ■調査項目

番号	条件	内容	区分
Q1	必須回答	過去5年以内に名古屋に何回訪れたことがありますか。	SA
1		1回	
2		2回	
3		3～5回	
4		6～10回	
5		11回以上	
6		(過去5年以内には)訪れていない	
Q2	必須回答	名古屋を訪れる場合の主な交通手段をお選びください。(いくつでも)名古屋を訪れたことがない方も、名古屋を訪れることを想定してお答えください。	MA
1		新幹線	
2		鉄道(新幹線以外)	
3		航空機	
4		長距離バス	
5		観光バス	
6		自家用車	
7		フェリー	
8		その他	FA付
Q3	必須回答: Q1 = 1～5	過去5年以内に名古屋を訪れた目的は何ですか。(いくつでも)	MA
1		名古屋城、徳川美術館、名古屋港水族館など観光施設の見学	
2		観劇・コンサート	
3		スポーツ観戦(野球、サッカー、相撲等)	
4		まつり・イベント	
5		ショッピング	
6		仕事	
7		友人・親戚への訪問	
8		その他	FA付
Q4	必須回答: Q3 = 1～5	その訪問(旅行)は合計何泊でしたか。※名古屋市以外に泊まった数も含めてお答えください。	SA
1		日帰り	
2		1泊	
3		2泊	
4		3泊	
5		4泊以上	
Q5	必須回答: Q4 = 2～5	その名古屋訪問(旅行)では、うち名古屋市内に何泊しましたか。	SA
1		1泊	
2		2泊	
3		3泊	
4		4泊以上	
5		名古屋市内には宿泊しない	
Q6	必須回答: Q3 = 1～5	その名古屋訪問(旅行)で同行された方を教えてください。	SA
1		ひとり(同行者なし)	
2		友人・知人	
3		幼児や小学生連れの家族	
4		夫婦のみ	
5		家族(上記「3」・「4」以外)	
6		団体旅行	
7		修学旅行	
8		その他	FA付

Q7	必須回答: Q3 = 1~5	その名古屋訪問(旅行)であわせて名古屋以外に訪問したところ(地域)はどこですか。(いくつでも)	MA
1		名古屋市内のみ	
2		名古屋以外の尾張方面(明治村・犬山・愛・地球博記念公園(モリコロパーク)など)	
3		知多方面(知多・常滑・セントレアなど)	
4		西三河方面(豊田・岡崎・香嵐溪など)	
5		東三河方面(蒲郡・西浦・三谷・豊川・鳳来寺・豊橋・伊良湖など)	
6		飛騨方面(下呂・高山など)	
7		美濃方面(岐阜・関ヶ原・多治見・恵那・中津川など)	
8		北勢・伊賀方面(長島温泉・湯の山・鈴鹿・伊賀など)	
9		伊勢・志摩方面(伊勢・鳥羽など)	
10		その他	FA付
Q8	必須回答: Q3 = 1~5	その名古屋訪問(旅行)のきっかけは何ですか。(いくつでも)	MA
1		以前から訪れたいと思っていたから	
2		知人に薦められたから・知人に案内されたから	
3		ガイドブックやパンフレットを見て	
4		テレビ番組等を見て	
5		ホームページを見て	
6		団体の訪問コースに組み込まれていたから	
7		興味のある催事が開催されていたから	
8		その他	FA付
Q9	必須回答: Q3 = 6	仕事か目的で訪れた直近の名古屋訪問についてお聞きます。その訪問(旅行)のとき、あわせて訪問した場所又は経験したものは何ですか。(いくつでも)	MA
1		名古屋城、徳川美術館、名古屋港水族館など観光施設	
2		観劇・コンサート	
3		スポーツ観戦(野球、サッカー、相撲等)	
4		まつり・イベント	
5		ショッピング(駅でのおみやげ品の購入は除く)	
6		その他	FA付
7		仕事目的での訪問とあわせて訪問した場所又は経験したものは無い	
Q10	必須回答	名古屋には、以下に示すような観光資源があります。この中で、知っているものをお答えください。(いくつでも)	MA
1		名古屋城	
2		徳川園	
3		徳川美術館	
4		熱田神宮	
5		リニア・鉄道館	
6		トヨタ産業技術記念館	
7		ノリタケの森	
8		名古屋市科学館(プラネタリウムなど)	
9		名古屋市美術館	
10		名古屋市博物館	
11		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)	
12		東山動植物園	
13		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
14		大須(大須観音・大須商店街)	
15		文化のみち(二葉館など)	
16		有松(街並み、有松・鳴海絞会館など)	
17		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
18		名古屋まつり	
19		にっぽんど真ん中祭り	
20		名古屋おもてなし武将隊	
21		その他	FA付
22		知っているものは無い	

Q11	必須回答:Q1 = 1~5	名古屋の観光資源の中で、過去5年以内に訪問した場所又は経験したものを教えてください。(いくつでも)	MA
1		名古屋城	
2		徳川園	
3		徳川美術館	
4		熱田神宮	
5		リニア・鉄道館	
6		トヨタ産業技術記念館	
7		ノリタケの森	
8		名古屋市科学館(プラネタリウムなど)	
9		名古屋市美術館	
10		名古屋市博物館	
11		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)	
12		東山動植物園	
13		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
14		大須(大須観音・大須商店街)	
15		文化のみち(二葉館など)	
16		有松(街並み、有松・鳴海絞会館など)	
17		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
18		名古屋まつり	
19		にっぽんど真ん中祭り	
20		名古屋おもてなし武将隊	
21		その他	FA付
22		訪問した場所又は経験したものはない	
Q12	必須回答:Q1 = 1~5	名古屋を訪れたときに、どのように感じましたか。あてはまるものをお選びください。(それぞれひとつずつ)※複数回なごやに訪れた経験のある方は、それらの訪問をトータルしてお答えください。	SAマトリクス
Q12M001		観光施設等	
Q12M002		係員、店員の親切さ、親しみやすさ	
Q12M003		市民の親切さ、親しみやすさ	
Q12M004		おみやげ品	
Q12M005		なごやめしなどの食事	
Q12M006		案内表示等のわかりやすさ	
Q12M007		総合的な魅力	
1		満足	
2		やや満足	
3		どちらともいえない	
4		やや不満	
5		不満	
6		体験していない・分からない	
Q13	必須回答	今後、名古屋を訪れたいと思いますか。	SA
1		是非訪れたい	
2		機会があれば訪れたい	
3		訪れたいとは思わない	
4		その他	FA付

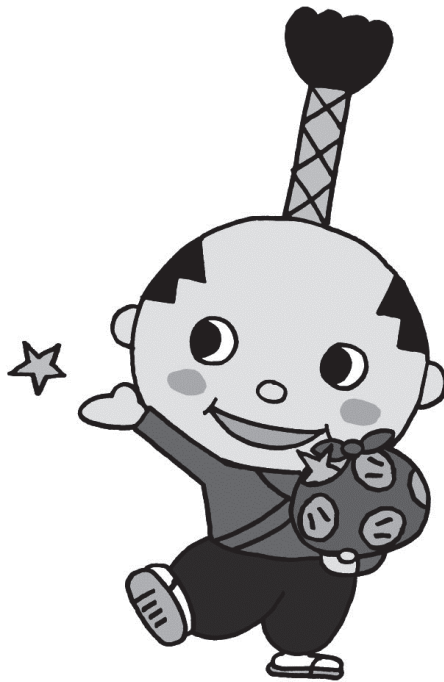
Q14	必須回答: Q13 = 1,2	名古屋の観光資源の中で、今後、訪問してみたい場所又は経験してみたいものは何ですか。(いくつでも)※既に訪問・経験したことのある場所についても、再度訪れたいかどうかについてお答えください。	MA
1		名古屋城	
2		徳川園	
3		徳川美術館	
4		熱田神宮	
5		リニア・鉄道館	
6		トヨタ産業技術記念館	
7		ノリタケの森	
8		名古屋市科学館(プラネタリウムなど)	
9		名古屋市美術館	
10		名古屋市博物館	
11		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)	
12		東山動植物園	
13		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
14		大須(大須観音・大須商店街)	
15		文化のみち(二葉館など)	
16		有松(街並み、有松・鳴海絞会館など)	
17		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
18		名古屋まつり	
19		にっぽんど真ん中祭り	
20		名古屋おもてなし武将隊	
21		その他	FA付
22		訪問してみたい場所又は経験してみたいものはない	
Q15	必須回答	名古屋に観光地としての魅力を感じますか。	
1		魅力を感じる	
2		魅力を感じない	
3		どちらともいえない	
Q16	必須回答: Q15 = 2	名古屋に観光地としての魅力を感じない理由は何だと思えますか。あてはまるものを3つまでお選びください。	3A
1		他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること	
2		名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	
3		名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと	
4		魅力ある観光施設が少ないこと	
5		魅力あるイベントが少ないこと	
6		魅力あるおみやげ品が少ないこと	
7		交通アクセスが良くないこと	
8		夜に楽しめる場所が少ないこと(観光施設の閉館時間が早いことなど)	
9		観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	
10		まちがきれいでないこと	
11		まちに緑が少ないこと	
12		その他	FA付
Q17	必須回答	名古屋市では、平成19年7月から、主要観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス「メーグル」を運行しています。このバスをご存知でしたか。また利用したいと思いますか。あてはまるものをお選びください。	SA
1		利用したことがある	
2		知っていて、利用したい	
3		知らなかったが、利用したい	
4		知ってはいたが、利用したいとは思わない	
5		知らなかったし、利用したいとは思わない	



Q18	必須回答:Q17=1	なごや観光ルートバス「メーグル」を利用して訪問した観光施設としてあてはまるものをすべてお選びください。また、選択肢以外に訪れた施設がある場合には、「その他」にそれらをすべてご記入ください。複数回利用したことがある方は、これまでに利用した時に訪れたものをすべてお選びください。	MA
1		名古屋駅地区(JRセントラルタワーズ、ミッドランドスクエア、デパート等)	
2		トヨタ産業技術記念館	
3		ノリタケの森	
4		名古屋城	
5		徳川園、徳川美術館・蓬左文庫	
6		文化のみちエリア(二葉館、檀木館、百花百草、堀美術館、旧春田鉄次郎邸、旧豊田佐助邸など)	
7		市政資料館	
8		三菱東京UFJ銀行貨幣資料館	
9		名古屋テレビ塔	
10		栄地区(オアシス21、愛知芸術文化センター、デパート等)	
11		名古屋市科学館	
12		名古屋市美術館	
13		でんきの科学館	
14		その他	FA付
Q19	必須回答:Q17=1	なごや観光ルートバス「メーグル」を利用された時、どのように感じましたか。あてはまるものをお選びください。また、その理由をお答えください。※複数回名古屋に訪れたことがある方は、それらの訪問をトータルしてお答	SA
1		満足	
2		やや満足	
3		どちらともいえない	
4		やや不満	
5		不満	
6		その理由	FA付
Q20	必須回答	かつて名古屋城には「本丸御殿」がありました。本丸御殿は、日本建築史・絵画史・工芸史上、近世城郭御殿の最高傑作でしたが、惜しくも焼失しました。名古屋市は、「ものづくりの技、文化、自然の大切さ」を後世に伝える象徴として、名古屋城「本丸御殿」の復元を進めており、平成25年5月から第1期分の「玄関・表書院」を公開しています。この取組みについてご存知でしたか。	SA
1		平成25年5月公開の「玄関・表書院」は、すでに見学した	
2		見学はしていないが、復元を進めていることも、「玄関・表書院」を公開していることも知っていた	
3		復元を進めていることは知っていたが、「玄関・表書院」をすでに公開していることは知らなかった	
4		復元を進めていることも「玄関・表書院」を公開していることも知らなかった	
Q21	必須回答	名古屋城「本丸御殿」は、現在、平成28年の第2期分「対面所等」公開に向けて復元を進めております。公開されれば訪れてみたいと思いますか。あてはまるものをお選びください。	SA
1		是非訪れたい	
2		機会があれば訪れたい	
3		訪れたいとは思わない	
4		その他	
Q22	必須回答	名古屋の観光に対するご意見・ご感想や、名古屋が訪れたいくなるような魅力のある都市となるため、今後取り組んだらよいと思うことがありましたらご自由にお書きください。	FA
F1	必須回答	あなたの性別をお答えください。	SA
1		男性	
2		女性	
F2	必須回答	あなたの年齢をお答えください。	SA
1		20歳未満	
2		20歳代	
3		30歳代	
4		40歳代	
5		50歳代	
6		60歳代	
7		70歳以上	

F3	必須回答	お住まいの地域(都道府県)をお答えください。	SA
1		北海道	
2		青森県	
3		岩手県	
4		宮城県	
5		秋田県	
6		山形県	
7		福島県	
8		茨城県	
9		栃木県	
10		群馬県	
11		埼玉県	
12		千葉県	
13		東京都	
14		神奈川県	
15		山梨県	
16		長野県	
17		新潟県	
18		富山県	
19		石川県	
20		福井県	
21		岐阜県	
22		静岡県	
23		愛知県	
24		三重県	
25		滋賀県	
26		京都府	
27		大阪府	
28		兵庫県	
29		奈良県	
30		和歌山県	
31		鳥取県	
32		島根県	
33		岡山県	
34		広島県	
35		山口県	
36		徳島県	
37		香川県	
38		愛媛県	
39		高知県	
40		福岡県	
41		佐賀県	
42		長崎県	
43		熊本県	
44		大分県	
45		宮崎県	
46		鹿児島県	
47		沖縄県	

※調査票の条件欄について  
「Q1 = 1」は、「Q1で選択肢『1』を選択している人が対象」を意味します。



名古屋市観光客・宿泊客動向調査  
(平成26年度)

平成27年11月発行

発行 名古屋市市民経済局  
業務委託先 株式会社 綜研名古屋

この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。